茨城県北東部地域の維管束植物

茨城維管束植物調査会

概　説

今回の調査は阿武隈山地・県北部海岸を中心とする県北東部地域について進められた．これらを次の 5 地域に区分して 3 年間調査を行った．

1．花園山周辺地域

この地域は山地が多く,福島県境に近い花園山（798 m），栄蔵室（882 m），和尚山（804 m），亀谷地（780 m）などがある．

2．里美周辺地域

福島県との県境に位置する三鈷室山（876 m），里川流域などである．

3．君田地域

高萩市の北西部にあたり，標高約 800 m あり，多賀山地の主要部を占めている地域である．花貫渓谷で知られる土岳（600 m），十王町の竪破山(658 m)，下君田，上君田，横川，若栗，大能，上手綱，中戸川などを含み，湿地や渓谷が存在する地域である．

4．神峰山，高鈴山，真弓山周辺地域

多賀山地の南端に相当する地域で，東は太平洋に面している．神峰山（598 m），高鈴山（623 m），真弓山（280 m） などがあり，神社を中心に自然林が残存している地域である．

5．海岸・平地地域

海岸地域は，茨城県北部の平潟海岸から日立市久慈川河口までの地域とした．この地域は暖流，寒流の影響があり，植物分布的には興味がもたれる地域である．

平地地域は，平坦部，丘陵部や山麓を一部含む地域とした．この地域は，人間活動の影響を強く受けており，スダジイやシラカシの林がわずかに残っている．

調査は，季節ごとに現場に赴き，いくつかのコースを歩きながら植物を記録した．さらに，資料として植物を採取し，押し葉標本を作成した．また，それらの植物や生態は生育状態を知るために写真撮影を併せて行った．代表的な森林や草原については適宜，方形区を作り植物群落を記録した．

各地域ごとの概況は次の通りである．

1．花園山周辺地域

茨城県北東部，花園山地域の標高 700 m 以上の山地部はブナ，ミズナラを主とする夏緑広葉樹が生育している。

花園神社とその周辺にはスギの植林があり，境内には三本杉と呼ばれるスギと，コウヤマキの巨樹があり，茨城県指定の天然記念物になっている．また，七つ滝周辺のアズマシャクナゲも県指定の天然記念物に指定されている．神社から七つ滝方面の沢沿いにはオオバアサガラ，タマアジサイ，ウリノキ，アワブキ，イヌガヤ，チドリノキ，ホオノキ，ヤマボウシ，ミツデカエデ，ウワミズザクラ，ハナイカダ，イワガラミ，ヤマブドウなどが見られる．ヤマブドウは茨城県では産地が少なく，個体数も少ない．

七つ滝付近は急峻な所が多く，基岩が露出している．滝の周りにはトウゴクミツバツツジ，アブラツツジ，バイカツツジ，アセビ，コシアブラ，タカノツメなどが目立ち，これらの植物と共に樹高約 2 m 程のアズマシャクナゲの群落があり，林床にはイワウチワが群生している．七つ滝の上部，奥の院にはアカマツに混じってヒメコマツ（ゴヨウマツ）が見られる．

花園橋から小川に向かって，花園川をさかのぼると花園渓谷に出る．渓谷周辺の山地にはスギ・ヒノキの植林が多いが，渓谷に沿って，オニイタヤ，ミツデカエデ，ハウチワカエデ，コハウチワカエデなどのカエデ類，イヌブナ，ブナ，アワブキ，ミズナラ，サワグルミ，オオバアサガラの夏緑広葉樹にモミの混生している森林がみられる．低木としてはコアジサイ，オオツクバネウツギ，ゴヨウツツジ，タマアジサイ，トウゴクミツバツツジ，ノリウツギが，草本層にはウスバサイシン，ツクバネソウ，ヒゲネワチガイソウ，オオバショウマ，オヤリハグマ，オオカニコウモリ，クサアジサイ，コチャルメルソウ，カノツメソウ，カタクリ，ヤマブキソウ，ミヤマエンレイソウ，キクザキイチゲ，コウライテンナンショウ，イッポンワラビ，オウレンシダなどが見られ，流れに沿って，ムカゴネコノメソウ，ツルネコノメソウ，ハナネコノメ，ヨゴレネコノメ，ミチノクネコノメソウなどのネコノメソウ類の草本が見られ，その他，茨城県では産地の少ないキバナウツギやシラネワラビも見られる．また，沢沿

いにはバイケイソウも見られる．

猿ケ城の斜面には自然林も残存し，そこにはヤマハンノキ，アワブキ，チドリノキ，サワシバ，イヌシデ，オニイタヤ，イヌブナなどの夏緑広葉樹が生育している．上部にはイヌブナ，ブナ，ミズナラ，オオモミジ，コミネカエデ，ハウチワカエデ，ナツツバキ，ゴヨウツツジ，トウゴクミツバツツジ，アズマシャクナゲが見られる．尾根に近い，やや乾いたところには，イワウチワの群落が見られる．湿地にはヒメイチゲなども見られる．

亀谷地の湿地にはノリウツギ，ヤマネコヤナギ，ヤマハンノキなどが低木状に生育し，そこにはオオミズゴケが繁茂している．その中にヒメクグ，ゴウソ，コマツカサススキ，アブラガヤ，チゴザサ，タマガヤツリ，ヌマゼリ，ヒメシロネ，クサレダマ，ヌマトラノオ，コケオトギリ，ウメバチソウ，アカバナ，アケボノソウ，サワヒヨドリ，コオニユリ，ハンゴンソウ，サワギキョウ，ミゾソバ，ヤチカワズスゲ，タニヘゴ，ヒメシダ，ニッコウシダなどが繁茂している．最近は乾燥化が進んでいるように見える．周辺のスギ・ヒノキの植林が伐採されたからであろうか．以前，ヒノキ植林の中にイチヨウランが確認されたが，今回は見当たらなかった．コセリバオウレン，イワキハグマなども見られた．亀谷地から小川に向かう道路沿いには川に沿って，ヒトツバカエデ，トチノキ，ミズナラ，イヌブナ，ブナなどの冷温帯林に生育する夏緑広葉樹が多く，林床にミヤマイボタ，ベニバナニシキウツギ，バイケイソウ，オタカラコウ，ミヤマシラスゲ，アブラガヤ，コチャルメルソウ，ミチノクネコノメソウ，カメバヒキオコシ，アケボノスミレ，サクラスミレ，シキンカラマツ，オニノヤガラ，ユキザサ，ヤマブドウなどが見られる．

小川・定波方面の湿地にはザゼンソウ，バイケイソウ，サワギキョウ，オタカラコウなどが生育している．定波には 200 本以上のシラカンバが生育している．このように目立つシラカンバの群落は茨城では他に見ることはできない．春にはカタクリ，ミヤマエンレイソウ，キクザキイチゲ，ニリンソウ，ヒメイチゲ，ヒトリシズカ，トウゴクサバノオなどが，夏にはレンゲショウマが，秋にはオオカニコウモリ，オヤリハグマなどが花を咲かせる．定波のブナ・ミズナラ林は学術参考保護林に指定されている．高木層にはブナ，ミズナラ，イヌブナ，オニイタヤ，ハウチワカエデ，クマシデ，キハダなどが見られ，林床にはスズタケ，ヤマウツボ，ナンブワチガイソウ，ミヤマタムラソウなどがある．

栄蔵室に入る道は七つ滝に行く途中からのコースと亀谷地からのコースがあるが，伐採が進んでおり，以前ブナの原生林であった地域は減少している．しかし，所々に夏緑広葉樹林があり，湿地が点在している．湿地にはオオミズゴケが生育し，レンゲツツジ，ノリウツギなどの低木が見られる．栄蔵室ではマイヅルソウ，ヒメイチゲ，ツクバグミ，キバナウツギ，ケヤマウコギ，ミヤマツチトリモチなどが見られる．茨城県ではミヤマツチトリモチはこの周辺だけに自生している．

花園山周辺地域で見られる，特徴ある主な植物として，アスヒカズラ，キヨスミコケシノブ，ミヤマシダ，ニッコウシダ，シラネワラビ，ザゼンソウ，ナガバノキソチドリ，ギボウシラン，コケイラン，ハクウンラン，シラカンバ，エゾエノキ，オヒョウ，ナンブワチガイソウ，ミヤマツチトリモチ，ヒメイチゲ，サクラソウ，キバナウツギ，オオカニコウモリ，クルマバハグマ，イワキハグマ，オヤリハグマなどがあげられる．

２．里美地域

里美地域はスギの植林が多く見られる．山地部の尾根筋にはアカマツが生育しているが多くはない．夏緑広葉樹林の見られる地域は三鈷室山であるが面積は少ない．三鈷室山は阿武隈山地の南部にあたり，茨城県里美村と福島県塙町及び矢祭町との境に位置する海抜 870.6 m の山である．大部分がスギの植林となっている．茨城県側では落葉樹林は小面積しか残っていない．この地域で注目すべき植物としては，アスヒカズラ，ニッコウシダ，シノブカグマ，タチネズミガヤ，コフタバラン，ギボウシラン，サギスゲ，ヒメマイヅルソウ，マイヅルソウ，セイタカスズムシソウ，ヒロハノドジョウツナギ，ジンバイソウ，ミズチドリ，ナンブワチガイソウ，コキンバイ，ケヤマウコギ，シキンカラマツ，ヒメイチゲ，アサノハカエデ，ヒナウチワカエデ，ツクバグミ，イワセントウソウ，ミヤマタムラソウ，シオガマギク，オオカニコウモリ，タチコゴメグサ，イワキハグマ，キオンなどである．

３．君田地域

土岳は標高約 560 m の山で山頂部は広い平坦地になっている．山麓を花貫川が流れていて，流れに沿って，落葉樹が見られる．この地域も早くから林業が発達していて，大部分がスギの植林となっている．落葉樹では高木層にコナラが多く，他にオニイタヤ，アカ

シデ，クマシデなどがあり，時にイイギリの大木も混じる．亜高木層にはナツツバキ，シラキ，アワブキ，ミツデカエデなどが見られる．林床にはフシグロセンノウ，フタバアオイ，クサアジサイ，エイザンスミレ，ヒメニラ，オヤリハグマ，ハルトラノオ，トウゴクサバノオなどが見られる．

竪破山は里美村と高萩市の境界にあり，標高 658 m の山である．大部分がスギの植林で，山頂にはブナが現れるが面積は極めて少ない．山麓部にはヤブツバキやヒサカキが見られる．スギ林内にはダンコウバイ，バイカツツジ，アワブキ，ノリウツギ，ウリノキ，ウリハダカエデ，ハナイカダ，ハリギリなどが点在する．山頂のブナ林にはスギが混生しているが，ブナ，イヌブナ，ミズナラ，ヤマボウシなどが見られる．林床にはオヤリハグマ，ウラジロノキ，ミヤマシキミ，バイカツツジ，シキミ，ツルリンドウなどが見られる．所々に湿地があり，そこにはオタカラコウ，サワギキョウ，アケボノソウ，ヒメシロネ，イトイヌノヒゲ，シデアブラガヤ，コマツカサススキ，ウメバチソウ，モウセンゴケ，レンゲツツジなどが見られる．

この地域で注目すべき植物にはカタヒバ，ハイホラゴケ，イノデ，カヤラン，ヤマシャクヤク，ミチノクネコノメソウ，ムカゴネコノメソウ，コミヤマスミレ，ミヤマナミキなどである．

高萩市上君田には滝の倉湿原がある．緩斜面の下に存在する湿原であるが，最近ではヒノキの植林が生長して湿原の遷移が進んでいる．湿原の周囲にはヤマハンノキ，リョウブ，アカマツ，ミズキなどの樹木が侵入し湿原の乾燥化も見られる．現在生育している植物は，サギスゲ，サギソウ，ミツガシワ，トキソウ，モウセンゴケ，エゾシロネ，ヒメシロネ，サワシロギク，サワヒヨドリ，コバギボウシ，コオニユリ，キセルアザミ，レンゲツツジなどがある．

本地域で注目すべき植物はオオクボシダ，シラネワラビ，サギスゲ，エゾツリスゲ，ミヤマジュズスゲ，ホソバノアマナ，サギソウ，ナンブワチガイソウ，ミツガシワ，マイヅルソウなどである．

４．神峰山，高鈴，真弓山周辺地域

神峰山は標高 598 m でスギの植林が多い．尾根にはオオバヤシャブシ，オオシマザクラが植えられ，林床にはアセビ，ヒサカキが多い．高鈴山は標高約 624 m で山頂には電波中継塔などがあり，いくつかの登山道も整備されている．高鈴山の尾根も神峰山と同様オオバヤシャブシ，オオシマザクラ，ハリエンジュが植栽され，アセビが多い．

真弓山は阿武隈山地の最南端に位置し，標高 270 m で山頂には真弓神社がある．周辺はスギの植林であるが西側斜面にはスダジイ，シラカシ，ウラジロガシ，アカガシ，タブノキ，シロダモ，そしてカゴノキが生育している．スギ植林内にはイタビカズラ，フユイチゴ，オオイタチシダ，ヒメカナワラビなどが生育している．神社近くにはウラジロ，コシダも見られる．参道沿いのスギ植林内にもリンボクやサカキが，斜面の下の沢にはオオバノハチジョウシダ，オオキジノオ，キジノオシダが見られる．林床には石灰岩の露出した所が見られるが好石灰岩性と言われるイワツクバネウツギの低木もある．

真弓山で注目すべき植物としては，ウラジロ，コシダ，オオバノハチジョウシダ，ホラシノブ，ホシダ，ハカタシダ，オニカナワラビ，ヒメカナワラビ，キジノオシダ，オオキジノオ，オニヒカゲワラビなどのシダ植物．さらにヤブミョウガ，タブノキ，カゴノキ，ツクバネガシ，サカキ，リンボク，コガンピ，ムベ，サネカズラ，イタビカズラ，フユイチゴ，ミヤマフユイチゴ，オオバチドメ，イワツクバネウツギ，キジョラン，ツルギキョウなどである．

５．海岸・平地地域

浄蓮寺は北茨城市小豆畑に鎮座する寺で，花園山周辺からは北茨城市街に近い地域であるが，寺の脇に花園川が流れ，滝や急流のある渓谷をなしている．この地域は花園山周辺とは植生を異にし，シラカシを優占種とする常緑広葉樹林をなし，暖温帯林の様相を呈している．シラカシ林の構成を見ると，高木層にシラカシ，スギが，亜高木層にイロハモミジ，草本層にベニシダ，ヤブコウジが多く，他にカンスゲ，ヤブツバキ，ヤブムラサキ，フユイチゴ，ハナイカダ，オオバノイノモトソウ，アオキなどが見られる．この林は毎年下刈りが行われているので低木層が発達しない．ここには北限に近いオオバノハチジョウシダ，ハカタシダが見られる．

この付近で注目すべき植物にはオオカナワラビ，ハカタシダ，オオバノハチジョウシダ，オオキジノオ，ヒロハイヌワラビ，ササクサ，クモラン，フユイチゴ，シュウブンソウなどである．

西明寺は石尊山の山麓にありスギの植林が大部分であるが，沢沿いの一部に常緑広葉樹林が残存していた．スダジイを主とする森林で，高木層はスダジイ，シラカシ，ウラジロガシ，アカガシ，タブノキがあり，

亜高木層にはシロダモ，ヒサカキ，ヤブツバキ，サカキ，アカメガシワなどがあり，低木層にはコバノガマズミ，ヤツデ，アオキ，アセビ，リンボク，ヤブムラサキ，アリドオシ，マンリョウなどが見られる．

西明寺には暖地性植物で，この地域を北限地または北限地に近い生育地とするヘラシダ，オオカナワラビ，ホソバカナワラビ，アキザキヤツシロラン，リンボク，オオバチドメ，アリドオシ，ジュズネノキ，キジョランなどが生育し，北限に近いものとしてはフモトシダ，オオキジノオ，キジノオシダ，ヒロハイヌワラビ，ノコギリシダ，イワヘゴ，ハカタシダ，クリハラン，ササクサなどが見られる．

北茨城市街地に近い里山的山地にはシラカシ，スダジイなどの常緑広葉樹が生育している．常緑広葉樹の林床には暖地性のシダ類などが多く生育し，日本列島の植物地理学上特記すべき地域と言えよう．

茨城県北部海岸から久慈浜海岸付近までは台地状の丘陵が急な崖となって海岸部にまで迫っている所が多い．また一部に砂浜があるが面積は少ない．丘陵台地の崖に含まれる茨城県天心記念五浦美術館周辺にはクロマツ林伐採後の造成地に，オオイタドリが群生している．オオイタドリは茨城ではこの付近と岩間町にしか見られず，最近特に目立つような群落となっている．造成地だけに，他から客土した土から埋蔵種子が発芽生長し，それが増え出したのかも知れない．自生と言えるかどうか疑問が残る．海岸台地も造成など，改変が進んでいる．

北部の海岸で自然状態で現存している地域は高萩市高戸海岸が挙げられよう．高戸海岸崖地の上部にはクロマツ，アカマツ，コナラの群落に混じって，タブノキの群落が見られる．また周辺に点在する神社の境内にはタブノキ，スダジイ，シロダモ，ヤブツバキなどが高木となり低木にヤツデ，ヒイラギなどがある．暖地性の常緑広葉樹が森林を構成できる地域と見ることができよう．崖地の植生の中にもタブノキ，スダジイ，ヤブツバキ，モチノキ，シロダモ，ヒサカキ，ツルグミ，イヌツゲなどが見られる．また，わずかではあるが，低木化したミズナラがコナラと共に生育している．高戸海岸地域で注目すべき植物は次の通りである．

コシダ，フモトシダ，タチシノブ，ホシダ，ハシゴシダなどの暖地性シダ類，県内では北部山地に生育するミズナラ，本州北部に生育する海浜植物でマルバトウキ，ハマギク，コハマギクなど，暖地性海浜植物のマルバグミ，ツワブキ，モエギスゲ，ノグサなどが挙げられる．

伊師浜周辺この地域は，北部は花貫川河口から小貝ケ浜までの約 25 km で，ここは砂浜の海岸が現れる．砂浜の周辺には防風林としてクロマツが植えられている．国指定天然記念物の『いぶき山いぶき樹叢』もこの砂浜にある．最近イブキは上部が枯死し衰退しているが，ここにはイブキ，クロマツ，モチノキ，ヤブツバキ，タブノキ，オオバイボタ，マルバグミ，シロダモなどの生育が見られる．

海岸の砂浜にはカワラヨモギにハマウツボが寄生している状態が見られたり，ハイネズ，トベラ，マルバグミ，スカシユリ，ヒメイズイ，ハマカキラン，シロヨモギなどが生育している．

第 12 回茨城自然環境フォトコンテスト写真集によると日立市小木津海岸でフジナデシコを撮影した写真が掲載されていたが，今回の調査で確認することができた．

以上，今回の調査地を 5 地域に分けて調査を行ったが，詳細については各章を参照されたい．

調査研究

安嶋　隆（茨城県立日立第二高等学校教諭）
岩浪順子（大洗町立南中学校）
内山治男（大成女子高等学校教諭）
成島　明（茨城県立土浦第三高等学校教諭）
滑川敏行（北茨城市立関本第一小学校校長）
丸山友一（水戸市立上大野小学校教頭）
茂垣はるえ（茨城県立茨城東高等学校教諭）
安　昌美（元茨城県高等学校教育研究会生物部長）
渡辺義弘（北茨城市立中郷町石岡404）
和田尚幸（茨城県立那珂湊第二高等学校教諭）
鈴木昌友（茨城大学名誉教授　理学博士）

執　筆

鈴木昌友

花園山周辺地域の維管束植物

はじめに

花園山系は多賀山地の北部に位置し，栄蔵室（882 m），花園山（798 m），和尚山（804 m），亀谷地（780 m）などを含めた地域を指している．この地域は以前は冷温帯性のブナやミズナラを代表とする落葉広葉樹林が広がっていたが，伐採に伴いスギ・ヒノキの植林や二次林の落葉広葉樹林へと変わった．ブナやミズナラの林は小川の定波地区および四時川沿いや，猿ケ城渓谷などに部分的に残されているにすぎない．

この地域は平地の多い茨城県内にあって，標高 700 ～ 800 m 以上の山地が広がることから，多くの研究者の興味を引き，これまで数多くのフロラ調査の報告がある．

斎藤（1957）は，花園山を温帯性のフロラを呈しているとし，注目すべき種類としてアズマシャクナゲ，オノオレカンバ，キハダ，シロバナエンレイソウ，バイケイソウ，オオカニコウモリ，オヤリハグマ，ヒメコマツ（ゴヨウマツ），ハゴロモニワトコ，ミヤマツチトリモチ，フクジュソウ，バイカモなどをあげている．

「フロラ茨城」には，1960 年代から 1970 年代にかけてミヤマツチトリモチ（鈴木・内ヶ崎・佐藤，1958），シラカンバ（小室·鈴木，1959），キバナウツギ，ベニバナツクバネウツギ，ツクバグミ（鈴木，1959），イワネコノメソウ（鈴木，1962），ミヤマネコノメソウ（鈴木，1963），バイケイソウ（塩田，1963）イワキハグマ，マイヅルソウ（鈴木，1963），スグリ（鈴木 1966），アスヒカズラ（鈴木・木戸田，1967），サギスゲ（鈴木，1967），コケシノブ科（安嶋，1979），ナンブワチガイソウ（和田，1975），イチヨウラン（長谷川，1973），コケイラン（木村，1973）などの種類が花園山周辺地域に産することが報告されている．

「茨城の植物」（鈴木，1970）では，具体的な産地をあげて，それまでのフロラ調査による成果を紹介している．この中で花園山に関係する種類はヒメコマツ（ゴヨウマツ），アスナロ，バイケイソウ，シロバナエンレイソウ，オオマムシグサ，ザゼンソウ，シラカンバ，オノオレカンバ，ミヤマツチトリモチ，ワチガイソウ，マルバイノコズチ，オオバクロモジ，フクジュソウ，レンゲショウマ，ヤマシャクヤク，ワサビ，ヤグルマソウ（「花園山にも生育する可能性あり」の記述あり），イワネコノメソウ，ミチノクネコノメソウ，ヤシャビシャク，スグリ，トチノキ，ツクバグミ，イワウチワ，アズマシャクナゲ，テンニンソウ，ヤマウツボ，キヨスミウツボ，キバナウツギ，クルマバハグマ，オヤリハグマ，イワキハグマ，セイタカトウヒレン，オオカニコウモリ，ヤマタイミンガサ，オオモミジガサなどをあげている．

花園山周辺地域の植物目録では維管束植物について鈴木（1963）は約 600 種類，安藤（1977）は約 900 種類，シダ植物では安見（1964）が 75 種類を報告している．いずれも 30 数年前のもので，現在の状況とはかなり異なっている．

和田（1977）は県北の主な植物分布について報告し，花園山に生育する種類としてアスヒカズラ，ミヤマワラビ，サギスゲ，コウライテンナンショウ，オオマムシグサ，マイヅルソウ，バイケイソウ，オヒョウ，ナンブワチガイソウ，ヒメイチゲ，コフウロ，アサノハカエデ，コミネカエデ，ヒナウチワカエデ，ケヤマウコギ，イワセントウソウ，キバナウツギ，オオカニコウモリ，ヤマタイミンガサ，クルマバハグマ，イワキハグマの 21 種類をあげている．

安（1978，1982，1983）は阿武隈南部のフロラの研究報告において，単子葉類としてサギスゲ，マイヅルソウ，ヒメニラ，コケイラン，ミズチドリ，ウチワドコロ，ユキザサ，ヒロハノドジョウツナギ，タチネズミガヤ，ヒトツボクロ，アズマガヤ，タツノヒゲ，オオヤマサギソウ，カリヤスモドキ，ムカゴツヅリ，イチヨウラン，シダ植物としてアスヒカズラ，シケチシダ，ミヤマワラビ，オオクボシダ，離弁花類としてナンブワチガイソウ，ヒゲネワチガイソウ，イワネコノメソウ，ミチノクネコノメソウ，コミヤマカタバミ，アサノハカエデ，コミネカエデ，イワセントウソウなどをあげている．

「茨城県植物誌」（鈴木ほか，1981）では，花園山産として約 700 種類が記録されている．

和田（1984）は花園山のフロラに追加する種類としてアスヒカズラ，ヒトツバテンナンショウ，ギボウシラン，ハクウンラン，リュウキンカ，ヤグルマソウ，コミヤマカタバミ，ヤマモミジ，クロカンバ，ホソバアカバナ，ヤマホタルブクロ，ヨツバヒヨドリなどを報告している．

和田・江原（1992）は花園山の注目すべき植物として，キヨスミコケシノブ，カラクサイヌワラビ，ミヤマシダ，シラネワラビ，ニッコウシダ，オオクボシダ，ヒメコマツ（ゴヨウマツ），サギスゲ，ホソバノアマナ，ヒメマイヅルソウ，ヒダカエンレイソウ，ウチワドコ

ロ，コフタバラン，コケイラン，エゾエノキ，ミヤマツチトリモチ，ベニバナヤマシャクヤク，バイカモ，シキンカラマツ，ヤマブキソウ，ギンバイソウ，ヤシャビシャク，スグリ，ナンキンナナカマド，オオイタヤメイゲツ，カワギシスミレ，アズマシャクナゲ，コメツツジ，サクラソウ，エゾイボタ，エゾタツナミソウ，ハシリドコロ，ミヤママコナ，ヤマウツボ，キヨスミウツボ，ミヤマムグラ，タキネツクバネウツギ，キバナウツギ，ミヤマニガウリ，イワキハグマ，ウスギタンポポなどを取り上げている．

滑川（2002）は北茨城市華川町水沼付近に生育するヒダカエンレイソウの花の変異や生態について報告している．さらに渡辺・滑川はミヤマツチトリモチを確認し，生育状況を調べている．

調査方法

1．調査地の選定

主な調査地域は水沼ダムから県境付近の定波までとし，花園神社，七つ滝，栄蔵室，猿ケ城渓谷，和尚山，定波，小川，納戸，亀谷地などの地域を中心に行った．

2．調査期間

（1）平成 12（2000）年度

平成 12 年度は予備調査と文献調査を行った．予備調査は 4 月～ 11 月に延べ 16 回行った．

4月30日　北茨城市関本町小川猿ケ城渓谷
5 月 4日　北茨城市華川町花園花園神社～七つ滝
13日　北茨城市華川町花園花園渓谷
22日　北茨城市関本町小川
6月18日　北茨城市関本町小川和尚山
29日　北茨城市関本町小川和尚山
30日　北茨城市関本町小川亀谷地
7 月 1日　北茨城市関本町小川和尚山
8 月 3日　北茨城市関本町小川和尚山
15日　北茨城市関本町小川栄蔵室と花園山
17日　北茨城市関本町小川和尚山
20日　北茨城市関本町小川納戸
29日　北茨城市華川町小川猿ケ城渓谷
10 月 7日　北茨城市関本町小川栄蔵室
9日　北茨城市関本町小川栄蔵室
11月11日　北茨城市関本町小川栄蔵室

（2）平成 13（2001）年度

平成 13 年度は 3 月～ 10 月に延べ 22 回行った．

3 月 8日　北茨城市関本町才丸
4月28日　北茨城市関本町小川
5 月 6日　北茨城市華川町花園
18日　北茨城市関本町小川
20日　北茨城市関本町小川
6 月 9日　北茨城市関本町小川
13日　北茨城市関本町小川花園渓谷
17日　北茨城市関本町小川
25日　北茨城市関本町小川猿ケ城渓谷
7 月 1日　北茨城市関本町小川和尚山
8日　北茨城市関本町小川
22日　北茨城市関本町小川
28日　北茨城市関本町才丸
8月10日　北茨城市関本町小川
16日　北茨城市関本町小川
17日　北茨城市関本町小川
21日　北茨城市関本町小川
23日　北茨城市関本町小川
29日　北茨城市関本町小川栄蔵室付近
9月15日　北茨城市関本町小川亀谷地湿地
10 月 8日　北茨城市関本町小川
15日　北茨城市関本町小川

（3）平成 14（2002）年度

平成 14 年度は 4 月～ 8 月までに延べ 6 回行った．

4 月 6日　北茨城市関本町小川猿ケ城渓谷
5 月 5日　北茨城市関本町小川亀谷地
27日　北茨城市関本町小川
6 月 1日　北茨城市関本町才丸
8月29日　北茨城市関本町才丸
31日　北茨城市関本町小川納戸

3．調査項目

維管束植物（シダ植物，種子植物）を対象として，植物相と植生の調査を行った．調査項目は次のとおりである．

（1）調査地に生育する全植物の確認と記録．
（2）調査地の植生の概要．
（3）生育する植物の採集と標本の作成（原則として花･実がついている個体を採集，1 種の植物につき 2 ～ 4 点作成）．

採集・確認目録は付表 1 に示した．なお，付表 1 に示した種数は次のとおりである．

・確認種　　811 種

（4）写真の撮影

図 1．調査地（国土地理院発行　1：200,000　地形図「白河」「水戸」を使用）．

結　果

1．植生の概況

花園山系は植物分布上，県内では注目されている地域のひとつで，これまで多くのフロラ調査の報告がある．通常「花園」と呼ばれている地域は，花園神社，七つ滝，花園山，栄蔵室，亀谷地湿地，小川，定波などを含めた広い区域を指す場合が多い．調査地域の代表的な植生はコナラ林，ミズナラ林，ブナ林，イヌブナ林，スギ・ヒノキ植林，谷沿いの湿地，休耕田などに分けることが出来る．

（1）花園山及び栄蔵室付近のミズナラ林

花園山頂上のミズナラ林は比較的単純な植生で，高木層はミズナラ，ハクウンボク，リョウブ，アオハダ，ナツツバキなどが混じる．亜高木層はネジキやアセビ，林床はミヤコザサやスズタケが優占している．

栄蔵室山頂付近（標高 882 m）は，かつてブナやミズナラの原生林であったが，現在はヒノキ植林が大部分である．付近に湿地が点在していたが，現在は高さ 5 ～ 6 m のケヤマハンノキが優占し，レンゲツツジ，イボタノキ，メギ，ミヤマウグイスカグラなどの低木が進入している．残された湿地にはヌマガヤ，サワギキョウ，オタカラコウ，バイケイソウなどが生育している．

（2）定波地区の学術参考保護林

定波地区には学術参考保護林として保存されている落葉広葉樹林がある．ここでは高木層にミズナラ（優占），アカシデ，コナラ，ブナ，イヌブナなど．亜高木層はアカシデ，アズキナシ，イタヤカエデ，オオモミジ，ヤマボウシ，ハクウンボク，アオダモ，オオカメノキなど．低木層はヤマツツジが優占し，コアジサイ，ウワミズザクラ，オオモミジ，ヒナウチワカエデ，アオハダ，バイカツツジ，ガマズミ，ミヤマガマズミ，ヤマウグイスカグラなど．草本層はミヤコザサが優占し，ゼンマイ，ヘビノネゴザ，ホオノキ，ツルアジサイ，ツタウルシ，ウリハダカエデ，アケボノスミレ，コシアブラ，トチバニンジン，バイカツツジ，ヤマツツジ，エゴノキ，ハエドクソウ，オクモミジハグマ，オヤリハグマ，カシワバハグマ，チゴユリ，ミヤマナルコユリ，ヤマジノホトトギス，コチヂミザサ，タガネソウなどが見られる．

また，学術参考保護林西側の標高約 650 m に見られるシラカンバ林は，伐採後の二次林である．高木層のミズナラは直径 25 cm，高さ 15 ～ 18 m，シラカンバは直径 30 cm 以上に生長し，カスミザクラ，イヌシデ，クリ，コナラなどが混じる．亜高木層はクマシデ，ホオノキ，ツルアジサイ，ウラジロノキ，ウラゲエンコウカエデ，オオモミジ，アオハダ，ヤマボウシ，コシアブラ，リョウブ，ハクウンボクなど．低木層はケスズで覆われているが，わずかにクリ，マツブサ，クロモジ，ツルアジサイ，ノリウツギ，ウワミズザクラ，アオハダ，ツリバナ，ヤマツツジ，ムラサキシキブ，ガマズミなどが生育する．またブナの幼木も認められた．草本層はチゴユリが優占し，ブナ，イワガラミ，ツルアジサイ，ウワミズザクラ，ヤマウルシ，ツタ，アケボノスミレ，イチヤクソウ，ネジキ，ツルリンドウ，ムラサキシキブ，ガマズミ，アキノキリンソウ，オクモミジハグマ，オヤリハグマ，コバギボウシ，ヤマジノホトトギス，タガネソウ，ササバギンランなどが見られる．

定波から福島県境の稜線沿いにかけてもブナやイヌブナ，コナラ，ミズナラの混じる夏緑樹林が続いている．高木層はミズナラが優占し，ブナ，イヌブナ，コナラ，ホオノキ，カスミザクラなどがあり，ブナやイヌブナにはヤシャビシャク，シノブ，ヒメノキシノブ，ホテイシダ，ビロードシダなどが着生している．亜高木層はハクウンボク，アカシデ，イヌブナ，カスミザクラ，コシアブラ，リョウブなど．低木層は，ほとんどがスズダケで覆われているが，ブナやイヌブナの幼木が認められる．その他はアカシデ，ヤマウルシ，ウリカエデ，オオモミジ，コハウチワカエデ，ヒナウチワカエデ，アワブキ，アオハダ，コシアブラ，リョウブ，アセビ，ナツハゼ，ヤマツツジ，エゴノキ，ハクウンボク，ミヤマガマズミなどがわずかに生育している．草本層はブナ，フシグロセンノウ，アズキナシ，ウラジロノキ，ウワミズザクラ，ノササゲ，フジ，ツタウルシ，ヤマウルシ，ウリハダカエデ，ヒナスミレ，トチバニンジン，イチヤクソウ，ヤマツツジ，ハクウンボク，ツルリンドウ，ガマズミ，アキノキリンソウ，オクモミジハグマ，オヤリハグマ，カシワバハグマ，マイヅルソウ，ミヤマナルコユリ，ヤマジノホトトギス，タガネソウなどが見られる．

（3）猿ケ城渓谷のイヌブナ林

猿ケ城渓谷は花園山の北側に位置し，急斜面の続く谷沿いの地形である．下流部はスギの植林であるが，標高約 700 m になるとイヌブナ林へと変化する．イヌブナ林は高木層はブナがイヌブナ（優占）に混じり，ナツツバキ，ミズメ，ウラジロノキ，コシアブラなど

が，亜高木層はモミ，イヌブナ，ナツツバキ，ヤマウルシ，コミネカエデ，ヒトツバカエデ，ゴヨウツツジ，ネジキなど．低木層はモミ，オオバマンサク，ヒトツバカエデ，リョウブ，アズマシャクナゲ，アセビ，アブラツツジ，トウゴクミツバツツジ，ゴヨウツツジなど．草本層はスズダケが優占し，わずかにシシガシラ，ヒトツバカエデ，モミ，ホオノキ，ヒナスゲ，ヤマウルシなどが見られる．また，渓谷沿いの急峻な斜面沿いにはアズマシャクナゲやゴヨウツツジの大木も点在している．

初春の渓谷沿いでは，イワネコノメソウ，ミチノクネコノメソウ，ヨゴレネコノメ，ハナネコノメ，ツルネコノメソウなどのネコノメソウ属植物やコミヤマカタバミ，ニリンソウ，キクザキイチゲ，セントウソウ，ツクバネソウ，コチャルメルソウなどが見られる．

（4）小川地区納戸のブナ・イヌブナ林

四時川に合流する支流の一部に位置する小川地区の納戸には，斜面沿いに原生林と思われる落葉広葉樹林が残っている．ブナ，イヌブナ，ミズナラなどのほか，高木層の種類が多く優占種が明確でないことが特徴である．

高木層に出現する種類はブナ，イヌブナ，ミズナラをはじめとして，アサダ，イヌシデ，クマシデ，サワシバ，ミズメ，クリ，ケヤキ，ホオノキ，ナツツバキ，アズキナシ，ウラジロノキ，カスミザクラ，ヤマボウシ，ハリギリなどが挙げられる．

亜高木層も豊富な種類が見られ，以下のような種類が見られる．サワシバ，イヌブナ，ホオノキ，ナツツバキ，オオバマンサク，ウラジロノキ，オオモミジ，カジカエデ，コハウチワカエデ，ハウチワカエデ，ヒトツバカエデ，ヒナウチワカエデ，アワブキ，コシアブラ，ゴヨウツツジ，ネジキ，ハクウンボク，ケアオダモなど．

低木層はアセビやバイカツツジが一部優占する場所もあるが，大部分は優占種が明確でない．構成種類には，モミ，サワシバ，イヌブナ，ナツツバキ，オオバマンサク，ケカマツカ，ヤマウルシ，ハウチワカエデ，ヒナウチワカエデ，アオハダ，クロカンバ，コシアブラ，リョウブ，ゴヨウツツジ，バイカツツジ，ハクウンボク，ケアオダモ，ムラサキシキブ，オオカメノキ，ガマズミ，コバノガマズミ，ミヤマガマズミなどがある．

草本層の種類は豊富で，春先はカタクリやキクザキイチゲが群生する。構成種類はシシガシラ，ミヤマベニシダ，イヌブナ，ミズナラ，マツブサ，オオバショウマ，アケビ，ミツバアケビ，オオバマンサク，コアジサイ，ツルアジサイ，コゴメウツギ，サンショウ，ツタウルシ，ウリハダカエデ，ツリバナ，コシアブラ，リョウブ，アセビ，ウスノキ，ゴヨウツツジ，バイカツツジ，ハクウンボク，オオカメノキ，ガマズミ，ニワトコ，ベニバナツクバネウツギ，ミヤマガマズミ，ヤマウグイスカグラ，オオカニコウモリ，オクモミジハグマ，オヤリハグマ，カシワバハグマ，センダイトウヒレン，サルトリイバラ，チゴユリ，ヤマジノホトトギス，ユキザサ，スズダケなどがあり，樹木類の幼木も多い．

（5）水沼ダム付近のコナラ林

コナラ林は水沼ダム付近の標高約 300 m から小川の標高約 650 m まで広範囲に認められる．

水沼山頂（標高 500 m）のコナラ林においては高木層にコナラ（優占），ハクウンボク，アカマツ，クヌギ，クマシデ，ミズキ，モミ，アカシデなど．亜高木層はモミ，クマシデ，アカマツ，オオモミジ，ヤマウルシ，アオハダ．低木層はコゴメウツギ，アオハダ，マルバアオダモ，モミ，リョウブ，ウリハダカエデ，ヤブムラサキ．草本層はオヤリハグマ（優占），モミジイチゴ，ウリハダカエデ，ムラサキシキブ，オクモミジハグマ，オヤマボクチ，チゴユリ，ミヤマナルコユリ，ヤマジノホトトギス，モミジイチゴなどが見られる．付近の林床はミヤコザサで覆われている所もある．

（6）小川地区のトチノキ林

小川地区の沢沿いの一部にトチノキ林が見られる．高木層は直径 90 cm 以上あるトチノキが優占し，ケヤキ，モミも見られる．亜高木層はサワシバ，オオズミ，オオモミジ，オニイタヤ，ヒナウチワカエデ，ミツデカエデ，トチノキなど．低木層はオオモミジ，オニイタヤ，ツリバナ，エゴノキ，ガマズミ，ヤブデマリなど．草本層はイワシロイノデ，ヤマグワ，ウワバミソウ，ミズヒキ，オオバショウマ，サラシナショウマ，ツクバトリカブト，アケビ，ウスバサイシン，クサアジサイ，コチャルメルソウ，ウワミズザクラ，ダイコンソウ，オニイタヤ，トチノキ，コマユミ，ウマノミツバ，カノツメソウ，セントウソウ，イボタノキ，キバナアキギリ，ラショウモンカズラ，オクモミジハグマ，タマブキ，ノブキ，ウバユリ，カタクリ，シロバナエンレイソウ，チゴユリ，バイケイソウ，ホウチャクソウ，ユキザサ，ウチワドコロ，タツノヒゲ，カン

スゲ，シロイトスゲ，トンボソウなどが見られる．

また春先には春植物の代表であるカタクリが群生する．

（7）四時川沿いのケヤキ林

四時川に合流する支流の一部にケヤキの植林がある．高木層はケヤキが目立ち，亜高木層はサワシバ，オオモミジ，オニイタヤなど．低木層は貧弱でメグスリノキ，チドリノキ，フジがわずかに見られる．草本層はコチヂミザサが優占しているが，春にはカタクリの群落となる．

草本層の構成種類はヒロハハナヤスリ，ナツノハナワラビ，ミゾシダ，ムカゴイラクサ，イタドリ，ミズヒキ，ヒゲネワチガイソウ，フシグロセンノウ，キクザキイチゲ，サラシナショウマ，ルイヨウボタン，アケビ，フタリシズカ，クサアジサイ，ダイコンソウ，ノササゲ，フジ，ヤブハギ，コクサギ，オオモミジ，オニイタヤ，チドリノキ，エイザンスミレ，タチツボスミレ，カノツメソウ，テイカカズラ，キバナアキギリ，ラショウモンカズラ，ヤマウツボ，ニワトコ，アズマヤマアザミ，ヤマシロギク，センダイトウヒレン，ノブキ，フキ，モミジガサ，ヤマニガナ，ウバユリ，カタクリ，チゴユリ，ホウチャクソウ，ヤマジノホトトギス，コチヂミザサ，マムシグサ，シロイトスゲなどである．

また，支流の川沿いにはサワグルミ林がある．高木層はサワグルミ（直径約 30 cm）にミズナラ，オニイタヤが混じり，亜高木層にはヒナウチワカエデ（優占），チドリノキ，サワシバ，エゴノキ，アワブキなど．低木層はスズダケが優占し，コクサギ，タマアジサイ，チドリノキなど．草本層はカンスゲが優占し，イヌシダ，ウワバミソウ，ムカゴイラクサ，タニソバ，ミヤマハコベ，アケビ，コチャルメルソウ，タマアジサイ，ツルアジサイ，ツルネコノメソウ，ダイコンソウ，カノツメソウ，シラネセンキュウ，ミツバ，キバナアキギリ，ラショウモンカズラ，ノブキ，ホウチャクソウ，コカンスゲ，オオイトスゲ（シロイトスゲ），ミヤマカンスゲ，トンボソウなどが見られる．

（8）亀谷地の湿地

亀谷地の湿地には湿地性の種類が多数生育している．優占種はヌマガヤで，ヒメシダ，ミゾソバ，ヤノネグサ，ウメバチソウ，アカバナ，ムカゴニンジン，アケボノソウ，ヒメシロネ，サワギキョウ，サワシロギク，サワヒヨドリ，キセルアザミ，ニッポンイヌノヒゲ，チゴザサ，ヤマアワ，アブラガヤ，エゾアブラガヤ，コマツカサススキ，シカクイ，ヤチカワズスゲなどが見られる．しかし，周囲からオノエヤナギやイヌコリヤナギ，アカマツなどが侵入しつつあり，乾燥化が進行している．

また，湿地北側では人工的に植えられたミズバショウが増えている．

（9）スギ・ヒノキ植林

調査地域内の谷沿いにはスギの植林が点在している．植林後かなりの年数が経過したと思われる才丸のスギ林では以下のような構成種類となっている．

高木層のスギは直径 40 cm 以上に達し，亜高木層が認められない．低木層はコクサギが優占し，クリ，ヤマグワ，タマアジサイ，コクサギ，ヤマウルシ，ウリノキ，ハナイカダ，タラノキ，クサギ，ムラサキシキブなど．草本層はホソバナライシダ（優占），イワシロイノデ，ジュウモンジシダ，ベニシダ，ミヤマイタチシダ，ハリガネワラビ，ミゾシダ，イッポンワラビ，キヨタキシダ，シケチシダ，ヘビノネゴザ，ホソバシケシダ，ヤマイヌワラビ，ウワバミソウ，タニソバ，ミゾソバ，イノコズチ，ルイヨウボタン，フタリシズカ，クサアジサイ，ヌスビトハギ，コクサギ，ノブドウ，アマチャヅル，ヘクソカズラ（ヤイトバナ），クサギ，コバギボウシ，ホウチャクソウ，ヤマノイモ，コチヂミザサなどが生育している．

ヒノキ林は調査地域内に広く見られる．亀谷地（標高 770 m）のヒノキ林では，以下のような構成種類となっている．

高木層のヒノキは直径約 30 cm までに生長している．亜高木層は認められない．低木層は貧弱でウラジロノキ，ヤマウルシ，コハウチワカエデ，アオハダ，コシアブラ，リョウブ，アセビ，ナツハゼ，バイカツツジ，ヤマツツジ，エゴノキ，オオカメノキなど．草本層はトウゲシバ，シシガシラ，ヒノキ，アカシデ，コシアブラ，イチヤクソウ，アセビ，ウスノキ，バイカツツジ，ヤマツツジ，オオカメノキ，チゴユリ，ミヤコザサなどが見られるが，種類数は貧弱で植被率も低い．

（10）休耕田

小川地区には休耕田が増えておりヨシ，ゴマナ，ヒメシロネ，サワヒヨドリ，クサレダマ，アカバナ，ヒメナミキ，ヒメシダ，ヒメジソ，ヒメクグ，マツカススキ，コウヤワラビ，ヤノネグサ，アブラガヤ，ミ

ツカドシカクイ，イボクサ，スギナ，コブナグサ，ドクゼリ，コケオトギリ，ヌメリグサ，ゴウソ，ススキ，チガヤ，ヌマトラノオ，ハッカ，ツルマメ，トダシバ，キンエノコロ，チダケサシ，ユウガギク，ムラサキツメクサ，オタカラコウなどの草本類に混じり，木本類のネコヤナギ，オノエヤナギ，イヌコリヤナギなどが侵入している．

2．注目すべき植物

今回の調査で生育地の明らかになった種類，分布上注目すべき植物及び絶滅危惧植物を取り上げた．

・生育地の明らかになった種類

（1）ミヤマイラクサ　イラクサ科

本州（主に日本海側）～九州に分布．山地に生育する多年草．茎は直立し高さ 80 ～ 120 cm．茎は葉とともにさわると痛い毛がある，花期は 8 ～ 9 月．県内では男体山，真弓山，竜神峡，日立市に記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 500 m），水沼ダム付近，四時川沿いなどに生育しているのを確認した．

（2）ルイヨウショウマ　キンポウゲ科

北海道～九州に分布．山地の林中に生育する多年草．茎は高さ 40 ～ 70 cm で分枝しない．花期は 5 ～ 6 月．茎の頂に短い総状花序を出す．花序は長さ 5 ～ 8 cm．花色は白色．果柄は水平に開出し，腋果は黒色．今回の調査では関本町小川（標高約 800 m）の栄蔵室付近の林道脇の落葉広葉樹林下で確認した．

（3）チョウジザクラ　バラ科

本州～九州の主に太平洋側に分布．落葉小高木で，幹は基部から分枝して樹形はかさ状になることが多い．花期は 3 ～ 4 月．花は前年の枝の葉腋に 1 ～ 3 個下向きにつける．花柄に開出毛を密生する．県内では奥久慈に生育する．今回の調査では関本町小川（標高約 600m）の定波において実をつけた高さ約 5m の小低木状になっている個体を確認した．

（4）アマニュウ　セリ科

北海道，本州，四国に分布．山地の林下や草原に生育する多年草．茎は中空で分枝し高さ 1 ～ 2 m になる．花期は 8 月頃．花の色は白色．県内では男体山に記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 750 m）付近の落葉広葉樹林下の沢沿いにおいて約 20 株生育しているのを確認した．

（5）ヒメザゼンソウ　サトイモ科

北海道～本州に分布．湿った林縁や林下に生育する多年草．葉は早春に出て 7 ～ 8 月頃に枯れてしまう．花期は 6 ～ 7 月．小さな仏炎苞は紫褐色で葉に隠れて目立たない．果実は翌年熟すが土の中にもぐっていることが多い．県内では大子町，水戸市，ひたちなか市，東海村などに記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 500 m）のスギ林下に数カ所の生育を確認した．茨城県版レッドリストでは危急種．

（6）ナガエミクリ　ミクリ科

本州～九州に分布．溜池や水路などに生育する抽水～浮葉植物．花期は 6 ～ 8 月．花茎は分枝せず雌性頭花を下部に 3 ～ 7 個つけ，最下部の 1 ～ 3 個は長さ 7 ～ 50 mm の柄があり主軸と合着しないのが特徴．絶滅危惧種の危急種として注目されるようになり，県内各地での生育確認地が増えている．今回の調査では関本町小川（標高約 750 m）の湿地に群生しているのを確認した．

（7）シズイ　カヤツリグサ科

北海道～九州に分布．湿地や浅水中に生育する多年草．茎は 3 稜形で高さ 40 ～ 60 cm．基部には数個の根出葉がつく．サンカクイに似るがサンカクイは根出葉は発達しない．県内では高萩市，内原町に記録がある．今回の調査において関本町小川（標高約 600 m）の休耕田において 1 株確認した．茨城県版レッドリストでは危急種．

3．茨城県版レッドリスト該当種

茨城県では 1997 年，391 種を茨城県版レッドリストとして発表した．今回の調査で確認した主な茨城県版レッドリスト該当種は以下のとおりである．

（1）アスヒカズラ　ヒカゲノカズラ科　絶滅危惧種

北海道，本州，四国に分布．山地のやや湿り気のある林床に生育する常緑性シダ植物．茎は直立し高さ 10 cm 程度．側枝はヒノキの枝のように扁平になり一見するとヒノキの稚苗と間違える．県内では花園山，三鈷室山に記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 700 m）のヒノキ林下での生育を確認した．個体数は少なく調査期間中に間伐の作業車の下敷きになり，枯死寸前であった．

（2）キヨスミコケシノブ　コケシノブ科　希少種

本州（関東地方以西）～九州に分布．樹幹や岩上に着生する常緑性シダ植物．根茎は細い針金状で長く這い，淡褐色の毛がわずかに生える．コケシノブやホソバコケシノブに似ているが，葉の裏面の軸上に宿存性の毛が密生する．また裂片は幅広くこみあってつく．県内では花園山のみに記録があり本種の北限地である．今回の調査では華川町花園（標高約 700 m）七つ滝付近の岩上において確認した．

（3）ホテイシダ　ウラボシ科　希少種

北海道～九州に分布．樹幹や岩上に着生する夏緑性シダ植物．葉柄は長さ 3 ～ 5 cm．葉身は披針形，基部はくさび形．県内では花園山，三鈷室山，八溝山，大子町袋田などに記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 600 m）の落葉広葉樹の樹幹に着生する個体を確認した．

（4）ヒメコマツ（ゴヨウマツ）　マツ科　危急種

北海道～九州に分布する．常緑高木で，幹は高さ約 30 cm，直径約 1 m になることもある．樹皮は暗灰色で不ぞろいの薄い鱗片なってはがれる．葉は 5 枚なのでゴヨウマツとも呼ばれている．県内では花園山，高萩市，竜神峡などに記録がある．今回の調査では華川町花園（標高約 600 m）七つ滝の尾根筋において確認した．

（5）ホソバノアマナ　ユリ科　希少種

北海道～九州に分布．山地の草原に生える多年草．根出葉は普通 1 枚で長さ 10 ～ 20 cm，幅 2 ～ 3 mm．花期は 5 ～ 6 月．高さ 10 ～ 20 cm の花茎に数個の花がつく．花は白色で長さ約 1 cm．県内では花園山，里美村，八溝山に記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 600 m）のやや湿り気のある窪地において確認した．

（6）マイヅルソウ　ユリ科　危急種

北海道～九州に分布．山地や亜高山の樹林下に生育する多年草．茎は高さ 10 ～ 25 cm．葉は卵心形で長さ 5 ～ 7 cm，基部は深い心形で，先は尖る．花期は 5 ～ 7 月．花茎の先に 20 前後の白色の花をつける．県内では花園山，高萩市，三鈷室山，八溝山，筑波山で確認されている．今回の調査では関本町小川（標高 650 ～ 800 m）の落葉樹林下に数カ所確認した．

（7）ギボウシラン　ラン科　危急種

北海道～九州に分布．林下のやや湿った所に生える多年草．偽球茎は卵形．花茎は高さ 15 ～ 30 cm．葉は広卵形でユリ科のギボウシ属の葉に似ている．花期は 7 ～ 8 月．花茎は長さ 15 ～ 20 cm，紅紫色を帯びた花を 10 個程度つける．県内では花園山，三鈷室山に記録がある．今回の調査では関本町小川の定波において数個体確認した．生育環境は湿り気のある落葉樹林下であった．

（8）コケイラン　ラン科　危急種

北海道～九州に分布．林内のやや湿った所に生育する多年草．偽球茎は卵形．葉は普通 2 枚つき被針形で長さ 20 ～ 30 cm．花期は 6 ～ 7 月．花茎は高さ 30 ～ 40 cm，総状に多数の花をつける．県内では花園山，八溝山に記録がある．今回の調査では関本町小川の落葉樹林下で確認した．

（9）トキソウ　ラン科　危急種

北海道～九州に分布．日当たりのよい湿地に生育する多年草．茎は高さ 10 ～ 20 cm，葉は茎中央部に 1 枚つける．花期は 5 ～ 7 月．花は茎の先端に 1 個，横向きについて半開し紅紫色．県内では花園山をはじめ各地の湿地に生育の記録がある．しかし現在では生育の確認できない所が多い．今回の調査では関本町小川の湿地において生育を確認した．

（10）オノオレカンバ　カバノキ科　希少種

本州（中部以北）の主に太平洋側に分布．土壌の浅い尾根に生育する落葉高木．樹皮は黒褐色～暗灰色で厚く亀甲状に割れ，ざらざらしているがはがれない．花期は 5 月．雌花序の花穂は新葉の展開とともに下垂して開花する．県内では高萩市，大子町，鶏足山などに記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 650 m）の猿ケ城渓谷の岩場において 2 個体確認した．

（11）ミヤマツチトリモチ　ツチトリモチ科　危急種

本州（秋田県・岩手県以南）～九州に分布．渓流の近くのやや湿り気のある斜面などに生育する葉緑体のない寄生植物．主にカエデ類やシデ類などの根に寄生する．高さは 8 ～ 14 cm．花期は 7 ～ 8 月．雌雄異株であるが雄株は発見されていない．県内では花園山にのみ記録がある．今回の調査では関本町小川（標高 600 ～ 850 m）の夏緑樹林下で 2 カ所の生育地を確認した．

図 2．ミヤマツチトリモチ．

（12）ヤマシャクヤク　キンポウゲ科　危急種

本州（関東･中部地方以西），四国，九州に分布．落葉広葉樹の林床や林縁に生育する多年草．茎は高さ 30 ～ 40 cm．葉は 2 回 3 出複葉，小葉は楕円形～倒卵形で両面無毛．花期は 4 ～ 5 月．茎の先端に径 4 ～ 5 cm の白い花を 1 個つける．県内では花園山，高萩市，鶏足山などに記録がある．今回の調査では関本町小川で数カ所確認した．また，葉の裏面に毛のあるケヤマシャクヤクも 1 カ所確認した．

（13）ギンバイソウ　ユキノシタ科　危急種

本州（関東地方以西），四国，九州に分布．沢沿いの樹林下の斜面などに生育する多年草．茎は直立し分枝せず，高さ 40 ～ 70 cm．葉は長さ 10 ～ 20 cm，幅 6 ～ 12 cm で先端は 2 裂し鋸歯がある．花期は 7 ～ 8 月．県内では花園山，八溝山，御前山に記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 600 m）で数個体確認した．八溝山を北限にしている．

（14）ヤシャビシャク　ユキノシタ科　絶滅危惧種

本州～九州に分布．大木の樹幹に着生する落葉性の小低木．幹はよく分枝し，高さ 30 ～ 50 cm．花期は 5 月．花は各端枝の先端の葉の間に 1，2 個つける．液果は球形または卵球形で前面に針状の毛が生え，緑色に熟す．県内では花園山と八溝山の記録がある．今回の調査では関本町小川（標高 600 ～ 750 m）でブナやイヌブナの樹幹に生育しているのを確認した．

（15）ヤグルマソウ　ユキノシタ科　危急種

北海道，本州に分布．山地の沢沿いにある樹林下に生育する多年草．花茎は高さ 1 m 程度．葉は掌状複葉で 5 枚の小葉からなる．小葉は通常先が浅く 3 ～ 5 裂する．花期は 6 ～ 7 月．花茎に円錐状に白色の小花を多数つける．県内では花園山，八溝山に記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 700 m）のスギ林下で確認した．調査期間内では開花した個体は見られなかった．

（16）コミヤマカタバミ　カタバミ科　危急種

北海道～九州に分布．主に亜高山の針葉樹林の林床に生育する多年草．葉は数個束生し，長い葉柄の先に倒心形の 3 小葉をつける．花期は 5 月．花茎は 5 ～ 15 cm で，先端に白色の花をつける．県内では花園山に記録がある．今回の調査では関本町小川（標高 550 ～ 700 m）において 2 カ所の生育地を確認した．

図 3．コミヤマカタバミ．

（17）シャクジョウソウ　イチヤクソウ科　希少種

北海道～九州に分布．山地の木陰に生育する淡黄色の腐生植物．茎は高さ 10 ～ 25 cm，軟毛があるが稀に無毛．花期は 7 ～ 8 月．茎の先に総状に 4 ～ 8 個下向きにつける．さく果は直立し，広楕円形．県内では主に山地に生育するが平地にも記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 700 m）で数カ所の生育地を確認した．

（18）アズマシャクナゲ　ツツジ科　絶滅危惧種

図 4．アズマシャクナゲ．

本州（東北・関東・中部地方）の温帯上部に分布．崖や落葉広葉樹林下に生育し，高さ 2 ～ 4 m の常緑低木．花期は 4 ～ 5 月．枝先に短い総状花序を伸ばし，5 ～ 12 個の花をつける．花の色は紅紫色で上側内面に濃色の斑点がある．県内では花園山や八溝山に記録がある．今回の調査では華川町花園，関本町小川で確認した．

(19) サクラソウ　サクラソウ科　絶滅危惧種

北海道～九州に分布．山麓や川岸の湿気のある草地に生える多年草．葉は約 5 cm の柄があり，株の根元から 4 ～ 5 枚出る．花期は 4 ～ 5 月．花茎は高さ 15 ～ 40 cm となり，先端に 3 ～ 10 個の花をつける．県内では県北山地に記録があるが生育地は年々減少している．今回の調査では関本町小川において 1 カ所確認したが，個体数は少なく年々減少しているようである．

(21) イワキハグマ　キク科　危急種

本州（福島県，茨城県）に分布．山地の林下に生える多年草．茎は直立し，高さ 40 ～ 60 cm．葉は茎の中ほどにつき 5 ～ 8 枚，輪生状につき，基部は有翼の柄となり短い葉柄になる．クルマバハグマとオヤリハグマの自然雑種と考えられている．花期は 9 ～ 10 月．頭花には小花が 3 ～ 4 個ある．県内では花園山，三鈷室山，八溝山の記録がある．今回の調査では関本町小川(標高約 750 m) において 1 個体のみ確認した．生育地周辺にオヤリハグマは生育していたがクルマバハグマは確認できなかった．

図 5．イワキハグマ（左），オヤリハグマ（右）．

その他の茨城県版レッドリスト該当種は以下のとおりである．

シダ植物

マンネンスギ (ヒカゲノカズラ科)，シラネワラビ (オシダ科)，ニッコウシダ（ヒメシダ科），カラクサイヌワラビ（メシダ科），オオクボシダ（ヒメウラボシ科）

離弁花類

シラカンバ（カバノキ科），ナンブワチガイソウ (ナデシコ科)，フクジュソウ（キンポウゲ科），レンゲショウマ (キンポウゲ科)，シキンカラマツ（キンポウゲ科），ヤマブキソウ（ケシ科）

合弁花類

ミズマツバ（ミソハギ科），イワウチワ（イワウメ科），キバナウツギ（スイカズラ科），オヤリハグマ（キク科），センダイトウヒレン（キク科）

単子葉植物

アマナ（ユリ科），ヒメマイヅルソウ（ユリ科），ノギラン（ユリ科），ザゼンソウ（サトイモ科），ヒメスゲ（カヤツリグサ科），ミズトンボ（ラン科），コフタバラン（ラン科），アオフタバラン（ラン科），ジンバイソウ（ラン科），ミズチドリ（ラン科），オオヤマサギソウ（ラン科），ヒトツボクロ（ラン科），ハクウンラン（ラン科）

4．分布上注目すべき種類

(1) ミヤマシダ　メシダ科

北海道，本州，四国に分布．山地林下に生育する夏緑性のシダ植物．葉はキヨタキシダによく似ているが根茎は長く横走する．高さ 30 ～ 60 cm．葉柄には黒褐色の堅い鱗片がある．葉面は草質，広い三角形．県内では花園山と三鈷室山に記録がある．今回の調査では栄蔵室付近の華川町花園と関本町小川（標高約 800m) の数カ所で確認した．キヨタキシダも同所的に生育していた．

(2) アサノハカエデ　カエデ科

本州（福島県以南）・四国に分布．山地の林縁や沢沿いに生育する雌雄異株の落葉高木．葉は 5 ～ 7 中裂，長さ幅とも 5 ～ 10 cm．葉柄は 3 ～ 10 cm．花期は 5 月．雄花序は束状で 7 ～ 10 個の花つけ，雌花序は散房状で 10 個内外の花をつける．県内では花園山，三鈷室山，八溝山に生育する．今回の調査では関本町小川（標高約 800 m）の福島県境に近い沢筋に生育しているのを確認した．

(3) オオイタヤメイゲツ　カエデ科

本州（岩手県～山形県以南）・四国に分布．山地の林縁や沢沿いに生育する雌雄同株の落葉高木．葉は円心形で掌状に 9 ～ 11 中裂し縁に重鋸歯があり，長さ 5 ～ 8 cm，幅 6 ～ 12 cm，葉柄は長さ 3 ～ 7 cm．花期は

5 月．花序は複散房状．県内では花園山，八溝山に記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 800 m）の福島県境に近い沢筋に生育しているのを確認した．

（4）イワネコノメソウ　ユキノシタ科

本州（東北地方南部，関東・東海地方），四国，九州に分布．山地の沢沿いの湿地に生育する多年草．根出葉は花時には枯れて残らない．花茎は高さ 3 ～ 12cm．茎の葉は 1 ～ 2 対が対生し柄がある．花期は 4 ～ 5 月．雄ずいは 8 個で萼裂片は花時に平開する．県内では花園山，八溝山，花瓶山，筑波山に記録がある．今回の調査では関本町小川（標高 600 ～ 700 m）で数カ所確認した．

（5）クロカンバ　クロウメモドキ科

本州～九州に分布．落葉樹林内や岩石地に生育する落葉小高木．花期は 5 ～ 6 月．雌雄異株．花は小型で黄緑色．若い枝の下方の葉腋に数花ずつ束生する．県内では花園山に記録がある．江原　洋氏の案内で関本町小川（標高約 700 m）において 1 株確認することが出来た．江原氏によれば以前は数本生育していたとのことであった．確認した個体は高さ約 5 m で，5 月に蕾をつけていた．

（6）ハシリドコロ　ナス科

本州～九州に分布．山地の谷沿いの湿り気のある所に生える多年草．茎は高さ 30 ～ 60 cm でよく分枝する．葉は長楕円形で長さ 10 ～ 20 cm，幅 3 ～ 7 cm．花期は 4 ～ 5 月．花は長さ 3 ～ 5 cm の柄があって葉腋にぶら下がって開く．県内では花園山と筑波山に記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 600 m）のやや湿り気のあるスギ林下において数個体確認した．

（7）コメツツジ　ツツジ科

北海道～九州に分布．山地の岩場に生育し高さ約 1 m になる半落葉低木．半落葉であるが葉は冬にはほとんど落ちる．花期は 6 ～ 7 月．枝先の 1 個の花芽から新葉とともに 1 ～ 3 個の白色の花をつける．花は小さくあまり目立たない．県内では花園山に記録がある．今回の調査では関本町小川の猿ケ城渓谷において群生しているのを確認した．

（8）エゾタツナミソウ　シソ科

本州（近畿地方以北），北海道に分布．山の木陰のやや湿り気のある所に生える多年草．茎は四角形で高さ 10 ～ 25 cm．葉は 1 ～ 2 cm の葉柄があり卵状 3 角形で長さ 2 ～ 4 cm，幅 1 ～ 3 cm．花期は 5 ～ 6 月．茎の先に 3 ～ 6 cm の花序をつける．ヤマタツナミソウに似ているが，葉は薄くてほとんど毛がない．県内では花園山と八溝山に記録がある．今回の調査では関本町小川（標高約 700 m）のイヌブナ林下の沢沿いにおいて確認した．

（9）ヒダカエンレイソウ　ユリ科

エンレイソウは北海道から九州まで分布し，花弁がなく，がく片の色は赤紫色であるが，時に緑を帯びることもある．シロバナエンレイソウ（ミヤマエンレイソウ）も同様に北海道から九州に分布し，白色の花弁があることが特徴である．この 2 種の自然雑種と考えられているのがヒダカエンレイソウで，赤紫色の花弁をつける．分布域は北海道，青森県，岩手県，宮城県，茨城県である．県内では北茨城市華川町水沼付近にエンレイソウ，シロバナエンレイソウとともにヒダカエンレイソウが生育している．滑川（2002）はこの地域のエンレイソウ属についての詳細な観察記録により，個体数や花弁の数の変異を報告している．水沼ダムを中心として数カ所に生育地があげられているが，今回の調査ではこれまでの報告にある華川町花園（水沼ダム付近）の他，華川町小豆畑や磯原町内野でも生育していることを確認した．

図 6．ヒダカエンレイソウ．

（10）ヒトツバテンナンショウ　サトイモ科

本州（東北南部，関東中部地方）に分布．山中の木陰に生える多年草．葉は 1 枚で 5 ～ 9 枚の小葉をつける．小葉は長楕円形で長さ 13 ～ 25 cm．仏炎苞は緑

色であるが内面の中央近くに八の字の濃紫色の縞をつける．県内では花園山のみに記録がある．今回の調査では関本町小川（標高 500 ～ 750 m）において数カ所確認した．

・主な未確認種

県内に稀に生育する種類で，花園山周辺地域から報告のある次の種類については生育の確認が出来なかった．

シダ植物

オクタマゼンマイ（ゼンマイ科），カラクサシダ（ミズワラビ科）

離弁花類

バイカモ（キンポウゲ科），ベニバナヤマシャクヤク（キンポウゲ科），リュウキンカ（キンポウゲ科），ケナシベニバナヤマシャクヤク（キンポウゲ科），ニッコウネコノメソウ（ユキノシタ科），ナンキンナカマド（バラ科），フジキ（マメ科）

合弁花類

ミヤマニガウリ（ウリ科），ヤマムグラ（アカネ科），カリガネソウ（クマツヅラ科），カワミドリ（シソ科），テンニンソウ（シソ科），ミヤママコナ（ゴマノハグサ科），キヨスミウツボ（ハマウツボ科），タキネツクバネウツギ（スイカズラ科），フクシマシャジン（キキョウ科），ウスギタンポポ（キク科），クルマバハグマ（キク科），ヨツバヒヨドリ（キク科），キクアザミ（キク科），ハバヤマボクチ（キク科），ミヤコアザミ（キク科）

単子葉植物

カリヤスモドキ（イネ科），サギスゲ（カヤツリグサ科），コイトスゲ（カヤツリグサ科），アツモリソウ（ラン科），イチヨウラン（ラン科），ヨウラクラン（ラン科），オオミズトンボ（ラン科）

引用文献

安嶋　隆．1979．茨城県産のコケシノブ科．フロラ茨城，73: 4.

安見珠子．1964．花園山のシダ植物．フロラ茨城，24: 5-6.

安藤勝敏．1975．花園山系の植物について．茨城の生物第 1 集．pp．24-31．茨城県高等学校教育究会生物部．

長谷川貞夫．1973．花園山に「イチヨウラン」を見付けて．フロラ茨城，60: 1.

木村文子．1973．コケイラン花園山に産す．フロラ茨城，60: 5-6.

小室　健・鈴木昌友．1959．茨城県のシラカンバ属．フロラ茨城，3: 1-3.

滑川敏行．2002．北茨城市産ヒダカエンレイソウに関する一考察．茨城生物，22: 7-16.

斉藤卯内．1957．自然をたずねて．80 pp.,

塩田正寛．1963．茨城県内のバイケイソウノ産地．フロラ茨城，21: 1.

鈴木昌友・内ヶ崎昇・佐藤正己．1958．ミヤマツチトリモチの産地確認．フロラ茨城，2: 1-2.

鈴木昌友．1959．茨城県産植物雑記（2） 4） キバナウツギ　5） ツクバグミ 6） ベニバナツクバネウツギ．フロラ茨城，5: 1-2.

鈴木昌友．1962．茨城県産植物雑記（12） 25） イワネコノメソウ．フロラ茨城，18: 1-2.

鈴木昌友．1963．茨城県産植物雑記（13） 26） ミヤマネコノメソウ（イワボタン）の変種．フロラ茨城，19: 1-3.

鈴木昌友．1963．茨城県産植物雑記（14） 27） イワキハグマが亀谷地にも産す 28） マイズルソウ．フロラ茨城，21: 2-3.

鈴木昌友．1963．花園山の植物目録．フロラ茨城，20: 1-6.

鈴木昌友．1966．茨城県産植物雑記（17） 33） スグリ．フロラ茨城，34: 2-3.

鈴木昌友・安　昌美・安見珠子．1966．茨城県産シダ植物目録（1）．フロラ茨城，31: 3-6.

鈴木昌友・安　昌美・安見珠子．1966．茨城県産シダ植物目録（2）．フロラ茨城，32: 3-6.

鈴木昌友・安　昌美・安見珠子．1966．茨城県産シダ植物目録（3）．フロラ茨城，33: 3-6.

鈴木昌友・木戸田静子．1967．アスヒカズラの分布．フロラ茨城，38: 2-3.

鈴木昌友．1967．茨城県産植物雑記（18） 34） サギスゲ．フロラ茨城，37: 1-2.

鈴木昌友・安　昌美．1969．関東地方北部の植物相（2） 茨城県東北部のシダ植物．茨城大学教育学部紀要，19: 139-159. plate 6.

鈴木昌友．1970．茨城の植物．490 pp., 茨城新聞社．

鈴木昌友・野口達也．1971．茨城県産のスゲ属植物．フロラ茨城，52-53: 5-8.

鈴木昌友・安　昌美．1973．A floristic study of the northern Kanto District in Japan（4）on the seed plants in northeastern Ibaraki Prefecture. *Bul.. Fac. Educ. Ibaraki Univ*, 23: 23-32.

鈴木昌友・安　昌美．1974．A floristic study of the northern Kanto District in Japan（5）on the seed plants in northeastern Ibaraki Prefecture. *Bull. Fac. Educ. Ibaraki Univ*, 24: 155-170.

鈴木昌友・安　昌美．1975．A floristic study of the northern Kanto District in Japan（6）on the seed plants in northeastern Ibaraki Prefecture. *Bull. Fac.Educ. Ibaraki Univ*, 25: 293-307.

鈴木昌友・清水　修・安見珠子・安　昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸・野口達也．1981．茨城県植物誌．339 pp., 茨城県植物誌刊行会．

和田尚幸．1975．茨城県北部のナンブワチガイソウの分布．フロラ茨城，65-66: 2-3．

和田尚幸．1977．茨城県東北部における主な植物の分布について．茨城生物，5: 7-11．

和田尚幸．1984．茨城県東北部の植物相の研究（2）－花園山とその周辺において，最近生育が確認された植物数種について－．茨城県立日立第一高等学校紀要，6: 11-18．

和田尚幸．1986．茨城県のカエデ属植物－茨城県北部地域を中心にして－．茨城県立日立第一高等学校紀要，8: 16-29．

和田尚幸・江原　洋．1992．花園山の主な植物．茨城の生物第 3 集　平成 4 年版，pp．159-164．茨城県高等学校教育研究会生物部．

安　昌美．1968．北茨城市のシダ植物．フロラ茨城，40: 13-15．

安　昌美．1972．茨城県北部のシダ植物雑記（3）4）カラクサシダ．フロラ茨城，57: 2-3．

安　昌美．1975．茨城県東北部のシダ植物（1）．茨城県立緑岡高等学校研究紀要　緑苑，5: 3-14. plate 1．

安　昌美．1978．阿武隈山地南部のフロラに関する研究（1）　所産単子葉植物の分布．茨城県立緑岡高等学校研究紀要　緑苑，8: 54-73．

安　昌美．1982．阿武隈山地南部のフロラに関する研究（7）　分布上注目すべき植物（シダ植物）．フロラ福島，1: 27-51．

安　昌美．1983．阿武隈山地南部のフロラに関する研究（8）　分布上注目すべき植物（離弁花類－温帯性）－．茨城県立緑岡高等学校研究紀要　緑苑，13: 43-60．

安　昌美．1983．阿武隈山地南部のフロラに関する研究（9）　－分布上注目すべき植物（単子葉類）－．フロラ福島，2: 13-20．

吉川代之助・西尾知子．1963．花園山採集記．フロラ茨城，30: 7．

参考文献

秋山茂雄．1955．極東亜産スゲ属植物．257 pp., 北海道大学．

茨城県環境局．1991．茨城県自然公園特別地域内指定植物図鑑．266 pp., 茨城県環境局．

茨城県環境保全課．1997．茨城における絶滅のおそれのある野生生物〈植物編〉．253 pp., 茨城県環境保全課．

茨城県高等学校教育研究会生物部．1973．昭和 47 年度特別地域自然財分布調査報告．564 pp., 茨城県高等学校教育研究会生物部．

茨城県高等学校教育研究会生物部．1981．茨城の生物第 2 集．313 pp., 茨城県高等学校教育研究会生物部．

茨城県高等学校教育研究会生物部．1992．茨城の生物第 3 集　平成 4 年版．284 pp., 茨城県高等学校教育研究会生物部．

茨城県生活環境部．1995．茨城県特定動植物分布調査報告書 1　茨城の特定動植物の分布　－植物編－（平成 5・6 年）．494 pp., 茨城県生活環境部．

茨城県生活環境局．1985．特定動植物分布調査報告書茨城の特定動植物の分布（昭和 58･59 年）．532 pp., 茨城県生活環境局．

岩槻邦男編．1992．日本の野生植物　シダ．311 pp., 平凡社．

角野康郎．1994．日本水草図鑑．178 pp., 文一総合出版．

環境庁自然保護局野生生物課．2000．改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物　－レッドデータブック－　8 植物Ⅰ（維管束植物）．660 pp.,（財）自然環境研究センター．

北村四郎・村田　源．1961．原色日本植物図鑑　草本編〔Ⅱ〕 離弁花類．390 pp., 保育社．

北村四郎・村田　源・小山鐵夫．1964．原色日本植物図鑑　草本編〔Ⅲ〕 単子葉類．464 pp., 保育社．

北村四郎他・村田　源・堀　勝．1957．原色日本植物図鑑　草本編〔Ⅰ〕 合弁花類．297 pp., 保育社．

中池敏之．1982．新日本植物誌　シダ篇．808 pp., 至文堂．

中池敏之．1982．新日本植物誌　シダ篇　改訂増補版．868 pp., 至文堂．

大井次三郎（著）・北川政夫（改訂）．1992．新日本植物誌　顕花篇．1716 pp., 至文堂．

長田武正．1989．日本イネ科植物図鑑．759 pp., 平凡社．
佐竹義輔・原　寛・亘理俊次・富成忠夫（編）．1989．日本の野生植物　木本Ⅰ．321 pp., 平凡社．
佐竹義輔・原　寛・亘理俊次・富成忠夫（編）．1989．日本の野生植物　木本Ⅱ．305 pp., 平凡社．
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫（編）．1981．日本の野生植物　草本Ⅲ．259 pp., 平凡社．
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫（編）．1982．日本の野生植物　草本Ⅰ．305 pp., 平凡社．
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫（編）．1982．日本の野生植物　草本Ⅱ．318 pp., 平凡社．
杉本順一．1973．日本草本植物誌総検索誌Ⅱ　単子葉編．630 pp., 井上書店．
杉本順一．1978．日本草本植物誌総検索誌　双子葉編．871 pp., 井上書店．
杉本順一．1978．新日本樹木総検索誌．583 pp., 井上書店．
杉本順一．1979．日本草本植物誌総検索誌Ⅲ　シダ編．481 pp., 井上書店．
上野雄規編．1991．北本州産高等植物チェックリスト．365 pp., 東北植物研究会．
上野雄規．1996．北本州産高等植物チェックリスト補遺Ⅰ．東北植物研究，9: 32-46．
我が国における保護上重要な植物種及び群落に関する研究委員会種分科会編．1989．我が国における保護上重要な植物種の現状．320 pp.,（財）日本自然保護協会・（財）世界自然保護基金日本委員会．
吉川純幹．1957．日本スゲ属植物図譜　第壱巻．pp. 1-141．北陸の植物の会．
吉川純幹．1958．日本スゲ属植物図譜　第弐巻．pp. 142-281．北陸の植物の会．
吉川純幹．1960．日本スゲ属植物図譜　第参巻．pp. 282-421．北陸の植物の会．

調査研究

鈴木昌友（茨城大学名誉教授　理学博士）
安　昌美（元茨城県高等学校教育研究会生物部長）
滑川敏行（北茨城市立関本第一小学校校長）
渡辺義弘（北茨城市中郷町石岡 404）
和田尚幸（茨城県立那珂湊第二高等学校教諭）
内山治男（大成女子高等学校教諭）
安嶋　隆（茨城県立日立第二高等学校教諭）

執　筆

内山治男
安嶋　隆

里美・君田地域の維管束植物
〔里美地域〕

はじめに

この地域は茨城県の最北部に位置し，阿武隈山地の南部，いわゆる多賀山地の一部である．この地域の山頂部は丸みを帯びたなだらかな高原状の地形となっており，平地部との境の山裾でやや傾斜が急になっている．調査地域の主な山には，三鈷室山（870.6 m），妙見山（652.5 m），竪破山（658.3 m）がある．

山地部の最も広い地域を占めているのはスギの植林である．谷沿いや斜面中部までの，やや湿った土壌の厚い部分のほとんどはスギが植林されている．それに対し，乾燥した斜面の上部から尾根にかけては，アカマツ植林やヒノキ植林が見られる．また，三鈷室山や里美村岡見には，スギ植林の間にブナ，ミズナラ，カエデ類など，冷温帯地域を中心に生育する夏緑樹林が見られ，その窪地には小さな湿地も見られる．また，里川の流れる平地部との境の山裾には，コナラやクヌギを中心とした落葉広葉樹林も点在している．

調査方法

1．調査地の選定

調査地域は，北は福島県との境界線，西は久慈郡里美村の平地部中央を南に流れる里川，東は高萩市・多賀郡十王町との境界線，南は日立市との境界線とした．すなわち多賀山地の山頂から西側斜面と里川流域の平地部の部分である．

2．調査期間

（1）平成 12（2000）年度

平成 12 年度は予備調査と文献調査を行った．予備調査は 6 月～ 10 月に延べ 8 回行った．

6 月18日　里美村里川岡見地域
7 月14日　里美村小妻笠石林道地域
23日　里美村里川三鈷室山地域
8 月 6日　里美村里川岡見地域
19日　里美村折橋天竜院地域
9 月 3日　里美村里川三鈷室山地域
10日　里美村里川七反地域
10 月 7日　里美村小妻地域

（2）平成 13（2001）年度

平成 13 年度は 5 月～ 10 月に延べ 4 回行った．

5 月 4日　里美村三鈷室山・岡見地域
6 月 9日　里美村三鈷室山・岡見地域
9 月16日　里美村里川三鈷室山地域
10 月14日　里美村小妻地域

（3）平成 14（2002）年度

平成 14 年度は 5 月～ 10 月までに延べ 10 回行った．

5 月 4日　里美村里川
21日　里美村三鈷室山・岡見地域
6 月24日　里美村折橋天竜院
8 月 3日　里美村小妻・折橋地域
5日　里美村三鈷室山・岡見地域
7日　里美村小妻・小中地域
17日　里美村折橋地域
9 月29日　里美村小妻・小中・折橋地域
10 月10日　里美村里川三鈷室山
20日　里美村里川三鈷室山・岡見地域

3．調査項目

維管束植物（シダ植物，種子植物）を対象として，植物相と植生の概要の調査を行った．調査項目は次のとおりである．

（1）本調査地域に生育する全植物の確認と記録．
（2）本調査地の植生の概要．
（3）生育する植物の採集と標本の作成（原則として花・実がついている個体を採集，1 種の植物につき 2 ～ 4 点作成）．

採集・確認目録は付表 1 に示した．なお，付表 1 に示した種数は君田地域も含めて次のとおりである．

・確認種　　880 種

（4）写真の撮影（主な植物とその生育状況がわかる写真）

結　果

1．植生の概要

（1）スギ植林

調査地域の山地部で，スギ林は最も広い面積を占めている．里美で見られるスギ林は全て植林である．スギは土壌が厚く，湿り気の多い所でよく育つので，谷沿いや斜面の下部から中部に広く植林されている．

若いスギ植林は林内が極めて暗く，林床にはほとんど植物が生えていない．スギが生長し，間伐や枝打ちが行われると，林内は以前より明るくなり，林床に生育する生物の種類や量が多くなる．大きく生長した沢沿いのスギ植林では，林床に多くの植物が生育してい

る．

小妻・小中などのスギ林の構成はおおよそ次のようである．

高木層はスギのみ．亜高木層はごくわずかで，ムラサキシキブ，エゴノキ，アワブキなど．低木層は植被率 10 ～ 25％で，タマアジサイ，アズマネザサ，エゴノキ，ニワトコ，サンショウ，ヤマブキ，クリ，ホオノキ，ヤマウコギ，サワフタギ，ヤマウルシ，コゴメウツギ，オニイタヤなど．草本層の発達はよく，ヘビノネゴザ，コチヂミザサ，ジュウモンジシダ，ホソバナライシダ，オシダ，ヤマイヌワラビ，イノコズチ，ミドリヒメワラビ，フクオウソウ，ミヤマタニソバ，ツルニガクサ，クサギ，ヤマウグイスカグラ，ヤブソテツ，ハリガネワラビ，イタドリ，アズマネザサ，ミゾシダ，トリアシショウマ，キバナアキギリ，サラシナショウマ，ホソバシケシダ，リョウメンシダ，ヤマウルシ，サンショウ，コアカソ，チダケサシ，サルトリイバラ，フタリシズカ，オニイタヤ，ベニシダ，ノササゲ，アマチャヅル，ボタンヅル，ミツバアケビ，ヤマノイモ，オニドコロなど種類数も多い．

（2）アカマツ植林

調査地域でアカマツ林はあまり多くない．アカマツは，乾燥した痩せ地でも生育する力が強いので，尾根筋や斜面上部の，乾燥した部分に植林された．現在は，アカマツの用途がごく少なく，マツノザイセンチュウの被害などもあって，かなりの部分がヒノキの植林に変えられた．

小中などの胸高直径が約 20 ～ 25 cm のアカマツ林の構成はおおよそ次のようである．

高木層はアカマツ．亜高木層はなく，低木層は林内が明るいので構成種類はやや多く，ヤマウルシ，ムラサキシキブ，ヤマツツジ，コアジサイ，アオハダ，ガマズミ，マユミ，エゴノキ，コシアブラ，ウラゲエンコウカエデ，モミジイチゴ，イボタノキ，アズマネザサ，クリ，オトコヨウゾメ，コゴメウツギ，リョウブ，ウリカエデなど．草本層は，コチヂミザサ，オクモミジハグマ，オヤリハグマ，ヘビノネゴザ，ホソバシケシダ，マツブサ，タチドコロ，チゴユリ，ホソバナライシダ，サンカクヅル，ゼンマイ，タガネソウ，コナラ，ウスノキ，アオハダ，ガマズミ，ゼンマイ，アズマネザサ，ヤマザクラ，サルトリイバラ，ツノハシバミ，モミジイチゴ，クマイチゴ，アセビ，ミヤコザサなどが見られる．

（3）ヒノキ植林

調査地域のヒノキ林は全て植林されたもので，スギ林よりはずっと少なく，乾燥した斜面や尾根近くなどに見られる．林内は乾燥していて暗く，林床に生育する植物は少ない．

里川，小妻などのヒノキ林の構成はおおよそ次のようである．

高木層はヒノキのみ．低木層はごくわずかで，ヒサカキ，モミ，ヒイラギ，カヤ，コシアブラ，タカノツメ，シラカシ，アオハダなど．草本層も少なく，ヒノキ，オトコヨウゾメ，ヒイラギ，ヤブコウジ，ミヤマシキミ，ホソバナライシダ，ミヤコザサ，アカシデ，キヅタ，ツルリンドウ，ヒノキなどが見られる．

（4）サワラ植林

調査地域でサワラ植林は少ない．林を遠くから見ると，ヒノキより緑が淡く，湿り気の多い肥沃な所を好むので，谷沿いに植林される．

里美村岡見のサワラ林の構成はおおよそ次のようである．

高木層はサワラのみ．低木層は少なく，コゴメウツギ，ウリハダカエデ，ガマズミ，コアジサイ，スズダケ，ツリバナ，リョウブ，ムラサキシキブ，モミジイチゴ，コシアブラ，ウワミズザクラ，ツノハシバミ，ミヤマイボタ，オトコヨウゾメ，ヤマウグイスカグラ，ホオノキなどが見られる．

草本層はハリガネワラビ，ヘビノネゴザ，ホウチャクソウ，ミヤマタムラソウ，ヤマウルシ，トウゴクシソバタツナミ，キンミズヒキ，コナラ，コセリバオウレン，クサアジサイ，ウスバサイシン，ニワトコ，ガマズミ，アケビ，ヤマブドウ，ノハラアザミ，ヒカゲノカズラ，タチツボスミレ，コバノカモメヅル，チゴユリ，キバナアキギリ，ツルウメモドキ，ツクバネソウ，ミヤマワラビ，コゴメウツギ，トンボソウ，イワガラミ，ヒメマイヅルソウなどが見られる．

（5）ブナ・ミズナラ林

調査地域の山地部は夏緑樹林帯に属している．かつて広い地域を占めていたブナやミズナラを主とした夏緑樹林は，ほとんど大部分がスギなどの植林に変えられ，ごくわずかになっている．

三鈷室山のブナ・ミズナラ・カエデ類などからなる夏緑樹林の構成はおおよそ次のようである．

高木層はブナ，ミズナラなど．亜高木層は植被率 30

～40%で，オオモミジ，オオバマンサク，アオハダ，オオカメノキ，サワフタギ，サワシバ，ツリバナ，オニイタヤ，ヒナウチワカエデ，ホオノキなどが見られる．

低木層は少なく，ガマズミ，ハリギリ，コハウチワカエデ，メギ，アオハダ，ニシキウツギ，オオモミジ，ミツバウツギ，ヤブデマリ，ツリバナ，カジカエデ，ミヤマイボタ，ケカマツカ，フジなど．草本層は植被率30～40%で，ヘビノネゴザ，フクオウソウ，ミヤマシラスゲ，サワフタギ，サワシバ，シシガシラ，ミヤマガマズミ，センダイトウヒレン，ハエドクソウ，ミツバアケビ，ゼンマイ，ミゾソバ，コセリバオウレン，コブシ，コバギボウシ，チゴユリ，コシアブラ，ヤマドリゼンマイ，ミツバツチグリ，ヒメキンミズヒキ，ハウチワカエデ，オオモミジ，ジャコウソウ，クワガタソウ，ツタウルシ，メギ，ツリバナ，オタカラコウ，ムカゴイラクサ，エゾシロネ，ミズヒキ，キッコウハグマ，ヤマタイミンガサ，ツクバトリカブト，ヤマウコギ，アキノキリンソウ，ヤマツツジ，ノリウツギ，アオミズ，イヌシデなどが見られる．

（6）コナラ林・クヌギ林

調査地域で，コナラ林やクヌギ林は少なく，耕作地との境の山裾にわずかに見られる．

里川や折橋などのコナラ林の構成は，おおよそ次のようである．

高木層は，コナラ，クリ，カスミザクラ，ヤマハンノキなど．亜高木層は，ヤマウルシ，マルバアオダモ，ツノハシバミ，コナラ，リョウブ，アオハダ，アブラチャン，オオバマンサク，ガマズミ，ナツハゼなど．低木層は，コアジサイ，ニシキウツギ，アブラチャン，ヤマウルシ，マルバアオダモ，ウスノキ，ミズキ，コゴメウツギ，サンショウ，クマイチゴ，ムラサキシキブ，カスミザクラ，ツクシハギなど．草本層は，ヘビノネゴザ，タガネソウ，コチヂミザサ，チゴユリ，クサコアカソ，リンドウ，シラヤマギク，オオバギボウシ（トウギボウシ），モミジイチゴ，コアジサイ，アキノキリンソウ，ヒヨドリバナ，アキノタムラソウ，ミツバアケビ，スイカズラ，ヘクソカズラ（ヤイトバナ），ハエドクソウ，タチツボスミレ，ヤマユリ，ヤクシソウ，ノハラアザミ，ノガリヤス，ミズキ，サンショウ，フクオウソウ，クマヤナギ，ミツバツチグリ，オニドコロ，ヤマジノホトトギス，ヤマウグイスカグラ，ニワトコ，センボンヤリ，アケボノスミレ，サルトリイバラ，コブシ，トリアシショウマ，ミミガタテンナンショウ，フジ，ツタウルシ，ツルリンドウなどが見られる．

大中のクヌギ林の構成はおおよそ次のようである．

高木層は，クヌギ，コナラ，カスミザクラなど．亜高木層は少なく，エゴノキ，アカシデ，ネジキ，アオハダ，ヤマウルシ，タカノツメ，コナラ，カスミザクラ，ヤマボウシなど．低木層は，ヤマツツジ，アセビ，コシアブラ，ネジキ，ウリカエデ，アズマネザサ，タカノツメ，ガマズミ，リョウブ，コアジサイ，サワフタギ，ヤマウルシ，クリ，ヤブツバキ，ミヤマシキミ，ヤマボウシ，フジなど．草本層は，ヤマツツジ，ネムノキ，カキノキ，ママコナ，センブリ，アキノキリンソウ，ヒカゲスゲ，サワフタギ，ヌスビトハギ，サルトリイバラ，ミヤコザサ，リョウブ，ネジキ，コナラ，ツルリンドウ，アカマツ，チゴユリ，ヤマウルシ，コバギボウシ，イロハモミジ，アカシデ，センダイトウヒレン，タガネソウ，タチシオデ，オケラ，コアジサイ，タチドコロ，クリ，コシアブラ，ツルウメモドキ，ウワミズザクラ，シラヤマギク，オトコヨウゾメ，イヌヨモギ，ナツハゼ，ヤマユリ，ヤブツバキ，ウリカエデなどが見られる．

（7）カラマツ植林

里美村岡見には，わずかにカラマツの植林が見られる．

各層の構成種類はおおよそ次のようである．

高木層はカラマツ．亜高木層は認められない．低木層は貧弱でサワフタギ，ヤマウルシ，エゴノキ，ガマズミなど．草本層は，ワラビ，フキ，アキノキリンソウ，ミツバアケビ，ゴンゲンスゲ，ヤブマメ，ツタウルシ，コバギボウシ，ヘビノネゴザ，マツブサ，リンドウ，コナラ，ヤマジノホトトギス，サワフタギ，レンゲツツジ，ヤマウグイスカグラ，ツルウメモドキ，コマユミ，スイカズラ，アオハダ，エゴノキ，ヤマウルシ，アカシデ，ノリウツギ，ガマズミ，コシアブラ，オオカメノキ，カスミザクラ，ミズナラ，ヤマツツジ，イヌシデなどが見られる．

（8）湿地

調査地域では，里美村岡見・三鈷室山・里美村小妻などの山間部に湿地が見られる．これらの湿地は茨城県でも数少ない山地のもので，希少種の生育が確認されている貴重な所である．

湿地には次のような植物が見られる．

エゾアブラガヤ，ヤマアワ，サワギキョウ，ゴマナ，

コマツカサススキ，シデアブラガヤ，チゴザサ，ミズオトギリ，ヒメシダ，オオニガナ，サワヒヨドリ，オタカラコウ，ヒメジソ，レンゲツツジ，チダケサシ，シカクイ，ヤノネグサ，エゾシロネ，ウメバチソウ，アゼスゲ，コウヤワラビ，ミゾソバ，ヤチカワズスゲ，サワシロギクなどが見られる．

2.　注目すべき植物

（1）アスヒカズラ　ヒカゲノガラ科

調査地域では，滑川敏行が三鈷室山で確認している．個体数は極めて少ない．茨城県の絶滅危惧種である．

（2）ミヤマシダ　オシダ科

調査地域では，三鈷室山に生育している．

（3）シラネワラビ　オシダ科

夏緑性．葉柄は長さ 10 ～ 40 cm．葉身はやや 5 角状長楕円状卵形．日本では北海道から九州まで分布するが，暖地では高山地に限られ，温帯林の指標植物である．茨城県内では北部山地に稀で，花園山・高萩市君田に記録がある．調査地域では，三鈷室山に生育している．

（4）シノブカグマ　オシダ科

常緑性．葉身は卵状長楕円形．長さ 30 ～ 60 cm，幅 15 ～ 35 cm．北海道・本州・四国の山地と屋久島の高地で，ブナ帯から針葉樹林帯の林下に分布する．茨城県内では山地部の林下に稀で，高萩市君田･三鈷室山･鶏足山･雨巻山･吾国山の記録がある．調査地域では，三鈷室山に生育している．

（5）ホガエリガヤ　イネ科

茎は高さ 20 ～ 40 cm．花序は長さ 8 ～ 20 cm．8 ～ 15 個の小穂は下垂してつく．北海道～九州の深山の林地に生え，樺太・千島・中国（東北）に分布する．茨城県内では山地部に稀で，花園山・三鈷室山・里美村・男体山・常北町の記録がある．調査地域では，三鈷室山の夏緑樹林の林床に生育している．

（6）サギスゲ　カヤツリグサ科

茎は株を作らず，細くて柔らかく，高さ 30 ～ 50 cm．茨城県内では稀で，山間の湿地に生育し，花園山・高萩市君田・三鈷室山に記録がある．調査地域では，三鈷室山と里美村岡見の湿地に生育している．茨城県の危急種である．

（7）ホソバノアマナ　ユリ科

三鈷室山の夏緑樹林の林床にわずかに生育している．茨城県の希少種である．

（8）ヒメマイヅルソウ　ユリ科

山地や亜高山帯の針葉樹林下に生える多年草．マイヅルソウより葉が細長く，茎の上部，葉の裏面に柱状の突起毛があり，葉縁に微細な鋸歯がある．茨城県内では北部山地にごく稀で，花園山・三鈷室山・八溝山の記録がある．調査地域では，夏緑樹林や大きくなったスギ植林の林床に生育している．マイヅルソウと一緒に生育している所がわずかに見られる．マイヅルソウよりずっと少ない．

（9）マイヅルソウ　ユリ科

調査地域では，夏緑樹林や大きくなったスギ植林の林床に生育している．ヒメマイヅルソウと一緒に生育している所もわずかに見られる．ヒメマイヅルソウより分布も個体数も多い．茨城県の危急種である．

(10) バイケイソウ　ユリ科

山地の林下または湿った草原に生える大型の多年草．国内では北海道・本州に分布し，茨城県内では北部山地にのみ生育が知られ，花園山・高萩市君田・三鈷室山・八溝山に記録がある．調査地域では三鈷室山や里美村岡見の夏緑樹林内の渓側の湿った所に生育し，個体数は多い．

図 1．バイケイソウ．

(11) ギボウシラン　ラン科

調査地では，三鈷室山の記録があるので注意して調

査したが，調査期間には確認できなかった．

（12）コフタバラン　ラン科

茨城県内では極めて稀で，花園山・高萩市君田・三鈷室山・筑波山に記録がある．調査地域では筆者らが20数年前に，三鈷室山のスギ林下で確認した．今回の調査期間では確認できなかった．茨城県の危急種である．

（13）コケイラン　ラン科

林内のやや湿った所に生える多年草．日本では北海道～九州に分布するが，個体数が少なく，稀である．茨城県内ではごく稀で，花園山・八溝山・御前山の記録がある．

（14）ヤマトキソウ　ラン科

山地・丘陵の日当たりのよい湿地に生える多年草．茨城県内ではごく稀で，高萩市の記録がある．調査地では，山間の湿地でわずかに生育しているのが確認された．茨城県の危急種である．

（15）キンセイラン　ラン科

深山の林縁に生える多年草．北海道～九州（宮崎県）に分布する．茨城県では，七会村や県北部に数カ所の記録がある．今回の調査では里美村のスギ林内に生育しているのを確認した．しかし，周囲はスギ林の伐採が続いており，今後生育地が失われる可能性がある．

（16）ハクウンラン　ラン科

本州・九州・朝鮮の林床に分布する．茨城県内ではごく稀で，花園山・三鈷室山および岩間町の記録がある．7～8月頃，落ち葉から数cm花茎を出して，白花を開く．花期以外は，小さくて目立たないので見逃されてきた．注意して探せば，北部山地ではさらに生育地が増えると思われる．調査地域では，三鈷室山に点々と生育している．茨城県の危急種である．

（17）ウダイカンバ　カバノキ科

南千島・北海道・本州（岐阜以北）に分布する落葉高木．茨城県内ではごく稀で，高萩市君田の記録がある．調査地域では小妻に生育している．

（18）ナンブワチガイソウ　ナデシコ科

山地の林内に生える多年草．本州北部（北上山地～茨城県北部）・中国（北部・西南部・東北）・ウスリーに分布する．茨城県内では，花園山・高萩市君田・三鈷室山に記録がある．調査地域では，三鈷室山の夏緑樹林下に点々と生育している．茨城県の危急種である．

（19）ヒメイチゲ　キンポウゲ科

亜高山の針葉樹林や高山帯に生える多年草．茨城県内では北部山地にごく稀で，花園山・里美に記録がある．調査地域では，三鈷室山の夏緑樹林の林床にわずかに生育している．

図2．ヒメイチゲ．

（20）リュウキンカ　キンポウゲ科

浅い水の中や湿地に生える多年草．花期は4～5月．茨城県では北部山地の湿地にごく稀に生育している．調査地域では，三鈷室山の湿地にごくわずかに生育し，滑川敏行氏により確認されている．茨城県の危急種である．

（21）シキンカラマツ　キンポウゲ科

木陰の湿った草地に生える多年草．本州（長野県・群馬県・福島県）に分布する．茨城県内では北部山地のみに分布が確認され，花園山・高萩市君田・三鈷室山に記録がある．調査地域では，三鈷室山の湿地の縁にごくわずかに生育していた．

（22）イワネコノメソウ　ユキノシタ科

調査地域では，三鈷室山の夏緑樹林下の渓側にごくわずかに生育していた．

（23）コキンバイ　バラ科

亜高山の木陰に生える多年草．北海道・本州中北部

図 3．シキンカラマツ．

に見られ，朝鮮・中国・ロシアに分布する．県内ではごく稀で，里美村岡見が唯一の記録である．調査地域では，里美村岡見の夏緑樹林下など，数カ所で生育が確認されている．茨城県の危急種である．

(24) アサノハカエデ　カエデ科

調査地域では，三鈷室山の夏緑樹林にわずかに生育している．

(25) コミネカエデ　カエデ科

日本固有で，本州・四国・九州に分布する．茨城県内では北部の山地部のみに生育し，花園山･三鈷室山･八溝山・花瓶山に記録がある．調査地域では，三鈷室山の夏緑樹林にわずかに生育している．

(26) ヒナウチワカエデ　カエデ科

日本固有で，本州（福島県南部以南）・四国・九州に分布する･茨城県内では北部の山地部のみに生育し，花園山・高萩市君田・三鈷室山・八溝山・花瓶山に記録がある．調査地域では，三鈷室山の夏緑樹林に生育している．

(27) ケヤマウコギ　ウコギ科

北海道～九州の山地林内に生える落葉低木．朝鮮・中国中部にも分布する．茨城県内では，北部山地に稀で，花園山・北茨城市・高萩市君田・土岳・三鈷室山・里美村に記録がある．調査地域では，三鈷室山にわずかに生育している．

(28) イワセントウソウ　セリ科

深山の日陰の湿った場所に生える小さな多年草．県内ではごく稀で，花園山・三鈷室山・高萩市君田に記録がある．調査地域では，三鈷室山の夏緑樹林下の小さな流れに沿う湿った所にわずかに生育している．

図 4．イワセントウソウ．

(29) クリンソウ　サクラソウ科

山麓の湿地に生える多年草．北海道・本州・四国に分布する．花期は 5 ～ 6 月．茨城県では極めて稀で，確実な生育地は里美のみである．古くは花園山系にも生育していたというが，確認できていない．茨城県の絶滅危惧種である．

(30) サクラソウ　サクラソウ科

山裾と耕地の境の湿った草地に生える多年草．花期は 4 ～ 5 月．北海道南部・本州・九州，朝鮮・中国(東北)シベリア東部に分布する．茨城県では北部に稀で，花園山・高萩市・里美村・大子町袋田に記録がある．調査地域では，大中などにわずかに生育している．茨城県の絶滅危惧種である．

(31) エゾシロネ　シソ科

山間の湿地に生える多年草．北海道～九州，朝鮮・中国（東北）・シベリア・北アメリカに分布する．茨城県内では北部山地の湿地に稀で，花園山・高萩市君田・三鈷室山の記録がある．調査地域では，三鈷室山の夏緑樹林の間の湿地に生育している．

(32) ミヤマタムラソウ(ケナツノタムラソウ)　シソ科

花は淡青紫色．葉の羽片はやや円くなる．本州中部

以北の深山に生育する．茨城県内では，花園山，高萩市君田，大北渓谷，三鈷室山の記録がある．調査地域では，三鈷室山の夏緑樹林下の渓流沿いの湿った所に生育している．

(33) タチコゴメグサ　ゴマノハグサ科

高原に生える 1 年草．本州（東北地方南部～近畿・中国地方西部）・四国西部・九州中北部に分布する．茨城県では極めて稀で，三鈷室山の他に，八溝山の古い記録がある．調査地域では，里川のススキ採草地に，ごくわずかに生育している．

(34) ムラサキミミカキグサ　タヌキモ科

湿地の泥上に生える多年草．北海道～屋久島に分布する．茨城県内では山地部にごく稀で，高萩市上君田・岩間町の記録がある．調査地域では，山地部の湿地に極めてわずかに生育している．茨城県の絶滅危惧種である．

(35) ミヤマムグラ　アカネ科

深山の林中に生える多年草．北海道～九州，朝鮮・中国・シベリア東部に分布する．茨城県内では北部山地部に稀で，花園山・三鈷室山・八溝山・花瓶山の記録がある．調査地域では，三鈷室山の夏緑樹林下に生育している．

(36) オオカニコウモリ　キク科

夏緑樹林の適当な湿り気のある所に生える多年草．茎は稲妻型に屈曲し，高さ 30 ～ 100 cm．温帯に生育し，東北地方・北陸地方・近畿地方北部と主に日本海側に分布している．茨城県では北部山地にのみ生育し，花園山・高萩市君田・三鈷室山・八溝山に記録がある．調査地域では，三鈷室山に点々と生育している．

(37) イワキハグマ　キク科

調査地域では，筆者が今から 30 年ほど前に，大きく生長したスギ林内で，イワキハグマがなり多数生育しているのを確認した．しかしその後，そこのスギ林は伐採され，環境が大きく変化してしまい，生育を確認できないでいた．今回の調査では，かつての生育地と思われる所を，注意深く調査したところ，生育を確認することができたが，個体数は極めて少なかった．茨城県の危急種である．

図 5．オオカニコウモリ．

(38) コウリンカ　キク科

日当たりのよい山地の，適湿の草原に生える多年草．茎は直立し，高さは 40 ～ 60 cm．根出葉は開花時には枯れる．温帯に生育し，本州と朝鮮に分布する．茨城県内では極めて稀で，里美村・高萩市・八溝山に記録がある．調査地域では，里川のススキ採草地で確認した．個体数は極めて少なかった．

(39) キオン　キク科

山地に生える多年草．温帯に生育し，日本では本州から九州に分布し，南千島・朝鮮・中国・樺太・シベリア・ヨーロッパに分布する．茨城県内では，極めて稀で，高萩市君田·三鈷室山·八溝山に記録がある．調査地域では，三鈷室山の山間部で確認した．

(40) サワギク（ボロギク）　キク科

温帯に生育し，北海道～九州に分布する．茨城県内では北部の山地に稀で，三鈷室山，八溝山・花瓶山の記録がある．調査地域では，三鈷室山や竪破山で生育していた．個体数はごく少なかった．

(41) サワオグルマ　キク科

日当たりのよい山間湿地に生える多年草．温帯～亜熱帯に生育し，本州～琉球に分布する．茨城県内ではごく稀で，北茨城市・水戸市に記録がある．調査地域では，山地の湿地にわずかに生育している．

調査研究

鈴木昌友（茨城大学名誉教授　理学博士）
渡辺義弘（北茨城市中郷町石岡 404）
滑川敏行（北茨城市立関本第一小学校校長）
岩浪順子（大洗町立南中学校）
和田尚幸（茨城県立那珂湊第二高等学校教諭）
内山治男（大成女子高等学校教諭）
安　昌美（元茨城県高等学校教育研究会生物部長）

執　筆

和田尚幸

里美・君田地域の維管束植物
〔君田地域〕

はじめに

本地域の主要部を占める下君田・上君田地域は，多賀山地の主要部を占める地域でもある．標高も 800 m 前後を持ち，福島県との県境をなしている山域である．県内では北茨城市の花園地区及び里美村岡見地区とともに植物地理学的にも注目されてきた地域でもある．

しかし，植物相に関する調査では，北の花園地区よりも遅れていたが，大子町と高萩市で行われた「植樹祭」とそれに関係する「お手まき」では高萩市が会場となった．それを機会に高萩市の植物が調査され，君田地域には花園地区と同様に県内では貴重な植物が生育していることが明らかになってきた．

一方高萩市の市街地に近い土岳や花貫渓谷は，古くからハイキング等に利用されてきた．海の見えるダムとして花貫ダムは観光地ともなっている．

この地域一帯は古くから林業も盛んな地域でもあり，スギ・ヒノキの植林地が広がっている．草地はかつての牧畜との関係があった所である．また，谷津田のへりの草地などが減少し，草原性の植物が減んだり，減少したりしているようである．湿地等もあり，保護されており，重要な地域であることに変わりはない．今後とも興味をもたれる地域である．

調査方法

1. 調査地域

調査地は高萩市の北西部を占めている．北茨城市と里美村に接し，北部では福島県塙町とも接している．河川としては大北川と花貫川の上流部があり，市街地に近い部分にV字の渓谷をもつ大北渓谷と花貫渓谷がある．さらに奥になると全体は緩やかな山容を持つようになり，流れも緩やかな所もある．標高の最高は 872 m と思われ，渓谷も標高 700 m 近くある所もある．

高萩市下君田，上君田，横川，若栗，大能，上手綱，中戸川に属する地域である．採集地点等についてはさらに小さい地名を使用している．

2. 調査期間

（1）平成 12（2000）年度

平成 12 年度は予備調査と文献調査を行った．予備調査は 5 月～ 11 月に延べ 9 回行った．

5 月27日　高萩市下君田柳沢
8 月 6日　高萩市上君田　滝の倉
8 月10日　高萩市下君田柳沢
8 月19日　高萩市横川小山
8 月26日　高萩市上君田
9 月 3日　高萩市下君田柳沢
9 月 9日　高萩市上君田
9 月23日　高萩市中戸川　土岳
10 月21日　高萩市横川大北渓谷

（2）平成 13（2001）年度

平成 13 年度は 4 月～ 11 月に延べ 21 回行った．

4 月14日　高萩市花貫渓谷
4 月22日　高萩市下君田
4 月28日　高萩市横川十里上
5 月 6日　高萩市若栗
12日　高萩市下君田柳沢・大荷田
13日　高萩市花貫渓谷
26日　高萩市下君田柳沢・横川大金田若栗・仙道坂
29日　高萩市横川小山
6 月17日　高萩市下君田柳沢
24日　高萩市上君田　滝の倉
30日　高萩市上君田
7 月 8日　高萩市若栗
22日　高萩市上君田滝の倉湿原
8 月19日　高萩市上君田
26日　高萩市下君田柳沢
9 月16日　高萩市若栗　花貫渓谷
25日　高萩市上君田滝の倉湿原
30日　高萩市土岳・下君田・柳沢・仙道坂
10 月 6日　高萩市土岳
10 月27日　高萩市上君田
11 月23日　高萩市上君田滝の倉

（3）平成 14（2002）年度

平成 14 年度は 4 月～ 10 月までに延べ 13 回行った．

4 月13日　高萩市下君田
22日　高萩市上君田滝の倉
5 月 4日　高萩市上君田滝の倉
6日　高萩市土岳
26日　高萩市上君田滝の倉・上君田
6 月22日　高萩市上君田滝の倉・根岸湿原
24日　高萩市上君田根岸・根岸湿原
8 月 1日　高萩市上君田滝の倉

26日　高萩市若乗
9月 9日　高萩市花貫渓谷
9月14日　高萩市土岳
10月 5日　高萩市上君田
6日　高萩市上君田滝の倉・上君田

3. 調査項目

維管束植物（シダ植物，種子植物）を対象として，植物相と植生の概要の調査を行った．

（1）調査地に生育する全植物の確認と記録
（2）調査地の植生の概要
（3）生育する植物の採集と標本の作成（原則として花･実がついている個体を採集，1種の植物につき2～4点作成）．

採集・確認目録は付表1に示した．なお，付表1に示した種数は里美地域も含めて次のとおりである．

・確認種　　880種

（4）写真の作成(採集した主な植物とその生育状況がわかる写真)．

結　果

1. 植生の概要

全体的には北部域はブナクラス域に含まれると思われるが，現在は大部分の地域はスギ・ヒノキ等の植林地になっており，ブナを含む林は土岳などに残っているにすぎない．コナラやシデ類を含む林も点在しているが，その面積は広くない．湿地は上君田に保護されているものがあるが，回りからの樹木の侵入が見られる．

（1）ブナを含む林

土岳の小滝沢キャンプ場からの登山道わきに見られる．

高木層にはブナ，ヤマザクラ，コナラ，リョウブ，ヤシャブシがあり，稀にオノオレカンバやナツツバキが見られる．亜高木層ゴヨウツツジやトウゴクミツバツツジ，コシアブラ，ヒトツバカエデなどが混じっている．低木層ではコアジサイは目につくがほかにアブラツツジ，オトコヨウゾメ，ヤマツツジ，ヤマウルシがある．草本層は貧弱で岩場にはイワウチワ，ヒナスゲなどが生育している．

（2）コナラなどの落葉広葉樹林

土岳登山口付近のコナラ林は高木層にコナラ，イヌシデ，アカシデ，オニイタヤなどがあり，亜高木層を欠き，低木層にシラキ，アワブキ，タマアジサイ，コゴメウツギ，ミツデカエデなどが見られる．草本層は豊富でキバナアキギリ，モミジイチゴ，アズマネザサ，ノダケ，クサアジサイ，エイザンスミレ，ヘビノネゴザ，オオイトスゲ（シロイトスゲ），ヤマジノホトトギス，モミジガサ，ダイコンソウ，ジュウモンジシダなどがある．

（3）湿原

上君田滝の倉湿原には周囲からヤマハンノキ，リョウブ，アカマツ，ミズキなどの樹木の侵入がある．残された湿原にはサワシロギク，コバギボウシ，コオニユリ，モウセンゴケ，エゾシロネ，チゴザサ，キセルアザミ，ヒメシロネ，レンゲツツジ，サワヒヨドリなど多数の湿生植物が見られる．特筆すべきはトキソウやサギスゲ，ミツガシワが健在なことである．

残念なのはかつてコウリンカなどの見られた谷津田のへりの草地はなくなっていた．

2. 注目すべき植物

本地域を特徴づける植物と分布上注目すべき植物及び絶滅危惧植物を取り上げた．

（1）シラネワラビ　オシダ科

下君田柳沢のヒノキ林下に生育を確認していたが今回は確認できなかった．

（2）オオクボシダ　ヒメウラボシ科

山地の樹幹や岩上に着生する小型の常緑シダ植物．本州（日本海側は秋田県以南，太平洋岸は福島県南部以南），四国，九州の暖地に生育するとされる．県内では筑波山，北茨城市花園と大北渓谷及び高萩市の花貫渓谷で確認されているが，個体数は非常に少ない．調査地域では花貫渓谷に生育している．

（3）サギスゲ　カヤツリグサ科

調査地域では上君田の滝の倉湿原に生育している．

（4）エゾツリスゲ　カヤツリグサ科

湿地に生える多年草．草丈は30～50 cmになり，小穂2～3個が離れてつく．国内の分布は北海道，本州中部以北，九州に稀とされている．県内では古く玉造町で採集された記録があるが，現在生育が確認されているのは調査地域の上君田滝の倉湿原のみである．

図 **1**．サギスゲ．

図 **2**．コフタバラン．

（5）ミヤマジュズスゲ　カヤツリグサ科

山地の林下に生える多年草．全体は柔らかく鮮緑色．基部の鞘は黒褐色になる．草丈は 40 ～ 80 cm と高い．小穂は 4 ～ 6 個で，離れてつく．国内では北海道から九州の山地とされている．県内では北部の山地で確認されているが稀である．調査地域では大金田，下君田に生育している．

（6）ホソバノアマナ　ユリ科

調査地域では下君田柳沢の沢沿いで花期のものを確認した．

（7）マイヅルソウ　ユリ科

調査地域では下君田柳沢地区で確認できた．

（8）コフタバラン　ラン科

調査地域では下君田で確認した．

（9）サギソウ　ラン科

低地の湿地に生える多年草．花は白色で，その姿は白鷺が飛んでいるようである．国内の分布は本州から九州であるが，各地で絶滅が報告され，生育地が減少している種である．県内でも野生のものの絶滅が心配されている．調査地域では上君田滝の倉に保護されて生存している．

（10）トキソウ　ラン科

湿地に生える多年草．花は紅紫色で 1 個が頂生する．花期は 6 月頃．国内では北海道から九州に分布

図 **3**．サギソウ．

図 **4**．トキソウ．

し，四国，九州では稀とされている．しかし，各地で激減し絶滅が心配されている．県内でも稀である．調査地域では上君田の滝の倉湿原に稀に見られる．

（11）ナンブワチガイソウ　ナデシコ科

山地の林下に生える多年草．全体に毛があり，茎の葉は離れてつく．花は白色で花期は 5 ～ 6 月である．茎の下部に閉鎖花がつく．国内の分布は本州北部とされている．北上山地と阿武隈山地に稀に見られ，長野県に離れて分布している．国外では，中国とウスリー地方に知られている．県内では多賀山地の北部に生育している．調査地域では下君田柳沢に生育している．

（12）シキンカラマツ　キンポウゲ科

調査地域では下君田柳沢の湿地に稀に見られる．

（13）ミツガシワ　ミツガシワ科

高地の湿原や沼等に生える多年草．氷期の残存植物として低地に稀に知られる．花は白色で裂片の内面に毛がある．小葉は 3 個．国内では北海道，本州，九州に分布している．県内では古くは水戸市や鹿島郡旭村，鹿嶋市などに知られていたが現在は絶滅してしまっている．現在生育の確認されているのは調査地域の上君田滝の倉湿原のみである．近くでは福島県いわき市に生育地がある．

図 5．ミツガシワ．

（14）ミヤマムグラ　アカネ科

調査地域では下君田柳沢で確認できた．

（15）ヒメハッカ　シソ科

湿地に生える多年草．分布は北海道と本州とされているが，低地の湿地は開発等により減少し，ヒメハッカも珍しい植物になっている．県内でも以前記録されていた所でも無くなっている所がある．調査地域では上君田の滝の倉湿原にわずかに見られる．

（16）コウリンカ　キク科

山地のやや湿った草原に生える多年草．茎は直立し，50 ～ 60 cm である．花は橙黄色で夏に咲く．国内では本州に知られている．県内では北部の山地に稀で，調査地域では下君田大荷田に以前生育していたが今回は確認できなかった．

（17）オヤリハグマ　キク科

山地の林下に生える多年草．茎の中部につく葉は長い柄があり，3 浅裂し，へりに歯牙があるのが特徴である．小花は 1 個．分布は本州の東北地方から関東地方北部で茨城県の北部山地を南限地にしている．本州地域では山地部にやや稀に見られる．時に海岸近くの林で確認されることもある．

引用文献

「里美の自然」調査・編集委員会．1993．里美の自然．278 pp., 里美村教育委員会．

鈴木昌友・清水　修・阿見珠子・安　昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸・野口達也．1981．茨城県植物誌．339 pp., 茨城県植物誌刊行会．

安　昌美．1975．竪割山の植物．茨城の生物第 1 集．pp．39-46．茨城県高等学校教育研究会生物部．

安　昌美．1982．阿武隈南部のフロラに関する研究（6）分布上注目すべき植物（合弁花類）．茨城県立緑岡高等学校研究紀要，12: 51-76．

安　昌美．1982．阿武隈南部のフロラに関する研究（7）分布上注目すべき植物（シダ植物）．フロラ福島，1: 27-51．

安　昌美．1983．阿武隈南部のフロラに関する研究（8）分布上注目すべき植物（離弁花類－温帯性植物）．茨城県立緑岡高等学校研究紀要，13: 43-60．

安　昌美．1983．阿武隈南部のフロラに関する研究（9）分布上注目すべき植物（単子葉類）．フロラ福島，2: 13-20．

安　昌美．1984．阿武隈南部のフロラに関する研究（10）分布上注目すべき植物（離弁花類－暖帯～温帯性植物）．茨城県立緑岡高等学校研究紀要，14: 29-

46.
安　昌美・藤田弘道・中崎保洋．1992．茨城のシダ植物．茨城の生物第3集　平成4年版．pp．105-110．茨城県高等学校教育研究会生物部．
安　昌美・中崎保洋・和田尚幸．1975．三鈷室山の植物．茨城の生物第1集．pp．32-38．茨城県高等学校教育研究会生物部．
安　昌美・和田尚幸．1992．茨城の種子植物．茨城の生物第3集　平成4年版．pp．111-116．茨城県高等学校教育研究会生物部．

参考文献

茨城県環境保全課．1997．茨城における絶滅のおそれのある野生生物〈植物編〉．253 pp., 茨城県環境保全課．
岩槻邦男編．1992．日本の野生植物　シダ．311 pp., 平凡社．
金砂郷の自然編集委員会．1998．金砂郷の自然．306 pp., 金砂郷町・金砂郷町教育委員会．
環境を守る日立市民会議編．1988．日立の植物　シダ植物・種子植物・キノコ．295 pp., 日立市．
ミュージアムパーク茨城県自然博物館．茨城県自然博物館第1次総合調査報告書．349 pp., ミュージアムパーク茨城県自然博物館．
大井次三郎（著）・北川政夫（改訂）．1992．新日本植物誌　顕花篇．1716 pp., 至文堂．
長田武正．1989．日本イネ科植物図鑑．759 pp., 平凡社．
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫（編）．1981．日本の野生植物　草本Ⅲ．259 pp., 平凡社．
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫（編）．1982．日本の野生植物　草本Ⅱ．318 pp., 平凡社．
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫（編）．1982．日本の野生植物　草本Ⅰ．305 pp., 平凡社．
佐竹義輔・原　寛・亘理俊次・富成忠夫（編）．1989．日本の野生植物　木本Ⅰ．321 pp., 平凡社．
佐竹義輔・原　寛・亘理俊次・富成忠夫（編）．1989．日本の野生植物　木本Ⅱ．305 pp., 平凡社．
上野雄規（編）．1991．北本州産高等植物チェックリスト．365 pp., 東北植物研究会．
和田尚幸・江原　　洋．1992．花園山の主な植物．茨城の生物第3集　平成4年版．pp．159-164．茨城県高等学校教育研究会生物部．

調査研究

鈴木昌友（茨城大学名誉教授　理学博士）
滑川敏行（北茨城市立関本第一小学校校長）
安　昌美（元茨城県高等学校教育研究会生物部長）
岩波順子（大洗町立大洗南中学校）

執　筆

安　昌美

神峰山，高鈴，真弓山周辺地域の維管束植物

はじめに

本地域は，茨城県の北東部に位置し，多賀山地とも呼ばれ，阿武隈高地の南端に当たり，東は太平洋に面している．

神峰山は標高 598 m で，山頂には日立市天気相談所の観測所等が置かれ，近くのスギ林の中に神峰神社が祭られている．高鈴山とともに高鈴県立自然公園に属している．尾根は東西に延び，東は羽黒山（491 m）を経て鞍掛山（248 m），神峰公園方面と小木津山自然公園方面へとつながっている．一方西は，新本山トンネルの上を通って南に曲がりながら御岩山，高鈴山へと続いている．尾根には，オオバヤシャブシ，オオシマザクラ，アセビ，ヒサカキなどが多い．また，谷筋にはスギ林が目につく．

高鈴山は標高 623.6 m で山頂に電波中継塔等が置かれている．この山は神峰山とともにハイキングコースが開かれ，いくつかの登山道が整備されている．尾根筋は，御岩山（492 m）付近に岩場が見られる他はなだらかな尾根道のハイキングコースが南に延びている．途中ゴルフ場を経て，およそ 4 時間で真弓山に至る．御岩山の麓には御岩神社が祭られ，スギを中心とした林が神社林として保護されている．

高鈴山の尾根は，神峰山と同じように，オオバヤシャブシ，オオシマザクラ，アセビなどが見られる．特に，アセビ林がトンネル状になっている様子は見事である．御岩山付近は，春先に，イワウチワの群落やトウゴクミツバツツジなどの花が見られる．

また，尾根筋にはアカマツ林が多いが，マツノザイセンチュウの影響で立ち枯れをしたものが目立っている．斜面の所々にはヒノキが植林されている．谷筋の湿った所にはスギが植林されている．

なお，東側の助川町から諏訪町，大久保町そして真弓山にかけて，石灰岩が分布しており，各地で採掘されている．この地域は，イワツクバネウツギ，クモノスシダなど石灰岩地帯に特有の植物が分布しており，植物相をより豊かなものにしている．

陣ケ峯（標高 280 m）の頂上付近には真弓神社が祭られている．神社の周りは，神社林として保護され，スギ，モミの大木の他にスダジイ，アカガシ，ウラジロガシなどの照葉樹林が見られる．神社林以外の所は，石灰岩を採掘しており，立ち入り禁止地域になっている．なお，高鈴山から真弓山を経由して，風神山に至るハイキングコースが延びている．

この神峰山，高鈴山，真弓山の植物相は，1900 年以来多くの人によって調査されてきた．最近では，茨城県植物誌刊行会により「茨城県植物誌」（1981），日立市より「日立の植物」（1988）が出版され，細かに報告されている．

調査方法

1.　調査地の選定

調査地は図 1 に示した範囲とした．行政区割りとしては，日立市の大部分と常陸太田市の一部に当たる．

2.　調査期間

（1）平成 12（2000）年度

平成 12 年度は予備調査と文献調査を行った．予備調査は 7 月～ 11 月に延べ 9 回行った．

6 月　4日　高鈴山
19 日　日立市石名坂町
7 月20日　真弓山
8 月12日　神峰山
19日　真弓山
9 月　9日　真弓山
10 月15日　高鈴山
11 月　4日　日立市成沢町
11日　真弓山～日立高鈴ゴルフ場

（2）平成 13（2001）年度

平成 13 年度は 3 月～ 10 月に延べ 15 回行った．

3 月31日　真弓山，日立市諏訪町山域
4 月13日　日立市助川町～高鈴山
4 月28日　神峰山～高鈴山西側
5 月13日　真弓山～日立高鈴ゴルフ場
6 月　3日　高鈴山西側
23日　真弓山～日立高鈴ゴルフ場
7 月14日　神峰山～羽黒山方面
22日　高鈴山～高鈴山北山林道
8 月11日　真弓山
29日　日立高鈴ゴルフ場～高鈴山
9 月　8日　神峰山～羽黒山方面
22日　真弓山～常陸太田市高貫町
10 月　6日　高鈴山西側，日立市中深荻町
11 月　7 日　日立市金沢町
17日　日立市金沢町

（3）平成 14（2002）年度

平成 14 年度は 3 月～ 11 月までに延べ 22 回行った．

3 月30日　高鈴山西側，常陸太田市長谷町
4 月13日　常陸太田市長谷町
　27日　日立市諏訪町
5 月 6日　常陸太田市高貫町
　11日　日立市助川町，日立市塙山町～真弓山
　30日　日立市平沢
6 月 1日　真弓山～風神山，日立市塙山町
　15日　神峰山，日立市大久保町
　26日　日立市森山町，風神山
　29日　日立市助川町，諏訪町
7 月13日　真弓山
　20日　日立高鈴ゴルフ場～常陸太田市高貫町
8 月10日　高鈴山～高鈴山北山林道
　24日　日立市高鈴町・助川町・諏訪町・塙山町
9 月12日　日立市森山町，風神山
　22日　日立市諏訪町・大久保町
10 月 5日　日立市高鈴町，日立市塙山町～真弓山
　12日　日立市諏訪町
　27日　常陸太田市長谷町
11 月 3日　日立市助川町・諏訪町
　24日　真弓山

3. 調査項目

維管束植物（シダ植物，種子植物）を対象として，植物相と植生の調査を行った．調査項目は次のとおりである．

（1）調査地に生育する全植物の確認と記録
（2）調査地の植生の概要
（3）生育する植物の採集と標本の作成（原則として花･実がついている個体を採集，1 種の植物につき 2 ～ 4 点作成）．

採集・確認目録は付表 1 に示した．なお，付表 1 に示した種数は次のとおりである．

・確認種　　910 種

（4）写真の撮影(採集した主な植物とその生育状況がわかる写真を撮影)

結　果

1. 植生の概況

（1）アカマツ林

神峰，高鈴山の主尾根や東側支尾根などに見られる．ただ，松枯れの被害がひどく，だいぶ少なくなってきている．

神峰山の尾根筋のアカマツ林の構成種は高木層にアカマツ，オオシマザクラ，ヒノキ．亜高木層にはオオバヤシャブシ，ホオノキ，ノリウツギなど．低木層はヤマウルシ，ミズキ，ニシキウツギ，アオキ，ウワミズザクラ，イボタノキ，アズマネザサ，ツリバナ，ムラサキシキブ，ガマズミ，ヒサカキ，コナラ，タラノキなどにエビヅル，ミツバアケビがからみついている．草本層にはヤマイヌワラビ，ヘビノネゴザ，シシガシラ，ゼンマイ，ナルコユリ，イタドリ，モミジイチゴ，オオバコ，トボシガラ，コチヂミザサ，ミズヒキ，ノイバラ，ツタウルシ，キンミズヒキ，ツルリンドウ，サルトリイバラ，クマイチゴ，オカトラノオ，ヤマユリ，ハナニガナ，ヤマノイモ，ウド，タチシオデ，オニドコロ，トリアシショウマ，エナシヒゴクサ，クサイチゴ，ゲンノショウコなどが見られる．

高鈴山山頂付近の尾根では，高木層にアカマツ，コナラ．亜高木層にホオノキ，コシアブラなど．低木層にリョウブ，アセビ，ヤマツツジ，ケアオダモ，モミジイチゴ，ニワトコ，ガマズミ，ウワミズザクラ，ヒサカキ，ミツバアケビなど．草本層にハリガネワラビ，ヘビノネゴザ，ゼンマイ，コチヂミザサ，ヤマジノホトトギス，オオバギボウシ（トウギボウシ），ヒカゲスゲ，キンミズヒキ，ヒメヤブラン，オカトラノオ，サルトリイバラ，フモトスミレ，ナルコユリ，コヤブタバコなどが見られる．

（2）スギ林

スギ林はこの地域で最大の面積を占めている．湿りのある沢沿いに植林されたものが多い．

日立市助川町のスギ林は，高木層のスギは胸高直径約 60 cm ある．亜高木層はなく，低木層はヒサカキ，タマアジサイ，アオキ，イヌガヤ，ウラジロガシ，ムラサキシキブ，アカメガシワ，エゴノキ，ケヤキ，サンショウ，ヤブツバキなど．草本層にクラマゴケ，リョウメンシダ，ベニシダ，ジュウモンジシダ，ミゾシダ，オオバノハチジョウシダ，ヘビノネゴザ，オオバノイノモトソウ，ヤマイヌワラビ，イワガネゼンマイ，オオバノイノモトソウなどのシダ植物の他，イノコズチ，ホウチャクソウ，ウワバミソウ，ダイコンソウ，カンスゲ，キバナアキギリ，マツカゼソウ，コチヂミザサ，ドクダミ，サルナシ，ミズタマソウ，ナガバヤブマオ，コアカソ，オオヤマフスマ，シュウブンソウ，ウラシマソウ，ミヤマフユイチゴ，サイハイランなどが見られる．

真弓山南側のスギ林は，高木層のスギは胸高直径約

30 cm ある．低木層はアオキ，サンショウ，タラノキ，シラカシ，ヤマウルシ，ニワトコ，マグワ，ヤブムラサキ，シロダモ，クリ，エゴノキ，カラスザンショウ，ハナイカダ，フジなど．草本層はベニシダが多く，他にミゾシダ，ヤブソテツ，イワガネゼンマイ，オオバノイノモトソウ，ミドリヒメワラビ，リョウメンシダ，オクマワラビ，ホソバシケシダ，ハリガネワラビなどのシダ植物，そしてクサイチゴ，ツタウルシ，ツルギキョウ，ドクダミ，アマチャヅル，ヤマウルシ，オニドコロ，ヤマノイモ，ホウチャクソウ，タチシオデ，ミズヒキ，メヤブマオ，ナガバヤブマオ，サルナシ，クサギ，ハエドクソウ，ミズタマソウ，シュウブンソウなどが見られる．

常陸太田市長谷町のスギ林は，高木層のスギが胸高直径約 40 cm ある．低木層にアオキ，ニガキ，サンショウ，クサギ，タマアジサイ，ツタウルシ，ムラサキシキブ，シロダモ，エゴノキ，ヒサカキなど．草本層はサカゲイノデ，ジュウモンジシダ，ベニシダ，ミゾシダ，ゼンマイ，ヤワラシダなどのシダ植物の他にウワバミソウ，ヤブミョウガ，カラムシ，ミズヒキ，ドクダミ，ミヤマフユイチゴ，ミヤマカンスゲ，テイカカズラ，イノコズチ，モミジイチゴ，マツカゼソウ，シキミ，ヤブコウジ，シュウブンソウ，タブノキ，ヤマノイモ，ヤマカシュウなどが見られる．

（3）モミ林

真弓山付近の乾いた尾根筋にスギなどと混生して見られる．

真弓山神社近くには，高木層にモミ，スギ，ヤマザクラ，コナラ，イヌシデ，スダジイ．低木層にヒサカキ，サカキ，ムラサキシキブ，アカガシ，リョウブ，コバノガマズミ，ネジキ，ウリカエデ，コゴメウツギ，カヤ，アセビ，アオキ，ウワバミソウ，ウラジロノキ，コアジサイ，ツリバナ，ヤブツバキ，ホオノキ，ヤマウルシ，コマユミ，フジなど．草本層にゼンマイ，チゴユリ，ヤブコウジ，テイカカズラ，コチヂミザサ，サルトリイバラ，ツタウルシ，ヒメヤブラン，オオバノトンボソウ（ノヤマトンボ），サンカクヅル，ミツバアケビ，コウヤボウキ，ナガバノコウヤボウキ，ミヤマカンスゲなどが見られる．

常陸太田市高貫町の斜面に見られるモミ林では，高木層にモミ，ヤマザクラ，スギ，コナラ，アカマツ．亜高木層にミズキ，ホオノキ，カラスザンショウ，タブノキ，アカメガシワなど．低木層にイヌガヤ，イワガラミ，アオキ，ヤマウルシ，ムラサキシキブ，コゴメウツギ，ウワミズザクラ，ヒサカキ，キブシ，コシアブラ，ヒメコウゾ，シロダモ，コマユミ，コアジサイ，イロハモミジ，モミジイチゴ，ミヤマシキミ，イヌツゲなど．草本層にハリガネワラビ，ベニシダ，イヌガンソク，ゼンマイ，ヤワラシダ，シュウブンソウ，ミツバツチグリ，コチヂミザサ，ダイコンソウ，キンミズヒキ，キジムシロ，ウラシマソウ，ヤブコウジ，ウド，クサイチゴ，イワガラミ，オカトラノオ，フキ，オオバギボウシ（トウギボウシ），ヘクソカズラ（ヤイトバナ），ケムラサキニガナ，ヤブタバコ，アカネ，ウマノミツバなどが見られる．

（4）コナラ林

この地域に広く見られる．

高鈴山山頂北側斜面では，高木層にコナラ．低木層に，リョウブ，アセビ，ヤマツツジ，フジ，イヌシデ，マツブサ，コアジサイ，イロハモミジ，アオキ，クロモジ，ウリハダカエデ，ガマズミ．草本層にはミヤコザサが広がり，その中にゼンマイ，ヘビノネゴザ，ハリガネワラビ，チゴユリ，ヘクソカズラ(ヤイトバナ)，コチヂミザサなどが見られる．

日立市諏訪町の尾根筋では，高木層にコナラの他にヌルデ，ヤマザクラ，アカメガシワ，オオバヤシャブシ．低木層はヒサカキ，ミズキ，ヤマツツジ，ムラサキシキブ，アオキ，フジ，キブシ，ニガイチゴ，コアジサイ，ヒノキ，リョウブ，ガマズミ，イヌザンショウ，モミジイチゴ，アセビ，ウワミズザクラ，ウリカエデ，ヤマウルシ，クロモジ，ニシキウツギ．草本層にベニシダ，ハリガネワラビ，ヘビノネゴザ，オカトラノオ，キンミズヒキ，マムシグサ，クサイチゴ，ツルニンジン，ウマノミツバ，タカトウダイ，サルナシ，ヘクソカズラ（ヤイトバナ），モミジガサ，オオバギボウシ（トウギボウシ），ヤマユリ，オオナルコユリ，コチヂミザサ，ミヤマシキミ，サルトリイバラ，ツタウルシ，フジ，ツヅラフジ，ミツバアケビ，オニドコロ，ツボスミレ，ヤマノイモ，イノコズチ，タガネソウなどが見られる．

（5）オオバヤシャブシ林

神峰山や高鈴山には，日立鉱山の煙害の関係でオオバヤシャブシなどが植林された．それが今では大きく生長している．

高鈴山の尾根では，高木層にオオバヤシャブシ，オオシマザクラ．亜高木層ではヤマウルシ，ニシキウツギ，リョウブ，ノリウツギなど．低木層にニワトコ，

ミツバアケビ，ウツギ，サルナシ，ミズキ，アオキ，モミジイチゴ，ヤブツバキ，ホオノキ，アセビなど．草本層は，イタドリが繁茂し，その中にホソバナライシダ，ヘビノネゴザ，ベニシダ，ホソバシケシダ，コチヂミザサ，ハナタデ，ユウガギク，オトギリソウ，シロツメクサ，クサイチゴ，クサイ，メヒシバ，ヒゴクサ，オオバコなどが見られる．

（6）シイ・カシ林

真弓神社付近に，スギに混じってシイやカシの照葉樹林が見られる．

高木層にウラジロガシ，スダジイ，スギ，カゴノキ，イタヤカエデ，ケヤキ．亜高木層にカラスザンショウ，イロハモミジなど．低木層にウリノキ，シロダモ，アオキ，ヤマブキ，モミジイチゴ，キジョラン，タブノキ，コクサギ，など．草本層にオオバノイノモトソウ，ヤブソテツ，クマワラビ，リョウメンシダ，クモノスシダ，ヒメカナワラビ，シャガ，ウマノミツバ，ヤブコウジ，ノブキ，コチヂミザサ，コアカソ，キッコウハグマ，ジャノヒゲ，オオバジャノヒゲ，マムシグサ，ナキリスゲ，ヘクソカズラ（ヤイトバナ），ミツバアケビ，テイカカズラ，イタビカズラ，ケムラサキニガナ，ホウチャクソウ，サンショウ，オオバチドメ，クサイチゴ，ドクダミ，ヌスビトハギ，ミツバ，オオバコ，ナガバヤブマオ，ミズヒキ，ゲンノショウコ，ツリフネソウ，ミョウガなどが見られる．

（7）草原

この地域の火防線や送電線下などに，小さな草原が見られる．

高鈴山山頂近くの草原には，草本層にヘビノネゴザ，ススキ，ツリガネニンジン，ヤマユリ，タカトウダイ，オオバギボウシ（トウギボウシ），ヘクソカズラ（ヤイトバナ），アオツヅラフジ，ワレモコウ，オオキツネヤナギ，ヒメヤブラン，メドハギ，オトギリソウ，ミヤコザサ，アキノキリンソウ，オニドコロ，コマツナギ，アリノトウグサ，ハナニガナ，クサイ，ノブドウ，ウド，ダイコンソウ，オカトラノオ，ヨモギ，カタバミ，ネジバナ，リンドウなどが見られる．

2. 注目すべき植物

（1）カタヒバ　イワヒバ科

本州（宮城県以南）～沖縄に分布．山地の岩上や樹幹に生育する常緑シダ．地上茎は 3 ～ 4 回羽状に分岐し，長さ 10 ～ 25 cm．県内山地にやや稀に生育している．今回の調査では，玉簾の滝から高鈴山に向かう道路沿いの沢の岩場に生育しているのを確認した．県レベルでは，希少種に指定されている．

（2）キジノオシダ，オオキジノオ　キジノオシダ科

キジノオシダは本州（福島県以南）～奄美大島に分布．オオキジノオは福島県以南，北陸地方（新潟県）～奄美大島に分布．オオキジノオの方がやや寒い所まで分布する．栄養葉の下部羽片がキジノオシダでは無柄であるが，オオキジノでは有柄であるので区別できる．両種とも県内産地は稀である．今回の調査では，キジノオシダは，真弓山のスギ林下の斜面数カ所に生育しているのを確認した．オオキジノオは，頂上付近のスギ林下 1 カ所のみで生育個体数は 3 株であった．

（3）コシダ　ウラジロ科

本州（宮城県以南）～沖縄に分布．山地の日当たりのよい乾燥した斜面に生育する．葉は 2 ～ 3 回分岐し，裏面白色になる．暖地性のシダで，県内各地の分布はやや稀である．今回の調査では，常陸太田市高貫町の道路わきの乾燥した南向きの斜面に生育しているのを確認した．

図 1．コシダ．

（4）タチシノブ　ホウライシダ科

本州（福島県以南）～琉球・小笠原に分布．向陽の山地林下に生育する．葉身は 3 ～ 4 回羽状深裂し，裂片は細長く，鋭尖頭．県南にはやや普通に生育するが，県北にはやや稀に分布する．今回の調査では，真弓山の表参道沿いの落葉樹林下の斜面に生育しているのを確認した．

（5）オオバノハチジョウシダ　イノモトソウ科

本州（東北地方南部）～九州に分布．陰湿な山地林下に生じる．葉柄と葉身は同長で，1 ～ 2 m になる大

型のシダ植物である．県内には，北茨城市，真弓山，日立市，愛宕山に稀に分布する．今回の調査では，真弓山と日立市助川町平沢で生育を確認した．どちらの産地でも沢沿いのスギ林下，日当たりの悪い所に生育していた．生育個体数は，どちらの産地でも多い．県レベルでは，危急種に指定されている．

（6）オニカナワラビ　オシダ科

本州（新潟県・関東地方以西）～九州に分布．山林下の崖や林床に生ずる．ハカタシダに似るが，頂羽片と言うべきまとまりが出来ない，羽片の表面に羽軸に沿って白い筋が出ることがない等の特徴で区別できる．北茨城市小豆畑が北限地で，県内では稀である．今回の調査では，真弓山，常陸太田市長谷町，日立市大久保町の風穴，日立市諏訪町の梅林で生育を確認した．生育個体数もやや多い．県レベルでは，希少種に指定されている．

（7）イノデモドキ　オシダ科

本州（山形県・関東地方以西）～九州に分布．山地の林床に生じる．葉質が柔らかく表面が淡緑色，胞子嚢群が小羽片の辺縁よりにつき，葉柄基部の鱗片に黒みを帯びるものが混じる．県内では，県北山地や筑波山，千代田町，御前山に生育記録がある．今回の調査では，真弓山，日立市助川町の平沢，常陸太田市長谷町，高貫町で生育を確認した．県レベルでは，希少種に指定されている．

（8）ヒメカナワラビ　オシダ科

本州(福島県南部と関東地方以西)～九州に分布．林下の斜面や岩上に生育する．小型常緑のシダで，葉柄と葉身はほぼ等長，葉質硬く，葉柄の鱗片は黒色．県内では，県北部の山麓部斜面に稀に見られる．今回の調査では，真弓山の頂上及び西側斜面，日立市諏訪町の水穴近くの岩場，日立市大久保町の風穴の岩場に生育しているのを確認した．県レベルでは，希少種に指定されている．

（9）オニヒカゲワラビ　メシダ科

本州～九州に分布．山地のやや陰湿な林下に生じる．やや大型のシダ．葉身は広卵状三角形で 2 回羽状複生～ 3 回羽状深裂する．県内では，北茨城市，真弓山に産地が知られている．今回の調査では，真弓山の参道添いの陰湿なスギ林下に数個体生育しているのを確認した．最近，生育地近くのスギ林が伐採されてしまい，生育が危ぶまれる状態になっている．県レベルでは，危急種に指定されている．

(10) ビロードシダ　ウラボシ科

北海道～沖縄に広く分布．山中木陰の岩上や樹幹に着生する．葉身は，線形で先端は円形，全面に黄褐色から灰褐色の星状毛が密につく．県内では，県北山地に産地が知られているが，各産地とも個体数は多くないものと思われる．今回の調査では，日立市大久保町の風穴上部の岩場に着生している個体を確認した．

(11) コバノイシカグマ　コバノイシカグマ科

本州（福島県以南）～九州に分布．イヌシダを大型にし，葉の幅を広くした感じのするシダである．県内では，鉾田町，鶏足山に生育記録がある．今回の調査では，入四間から高鈴山に向かう登山道から左に折れる林道沿いの 1 カ所に，数個体生育しているのを確認した．県レベルでは，希少種に指定されている．

(12) クモノスシダ　チャセンシダ科

北海道～九州に分布．石灰岩上に生じることが多い．クモノスシダの名は，葉の出方がクモの巣状になることによる．県内各地にやや稀に生育している．今回の調査では，真弓山の頂上付近の岩場，日立市大久保町の風穴上部の岩場，日立市諏訪町の沢沿いの岩場に生育しているのを確認した．いずれの産地でも，石灰岩に着生して生育していた．県レベルでは，希少種に指定されている．

(13) コバノヒノキシダ　チャセンシダ科

本州（東北地方南部以西）～九州に分布．向陽の山野や，路傍の岩上や石垣上に生育する．常緑性，根茎は短く，葉を叢生する．葉身は，2 ～ 3 回羽状複生，葉に切れ込みが多く入る．県内では，県北山地を中心にやや稀に生育している．今回の調査では，日立市諏訪町の水穴の岩場に着生しているのを確認した．

(14) ナガバヤブマオ　イラクサ科

本州（山形県・宮城県以南）～琉球に分布．山野に生える多年草．葉が細長くなるので，カラムシ属の他種と容易に区別できる．県内では，県北地区にやや稀に生育している．今回の調査では，真弓山，高鈴山，日立市諏訪町などで生育を確認した．どの産地でも，生育個体数は多い．

（15）ヤマトキホコリ　イラクサ科

北海道～九州に分布．山地の湿地に生える．ウワバミソウに似るが，葉が黄色みを帯び，鋸歯が低く，葉の先が尾状にならず，花期が遅いので区別がつく．県内では，土岳花貫渓谷，竪割山，大子町，吾国山に産地が知られている．今回の調査では，高鈴山から玉簾の滝に向かう林道沿いの沢と，常陸太田市長谷町の沢に生育しているのを確認した．

（16）ミヤマイラクサ　イラクサ科

今回の調査では，真弓山，日立市諏訪町での生育を確認した．真弓山には多くの個体が生育していた．

図 2．ミヤマイラクサ．

（17）カゴノキ　クスノキ科

本州（福島県以南，福井県以西）～九州に分布．常緑高木で，幹の樹皮が鹿の子まだらにはげ落ちることからこの名がある．県内では分布が稀．北茨城市関南が北限地である．今回の調査では，真弓山の頂上付近に 2 個体，常陸太田市亀作町の明世神社に 2 個体，日立市大久保町の風穴に 3 個体生育しているのを確認した．いずれの個体も大木である．実生個体を見ることは出来なかった．県レベルでは，希少種に指定されている．

（18）ヤブニッケイ　クスノキ科

本州（福島・関東・北陸地方以西）～九州・琉球に分布．常緑高木で植物体には芳香がある．葉は，卵状楕円形で長さ 6 ～ 12 cm 幅 2 ～ 5 cm，革質で表面緑色光沢があり，裏面は黄緑色または灰白色，3 行脈がある．県内には，稀に分布している．今回の調査では，常陸太田市長谷町に生育しているのを確認した．

（19）ムベ　アケビ科

本州（福島県以南）～九州・琉球に分布．常緑樹林の林縁に生じる木本の常緑性つる植物．葉は，裳状複葉で小葉は 5 ～ 7 枚，革質で光沢があり，裏面は淡緑色で細い網状脈が目立つ．県内では，県南地方にはやや普通に分布するが，県北地方にはやや稀である．北茨城市は分布の北限地に近い．今回の調査では，真弓山の頂上付近の参道沿いに生育しているのを確認した．

（20）ツヅラフジ　ツヅラフジ科

本州（宮城県以南）～九州・琉球に分布．大型のつる植物．葉は，卵円形～円形で 5 または 7 角があり，基部は心形か円形になる．県内では，やや稀に分布する．今回の調査では，真弓山，日立市諏訪町の梅林で生育を確認した．真弓山では，スギ林下数カ所でやや多くの個体を見ることが出来た．

（21）ヒツジグサ　スイレン科

北海道～九州に分布．低地の古い池や沼に見られる．浮葉は，楕円形から卵形で，基部は矢じり型に深く切れ込み，裏面は赤紫色を帯びる．花期は 6 ～ 9 月．花は，直径約 5 cm で花弁は白色．今回の調査では，常陸太田市高貫町の落葉樹林内の池に生育しているのを確認した．池全体に生育しており，生育個体数は多い．県レベルでは，希少種に指定されている．

（22）サカキ　ツバキ科

本州（福島県以南）～九州に分布．福島県いわき市が北限地である．照葉樹林内に生育する常緑の小高木，または低木．葉は，厚く革質で表面深緑色．葉の外観はややモチノキに似る．県内には，やや稀に分布する．今回の調査では，真弓山の頂上付近のスギ林・雑木林下，常陸太田市長谷町の雑木林下に生育しているのを確認した．

（23）リンボク　バラ科

本州（福島県以南）～九州・沖縄に分布．山地の湿り気の多い所に生える常緑小高木．葉は光沢があり，シラカシに似る．県内では稀で，県北山地及び筑波山に分布が知られている．福島県いわき市が分布の北限地である．今回の調査では，真弓山の頂上付近の 2 カ所に生育しているのを確認した．県レベルでは，希少種に指定されている．

(24) モメンヅル　マメ科

北海道・本州に分布．山地の草地に生える多年草．外観はゲンゲに似るが，花が黄色なので区別される．県内には，日立市に生育記録がある．今回の調査では，日立市助川町の日立道路の高架橋下の草地に生育しているのを確認した．

(25) イヌハギ　マメ科

本州～九州・琉球に分布．河原や海浜の日当たりのよい砂地に生える高さ 1.5 m の落葉高木．茎葉に軟毛を密生する．県内では，県中部以南の海岸や県北・県西の砂地，原野に稀に生育が知られている．今回の調査では，日立市高鈴町の石灰岩の石切場跡地の草原に生育しているのを確認した．県レベルでは，危急種に指定されている．

(26) マツバニンジン　アマ科

北海道～九州に分布．日当たりのよい草地に生える高さ 40 ～ 60 cm の 1 年草．葉は，長さ 2 ～ 2.5 cm，線形で全縁．8 ～ 9 月に淡紫色の 5 弁花を咲かせる．県内には分布が稀で，高鈴山と関城町に知られている．今回の調査では，日立市高鈴町の石灰岩の石切場跡地に生育しているのを確認した．県レベルでは，危急種に指定されている．

(27) ナツトウダイ　トウダイグサ科

北海道～九州に分布．丘陵地または山地に生える多年草．春先に開花する．花期の杯状花序には著しい三日月型の腺体が広がる．県内には，やや稀に分布する．今回の調査では，日立市助川町の石灰岩石切場跡地に生育しているのを確認した．

(28) フユザンショウ　ミカン科

本州（東北地方南部）～九州･琉球に分布．高さ 1.5 ～ 3 m の常緑低木．刺は普通対生．葉は，33 ～ 7 枚の小葉からなり，長さ 5 ～ 15 cm．葉軸には翼がある．県内には，やや稀に分布する．今回の調査では，日立市諏訪町の 2 カ所と常陸太田市長谷町で生育を確認した．

(29) クロガネモチ　モチノキ科

本州（関東地方･福井県以西）～九州･琉球に分布．高さ 5 ～ 10 m の常緑高木．葉身は，革質，楕円形で両端は尖り，長さ 6 ～ 10 cm，幅 2.5 ～ 4 cm，鋸歯はなく両面無毛．枝や葉が黒みがかっているのでこの名がある．

図 3．フユザンショウ．

県内には稀で，真弓山が北限地であることが知られている．今回の調査では，真弓山に若い個体が数個体生育しているのを確認した．

(30) ヤマブドウ　ブドウ科

北海道～四国の山地に生育．落葉性の大きなつる性木本．葉は，大型になり円心形で角があるか 3 ～ 5 浅裂し，裏面には赤褐色の綿くず様のクモ毛がある．県北山地にやや稀に分布する．今回の調査では，入四間から高鈴山に向かう登山道沿いの落葉樹林下に生育しているのを確認した．

(31) コガンピ　ジンチョウゲ科

本州（茨城県，群馬県，福井県以西）～九州・奄美大島に分布．日当たりのよい山野の草地に生育する落葉小低木．茎は，細長く束生し，長楕円形の葉を密生する．高鈴山を分布の北限にしている．今回の調査では，真弓山の表参道沿い，風神山に生育しているのを確認した．県レベルでは，危急種に指定されている．

(32) コミヤマスミレ　スミレ科

本州（関東地方以西）～九州に分布．山地の林下に生える地味なスミレである．県内では，県北山地と加波山にやや稀に生育している．今回の調査では，高鈴山北側の登山道沿いに生育しているのを確認した．

(33) オオバチドメ　セリ科

本州（関東地方以西），九州に分布．山地林下の湿った所に生える多年草．チドメグサ属の他種に比べて，葉が大型なので容易に区別される．北茨城市西明寺は，分布の北限になっている．今回の調査では，真弓山の参道沿いに数カ所に生育しているのを確認した．個体数は少なくない．県レベルでは，希少種に指定さ

れている．

（34）イワウチワ　イワウメ科

本州（東北地方～中国地方東部）に分布．岩場の林床に生育する常緑の多年草．県内では，県中央部から北部山地にかけての，湿気のある急斜面に生育している．森林の伐採による光や水分条件の変化や，園芸目的での採取等により個体数が大幅に減少している．今回の調査では，高鈴山の御岩神社から御岩山への登山道沿いの岩場と御岩山の頂上付近の斜面に生育しているのを確認した．御岩山頂上付近には，やや多くの個体が生育している．県レベルでは，危急種に指定されている．

図 4．イワウチワ．

（35）トウゴクミツバツツジ　ツツジ科

本州（山形県東部，宮城県以南～近畿地方）の太平洋側に分布．山地に生える落葉低木で，葉は枝先に 3 枚が輪生する．花期は 4 ～ 5 月で，花は紅紫色．県内では，北部山地から筑波山までの標高の高い所に点在して分布する．今回の調査では，高鈴山北側の御岩山頂付近に生育しているのを確認した．

（36）キジョラン　ガガイモ科

本州（東北地方南部以南）～九州・琉球に分布．常緑広葉樹林下に生える大形つる植物．大形で円形の葉が茎に対生する．常緑の社寺林に生育することが多い．福島県いわき市が北限地である．今回の調査では，真弓山の頂上付近のスギ林下に生育しているのを確認した．生育個体数は多い．県レベルでは，希少種に指定されている．

（37）ムラサキ　ムラサキ科

北海道～九州に分布．丘陵のやや乾燥した草地などに生える稀な多年草．根に含まれる色素は乾くと濃紫色になり染料に用いられるのでこの名がある．県内では，県北部の草地に 1 カ所知られている．今回の調査では，日立市高鈴町の丘陵地に 2 個体生育しているのを確認した．県レベルでは，絶滅危惧種に指定されている．全国レベルでも，危急種に指定されている．

図 5．ムラサキ．

（38）キセワタ　シソ科

北海道～九州に分布．山の丘陵や草地に生育する．花は 8 ～ 9 月．紅紫色で唇形の花が，葉腋上部に数個ずつつく．県内では，県北山地を中心にやや稀に分布する．今回の調査では，日立市高鈴町の草地に生育しているのを確認した．県レベルでは，危急種に指定されている．

（39）ヤマウツボ　ハマウツボ科

本州（関東地方以西）～九州に分布．やや湿気のある落葉樹林下に生育する．落葉樹の根に寄生する葉緑を欠く寄生植物．県内では，花園山，大北渓谷，真弓山，西金砂山に分布が知られている．今回の調査では，真弓山西側斜面の落葉樹林下に生育しているのを確認した．

（40）イワツクバネウツギ　スイカズラ科

本州～九州に分布．石灰岩地や蛇紋岩地に生える落葉低木で，高さ 2 m 以下．がく片の数や形の特徴で，似た種のツクバネウツギ，オオツクバネウツギと区別される．県内では，県北の石灰岩地に 2 カ所分布が知られており，そこが分布の北限地になっている．今回の調査では，真弓山神社西側落葉樹林下の急斜面に生育しているのを確認した．県レベルでは，危急種に指定されている．

（41）ナベナ　マツムシソウ科

本州～九州に分布．日当たりのよい草地に生える，

高さ 1 m 以上にもなる大型の 2 年草．葉は対生，花期は 8 ～ 10 月．頭状花序は，球形または楕円形．県内では，八溝山，日立市，真弓山に分布が知られている．今回の調査では，真弓山，日立市大久保町の風穴，日立市助川町の数沢川で生育を確認した．いずれの産地も，沢沿いの日当たりのよい草地であった．県レベルでは，希少種に指定されている．

(42) ツルギキョウ　キキョウ科

本州（関東地方以西）～九州に分布．山地の適湿な林床に稀に生えるつる植物．葉は互生または対生し卵心形，薄くて粉白色を帯びる．花期は，8 ～ 10 月．花は小型なので，ツルニンジンと容易に区別できる．県内では，真弓山，仏頂山，愛宕山に分布が知られている．今回の調査では，真弓山の数カ所で生育を確認した．生育個体数はやや多い．県レベルでは，希少種に指定されている．

(43) キキョウ　キキョウ科

北海道～九州に分布．山地の草地に生える太い根茎のある多年草．花期は 7 ～ 8 月．花冠は広鐘形で青紫色．秋の七草に一つに数えられ，かつては県内各地の草地に普通に見られたが，現在では産地が激減している．今回の調査では，日立市助川町のアカマツ林下に 1 個体生育しているのを確認した．県レベルでは，危急種に指定されている．

(44) クソニンジン　キク科

本州，四国に分布．古く中国から帰化したもので，道ばたや荒れ地に生える 1 年草．葉は，3 回羽状に細かく全裂．花は 8 ～ 10 月，大型の円錐花序に小さな頭花を多数つける．県内では，土浦市，友部町，加波山に産地が知られている．今回の調査では，日立市高貫町の林道わきに生育しているのを確認した．県レベルでは，希少種に指定されている．

(45) カワラヨモギ　キク科

本州～琉球に分布．海岸や川岸の砂地に生える．花をつけない茎は短くて，先に葉を叢生させロゼット状になる．この葉の両面には密に灰白色の絹毛があるので白色に見える．県内各地の海岸や川岸に生育するが，生育個体数はそれほど多くないものと思われる．今回の調査では，日立市助川町の金山林道沿いの石灰岩の崖に生育しているのを確認した．

(46) イワヨモギ　キク科

北海道に分布．山中や海岸の岩場に生える半低木．似た種がないので，ヨモギ属の他種と容易に区別できる．今回の調査では，日立市助川町の金山林道沿いの 2 カ所，諏訪町の水穴近く林道，真弓山の東側林道に生育しているのを確認した．いずれの産地でも，林道沿いの切り崩された崖に生育していた．真弓山では，林道に沿って多くの個体を見ることが出来た．昔から生育していたものなのか，人工的に持ち込まれたものなのかを今後調べていく必要がある．

(47) オオガンクビソウ　キク科

北海道～本州中部以北に分布．温帯林下の湿った所に生える多年草．ガンクビソウ属の他種に比べて，葉や頭花が大きくなるので容易に区別される．県内では，県北山地に稀に分布している．今回の調査では，真弓山の西側沢沿いの草地に生育しているのを確認した．

(48) オタカラコウ　キク科

本州（福島県以南）～九州に分布．深山の谷川のほとりに多い大型の多年草．根出葉は大きく腎心形，花期は 7 ～ 10 月．大型の頭状花が，花茎に穂状につく．県内では，県北山地にやや普通に見られる．今回の調査では，日立市諏訪町と高鈴山西側との 2 カ所で生育を確認した．いずれの産地でも，沢沿いの湿り気の多い所に生育していた．

(49) オヤリハグマ　キク科

今回の調査では，高鈴ゴルフ場から高鈴山に向かう登山道沿いに生育しているのを確認した．生育場所は，雑木林及びヒノキ林の林床であった．県レベルでは，希少種に指定されている．

(50) イワギボウシ　ユリ科

本州（関東・東海地方）に分布．山中の湿った樹上または岩上に生える．葉は厚く，卵形で長さ 10 ～ 13 cm，暗緑色で紫黒色の斑点がある．花は，8 ～ 9 月に開く．久慈山地には多くの産地が知られているが，県内では分布がやや稀である．今回の調査では，日立市諏訪町の 2 カ所で生育を確認した．どちらの産地でも，石灰岩の崖に着生して生育していた．

(51) キチジョウソウ　ユリ科

本州（関東地方以西）～九州に分布．葉の外観はヤ

ブランに似るが，横走する根茎があり，花期も 9 ～ 10 月と遅いので容易に区別できる．県内では，県南西地区を中心にやや稀に見られる．今回の調査では，日立市助川町の平沢中学校から平沢水源に向かう途中の斜面に生育しているのを確認した．

（52）ケスゲ　カヤツリグサ科

本州（関東地方以西）～九州に分布．林内に分布する．シロイトスゲに似るが，植物体全体に開出する軟毛があるので区別できる．久慈郡大子町が北限地である．県内では，久慈山地，雨巻山，筑波山，玉造町，日立市諏訪町に生育記録がある．今回の調査では，諏訪町の水穴上部の落葉樹林林床に生育しているのを確認した．

（53）クロムヨウラン　ラン科

本州（東北地方南部）～九州に分布．常緑広葉樹林下に生育する腐生殖物．林床に目立たなく生育しているので見過ごされがちである．県内には，ムヨウランとクロムヨウランの 2 種が知られているが，花期以外での区別は困難である．今回の調査では，日立市大久保町のアカマツ林下に生育しているのを確認した．県レベルでは，危急種に指定されている．

（54）カヤラン　ラン科

本州（岩手県以南）～九州に分布．樹幹上に着生する．和名は，葉がカヤの葉に似るところから来ている．県内各地にやや稀に分布しているが，いずれの産地でも個体数は多くないものと思われる．今回の調査では，日立市諏訪町のウメに着生しているのを確認した．

引用文献

茨城県環境保全課．1997．茨城における絶滅のおそれのある野生生物〈植物編〉．253 pp., 茨城県環境保全課．

環境を守る日立市民会議編．1988．日立の植物　シダ植物・種子植物・キノコ．295 pp., 日立市．

鈴木昌友・清水　修・安見珠子・安　昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸・野口達也．1981．茨城県植物誌．339 pp., 茨城県植物誌刊行会．

参考文献

岩槻邦男編．1992．日本の野生植物　シダ．311 pp., 平凡社．

北村四郎他・村田　源・堀　勝．1957．原色日本植物図鑑　草本編〔Ⅰ〕 合弁花類．297 pp., 保育社．

北村四郎・村田　源．1961．原色日本植物図鑑　草本編〔Ⅱ〕 離弁花類．390 pp., 保育社．

北村四郎・村田　源・小山鐵夫．1964．原色日本植物図鑑　草本編〔Ⅲ〕 単子葉類．464 pp., 保育社．

長田武正．1989．日本イネ科植物図鑑．759 pp., 平凡社．

佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫（編）．1981．日本の野生植物　草本Ⅲ．259 pp., 平凡社．

佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫（編）．1982．日本の野生植物　草本Ⅱ．318 pp., 平凡社．

佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫（編）．1982．日本の野生植物　草本Ⅰ．305 pp., 平凡社．

佐竹義輔・原　寛・亘理俊次・富成忠夫（編）．1989．日本の野生植物　木本Ⅰ．321 pp., 平凡社．

佐竹義輔・原　寛・亘理俊次・富成忠夫（編）．1989．日本の野生植物　木本Ⅱ．305 pp., 平凡社．

鈴木昌友．1959．茨城県のカシワバハグマ属植物．フロラ茨城，6: 1-3．

鈴木昌友．1963．茨城県産植物雑記（15）29）ツルギキョウ　30）イワツクバネウツギ．フロラ茨城，22: 2-3．

ミュージアムパーク茨城県自然博物館．2001．茨城県自然博物館第 2 次総合調査報告書．451 pp., 茨城県自然博物館．

安　昌美．1964．オオバノハチジョウシダの産地．フロラ茨城，25: 3-4．

安　昌美．1967．茨城県北のシダ植物雑記（2） 3）タチシノブ，フロラ茨城，38: 1-2．

吉川純幹．1957．日本スゲ属植物図譜　第壱巻．pp. 1-141．北陸の植物の会．

吉川純幹．1958．日本スゲ属植物図譜　第弐巻．pp. 142-281，北陸の植物の会．

吉川純幹．1960．日本スゲ属植物図譜　第参巻．pp. 282-421，北陸の植物の会．

調査研究

鈴木昌友（茨城大学名誉教授　理学博士）
成島　明（茨城県立土浦第三高等学校教諭）
丸山友一（水戸市立上大野小学校教頭）
安嶋　隆（茨城県立日立第二高等学校教諭）

植　　物

和田尚幸（茨城県立那珂湊第二高等学校教諭）
安　昌美（元茨城県高等学校教育研究会生物部長）

執　筆
成島　明
丸山友一

海岸・平地地域の維管束植物
〔平地地域〕

はじめに

この地域は住宅地，商業地，水田や畑地などの耕作地，工業団地などに利用されており，人間の活動の影響を強く受けている地域で，森林などの面積は少ない．また，森林も人間の活動の影響を受けている．わずかに神社や寺院等の林及び急斜面などに照葉樹の混じる林が残っている．植林されたスギ林も見られ，常緑広葉樹林と同じように，冬季の寒さから林下の植物を保護している．このためスギ林下に暖帯林など南の地域に見られる植物が生育し，これらの植物の中には，この地域を北限地や北限地に近い生育地としているものがある．

調査方法

1. 調査地域

海岸域の内，海岸線に近い部分を海岸部とし，平坦部，丘陵部や山麓を一部含む地域を平地部とした．又，行政的には，北から北茨城市大津町，磯原町，中郷町，高萩市下手綱，高萩本町，十王町伊師，日立市川尻，小木津町付近までを含む地域である．

文献調査と現地調査により調査し，現地調査では証拠個体の採集等を行った．

2. 調査期間

（1）平成 12（2000）年度

平成 12 年度は予備調査と文献調査を行った．予備調査は 5 月～ 11 月に延べ 18 回行った．

5 月13日　北茨城市華川町小豆畑
15日　北茨城市磯原町大塚
27日　北茨城市中郷町十里上
6 月 3日　北茨城市華川町中妻
4日　北茨城市磯原町上相田花園愛宕神社
17日　北茨城市華川町小豆畑浄蓮寺
7 月 1日　北茨城市磯原町大塚
25日　北茨城市華川町小豆畑
8 月 5日　北茨城市華川町小豆畑
21日　多賀都十王町伊師いぶき台
9 月15日　高萩市安良川八幡神社
10 月 2日　北茨城市磯原町大塚西明寺　環境保全林
10 月 6日　多賀郡十王町友部
7日　北茨城市磯原町大塚西明寺
9日　北茨城市華川町小豆畑
10 月28日　高萩市安良川
11 月13日　北茨城市関南町神岡下
11 月26日　高萩市秋山和野

（2）平成 13（2001）年度

平成 13 年度は 3 月～ 12 月に延べ 37 回行った．

3 月10日　高萩市石滝野地
24日　北茨城市華川町中妻
25日　北茨城市華川町浄蓮寺
4 月 1日　北茨城市中郷町石岡大北
4日　北茨城市関本町福田
8日　北茨城市華川町中妻
14日　北茨城市華川町中妻
15日　北茨城市中郷町石岡
18日　北茨城市中郷町松井字川添
22日　北茨城市中郷町石岡
28日　北茨城市中郷町石岡大北
29日　北茨城市華川町中妻
5 月 5日　北茨城市中郷町石岡
12日　北茨城市華川町中妻
13日　北茨城市中郷町石岡大北
18日　北茨城市関本町富士ケ丘
26日　高萩市上手綱
28日　北茨城市中郷町石岡大北
6 月 2日　北茨城市関本町関本中
9日　北茨城市磯原町大塚西明寺
10日　北茨城市中郷町石岡石塚屋
17日　北茨城市中郷町石岡十里峠
30日　北茨城市磯原町大塚西明寺
7 月 1日　北茨城市中郷町松井
8日　北茨城市磯原町松井
22日　北茨城市華川町
27日　多賀郡十王町上台
28日　北茨城市関本町富士ケ丘
8 月11日　高萩市安良川
16日　北茨城市関南町湯網
30日　多賀都十王町伊師いぶき台
9 月 4日　北茨城市華川町中妻
15日　北茨城市華川町中妻
29日　北茨城市磯原町大塚西明寺
10 月14日　高萩市上手綱
18日　日立市小木津町不動滝
12 月 9日　多賀郡十王町伊師本郷

（3）平成 14（2002）年度

平成 14 年度は 3 月～ 10 月までに延べ 24 回行った．

3 月 7日　北茨城市中郷町石岡字上川原
24日　北茨城市木皿
4 月 2日　北茨城市中郷町石岡十里上峠
3日　北茨城市機原町内野
27日　北茨城市中郷町石岡上川原
5 月12日　北茨城市磯原町大塚田端
24日　北茨城市関本町福田
27日　北茨城市磯原町内野
6 月 4日　多賀郡十王町伊師清水池周辺
8日　北茨城市華川町車
16日　北茨城市関本町関本中八坂神社
30日　北茨城市華川町小豆畑
7 月24日　北茨城市中郷町石岡字上川原
31日　北茨城市蕨平
8 月 4日　北茨城市関南町神岡神社
18日　北茨城市関南町神岡上
30日　北茨城市関南町神岡上
9 月20日　北茨城市磯原町西明寺・峰岸
21日　北茨城市関本町関本中八坂神社
27日　北茨城市磯原町大塚字山口
29日　北茨城市華川町臼場
10 月 2日　多賀郡十王町友部石尊山
3日　多賀郡十王町友部石尊山入り口
19日　北茨城市関南町神岡上

3.　調査項目

維管束植物（シダ植物，種子植物）を対象として，植物相と植生の概要の調査を行った．

（1）調査地に生育する全植物の確認と記録．

（2）調査地の植生の概要．

（3）生育する植物の採集と標本の作成（原則として花･実がついている個体を採集，1 種の植物につき 2 ～ 4 点作成）．

採集・確認目録は付表 1 に示した．なお，付表 1 に示した種数は次のとおりである．

・確認種　　912 種

（4）写真の作成(採集した主な植物とその生育状況がわかる写真)．

結　果

1. 植生の概要

本地域は潜在植生としては，ヤブツバキなどで代表される照葉樹林域にあたると思われる地域である．人間活動の影響を強く受けており，スダジイなどの林はごくわずかな面積が残っている程度で，シラカシなどの混じる林も少し残っているにすぎない．

（1）シラカシ林

北茨城市華川町小豆畑の浄蓮寺付近のシラカシ林の構成は次のようである．

高木層にシラカシ，スギがあり，所によりスダジイや竹などの混じることもある．亜高木層にはシラカシ，ヤブツバキ，イロハモミジがあり，下刈りのされている場所では低木層はみられないが，草本層にヤブツバキ，タマアジサイ，コアジサイ，ハナイカダ，ヤブムラサキなどの樹木が刈り込まれている．他には草本層にベニシダ，ヤブコウジなどやや乾燥した所に見られるものも生育しているが，カンスゲ，オオバノイノモトソウ，イワガネソウ，ハエドクソウ，フユイチゴ，シンミズヒキなども見られる．岩上にはマメヅタ，イタビカズラ，テイカカズラなどもある．

（2）スギ林

各地に植林されたスギ林が見られる．北茨城市磯原町西明寺の良く生長したスギ林の構成は次のようである．

高木層にスギがあり，亜高木層にはシロダモ，ヒサカキ，ヤブツバキ，モチノキ，ヤマウルシ，アカガシ等が混じっている．低木層にアオキ，シロダモ，ヒサカキ，リンボク，コアジサイ，ヤブムラサキ，シラカシ，タマアジサイ，バイカツツジなども見られ，草本層の種類は多く，ホウチャクソウ，シオデ，ササクサ，ウワバミソウ，ミズヒキ，ハエドクソウ，キバナアキギリ，カンスゲ，イワガネソウ，ベニシダ，ヤブコウジ，フユイチゴ，オオバノイノモトソウ等が生育している．

2.　注目すべき植物

この地域で注目すべき植物としては，暖帯性の植物で本地域を北限地または北限地に近い生育地とするものがある．一部本県の絶滅危惧植物も取り上げた．

（1）ヤマドリゼンマイ　ゼンマイ科

山地の湿原に群生する夏緑性のシダ植物．国内では北海道から九州屋久島までに知られ，県内でも花園山地域の湿地など，県北部の山間湿地と県中央部の湿地に稀に記録されている．本地域では十王町伊師の湿地に記録があった．今回の調査では高萩市赤浜の湿地で

わずかの個体が確認できた．

（2）フモトシダ　コバノイシカグマ科

暖地に生える常緑のシダ植物．国内では本州（福島県南部以南），四国，九州，琉球の山地林下に知られ，県内では北茨城市から多賀山地の山麓そして筑波山塊の山麓部までを含め，県の南部に見られる．本調査では北茨城市関本町，磯原町および高萩市の高戸で確認できた．

（3）オオバノハチジョウシダ　イノモトソウ科

本地域では北茨城市華川町浄蓮寺渓谷の記録があり，今回の調査でも同地での確認のみであった．県レベルでは危急種に指定されている．

図2．オオバノハチジョウシダ．

（4）オオカナワラビ　オシダ科

暖地のやや湿った林下に生える常緑のシダ植物．国内では本州（関東地方以西），四国，九州に知られ，県内では北茨城市，日立市，常陸太田市，新治村他に知られている．本地域では北茨城市磯原町の記録があり，今回の調査では同地での確認のみであった．

（5）ホソバカナワラビ　オシダ科

暖地に生える常緑のシダ植物．国内では本州（石川県・関東地方以西），四国，九州，琉球のやや乾燥した山地林下に知られ，県内では北茨城市，筑波山，鹿嶋市などの暖地に記録があり，本地域では北茨城市磯原町に記録されている．本調査でも磯原町で確認できた．県レベルでは希少種に指定されている．

（6）オニカナワラビ　オシダ科

本地域では北茨城市華川町に記録されている．本調査でも華川町で確認できたのみである．

（7）ヘラシダ　メシダ科

本州（福島県いわき市以南），四国，九州に分布．林床や崖や渓流沿いのやや陰湿な場所に生育する常緑性シダ植物．葉は長さ 10 ～ 30 cm で革質，単葉，葉柄は長さ 3 ～ 25 cm，褐色～黒褐色の細い鱗片がつく．胞子のう群は線形．県内では北茨城市，鹿嶋市他に記録がある．今回の調査では磯原町大塚（標高約 100 m）の西明寺と根岸のスギ林下において数カ所確認した．

（8）ノコギリシダ　メシダ科

本州（福島県いわき市以南），四国，九州に分布．湿り気のある林床に生育する常緑性シダ植物．葉は単羽状で羽片の基部前側に著しい耳垂がある．質はやや厚くて硬い．県内では北茨城市，八郷町，新治村に記録がある．今回の調査でも磯原町大塚（標高 100 m 付近）の西明寺で確認した．

（9）クリハラン　ウラボシ科

本州（関東以西）～九州に分布．湿気のある岩上やスギ林下などに生育する常緑性シダ植物．葉は単葉で広披針形，長さ 20 ～ 40 cm で主脈がやや黒くうき出して見える．葉柄は長さ 10 ～ 30 cm．県内では北茨城市，吾国山，新治町の記録がある．今回の調査では磯原町大塚（標高約 100 m）の根岸においてスギ林下において確認した．生育状態は良好で付近にはヘラシダも生育していた．

(10) ササクサ　イネ科

暖地に生える多年生植物．国内では本州（関東地方以西），四国，九州，琉球の林下に知られている．県内では暖地の林下に，やや稀に知られている．本地域では北茨城市華川町や磯原町などにも記録されている．本調査でも華川町や磯原で確認できた．県レベルでは希少種に指定されている．

(11) サクラバハンノキ　カバノキ科

湿地に生える落葉高木．国内では本州（新潟県・茨城県以西），九州（宮崎県）に知られ，湿地にやや稀に生えるとされる．県内では本地域の十王町に記録されている．本調査でも十王町で確認できたのみである．個体数は以前よりは多いと思われる．

(12) ミズユキノシタ　アカバナ科

湿地に生える多年草．全体に毛はなく，茎の下部は長くはう．本州，四国，九州，琉球に分布している．

県内では湿地に稀に見られる．本地域では北茨城市に記録されている．本調査では高萩市の池の縁で確認できたのみである．県レベルでは危急種に指定されている．

(13) リンボク　バラ科

本地域では北茨城市，高萩市，日立市に記録されている．本調査では北茨城市で確認できたのみである．

(14) コモウセンゴケ　モウセンゴケ科

日当たりの良い湿地に生える多年草．国内では本州（宮城県以南），四国，九州，琉球に知られ，県内では稀である．本地域では高萩市，十王町と日立市に記録されている．本調査では十王町で確認できた．

図 3．コモウセンゴケ．

(15) オオバチドメ　セリ科

本地域では北茨城市に記録されている．本調査でも北茨城市で確認できたのみである．

(16) アリドオシ　アカネ科

暖地の林中に生える常緑の低木．国内では本州（関東地方以西），四国，九州に知られている．県内では暖地にやや稀に見られ，北茨城市の生育地は本種の北限地と思われる．本地域では北茨城市磯原町にのみ記録されている．本調査でも磯原町で確認できたのみである．

(17) キジョラン　ガガイモ科

本地域では北茨城市磯原町に記録されている．本調査でも磯原町で確認できた，生育範囲は比較的広いが個体数は多くなかった．

(18) イヌセンブリ　リンドウ科

山野の湿地に生える 1 年草．国内では本州，四国，

図 4．キジョラン．

九州に知られ，センブリより極めて稀である．県内では稀で，生育地の減少が心配されている．本地域では北茨城市と十王町に記録がある．本調査では高萩市赤浜の池の縁に生育しているのを確認した．十王町の生育地は住宅地になっていた．県レベルでは絶滅危惧種に指定されている．

(19) エビネ　ラン科

丘陵地などの林下に稀に生える多年草．国内では北海道西南部から琉球に知られ，県内でも各地に分布していた．今回の調査では北茨城市平潟町と磯原町で生育が確認できた．県レベルでは絶滅危惧種に指定されている．

(20) アキザキヤツシロラン　ラン科

暖地に生える腐生植物．国内では本州（茨城県以西），四国，九州，琉球の林下に知られている．県内では本地域の北茨城市と高萩市の暖地の竹林下に記録がある．しかし，今回の調査では確認できなかった．

(21) クモラン　ラン科

本州（東北地方南部），四国，九州に分布．日当たりのよい所で湿り気のある所の樹木に着生する多年草．根は扁平，肉質で葉緑素をもち放射状に蜘蛛の足のように広がる．茎はきわめて短い．花期は 6 ～ 7 月．県内では北茨城市，常北町，笠間市，鹿嶋市に記録がある．今回の調査では華川町小豆畑で確認した．

図 5．クモラン．

調査研究

鈴木昌友（茨城大学名誉教授　理学博士）
安　昌美（元茨城県高等学校教育研究会生物部長）
渡辺義弘（北茨城市中郷町石岡 404）
滑川敏行（北茨城市立関本第一小学校校長）
茂垣はるえ（茨城県立茨城東高等学校教諭）
内山治男（大成女子高等学校教諭）

執　筆

安　昌美
内山治男

海岸・平地地域の維管束植物〔海岸地域〕

はじめに

今回調査対象となった海岸地域は，南は日立市久慈浜の久慈川河口より始まり，北は福島県いわき市と接する北茨城市平潟の海岸までの地域である．茨城県の北部を占める海岸地域で，海岸線は約 50 km あり，風光明媚な海食崖の見られる区域と海水浴場ともなる砂浜海岸区域とから構成されている．住宅やその他の施設等が海岸線近くまで見られる所が増加し，海岸植物などの生育地も以前と比べれば減少している．

また，海食崖などの見られる区域は，砂浜域よりは地質的に古い地層から出来ており，稀に山地性の植物が見られることからもうなずける．

気候については，特にこの県北部の海岸は，海に近いことの他に，西に多賀山地があることも関係し，県内では南部の鹿嶋地域と共に，特に温暖な地域になっている．海岸近くは寒流が流れ，沖を暖流の黒潮が流れるという状況にある．

このような環境であるので，海岸域は大きく分けるとスダジイやカシ類で特徴づけられる照葉樹林域に属している．しかし，過去の気候変動や海流の関係もあり，マルバトウキ，シロヨモギ，ハマギクやコハマギクなどの北方系の植物とオオバグミ，シャリンバイ，ツワブキなどの南方系の植物が共に生育するという状態が見られる．

調査方法

1.　調査地域

調査範囲は北は北茨城市平潟の海岸から南は日立市久慈浜の久慈川河口までの海岸と，海岸に近い原則 JR 常磐線より海側の区域である．海岸を主な生育地とする海浜植物を中心にその他の植物も同様に調査した．

地形的には海岸線から海食崖と丘陵域で，草地，森林，市街地，一部耕作地が含まれている．標高はおよそ 0 ～ 30 m の範囲である．

行政的には北茨城市，高萩市，多賀郡十王町，日立市に属している．

北茨城市では関本町関本中，平潟町，長浜海岸，五浦海岸，大津町，関南町神岡下，関南町神岡上，磯原町磯原，中郷町下桜井，中郷町足洗，中郷町小野矢指である．

高萩市では赤浜，高戸，高浜町である．一部石滝海岸のものは次の十王町伊師のいぶき山に含めてある．

多賀郡十王町では伊師である．北部の天然記念物に指定されている「いぶき山イブキ樹叢」付近はいぶき山とし，南部の伊師浜海岸と碁石浦などの部分は伊師浜とした．

日立市では川尻町小貝ケ浜　灯台付近，折笠町，日高町，相田町，田尻町，東滑川町，東町，旭町，国分町，河原子，東金沢町，水木町，大みか町，久慈町である．

地名については一部短くしたり，町を略して記している．

2.　調査期間

（1）平成 12（2000）年度

平成 12 年度は予備調査と文献調査を行った．予備調査は 7 月～ 11 月に延べ 4 回行った．

7 月29日　高萩市高戸・赤浜，十王町伊師伊師浜・いぶき山
8 月11日　北茨城市平潟町・五浦美術館付近
8 月19日　北茨城市磯原町磯原天妃山
11 月13日　北茨城市大津町五浦・長浜，平潟町

（2）平成 13（2001）年度

平成 13 年度は 4 月～ 11 月に延べ 14 回行った．

4 月21日　高萩市高戸，十王町伊師浜
5 月21日　十王町伊師浜
6 月 2日　北茨城市平潟町，大津町五浦・長浜，中郷町足洗
6 月24日　日立市河原子・水木
7 月28日　北茨城市中郷町下桜井
7 月29日　日立市川尻・田尻・国分町
8 月25日　北茨城市大津五浦，中郷町，磯原海岸，高萩市高浜高萩海岸，十王町伊師いぶき山
9 月22日　日立市川尻町灯台付近
9 月29日　高萩市赤浜，十王町伊師浜
10 月 7日　日立市大みか町・久慈町
10 月20日　日立市東滑川町
10 月21日　高萩市赤浜・高戸
11 月17日　日立市東金沢町海岸・河原子
11 月18日　日立市日高町・折笠町

（3）平成 14（2002）年度

平成 14 年度は 4 月～ 2003 年 2 月までに延べ 12 回行った．

4月 6日　日立市川尻町灯台付近
5月 4日　日立市水木
5月23日　北茨城市中郷町足洗，高萩市高戸，十王町伊師浜，日立市川尻町灯台付近
5月30日　日立市久慈浜
6月 4日　日立市相田浜
6月15日　日立市大みか町
7月14日　日立市東滑川町・河原子海岸
7月31日　北茨城市大津町，磯原町
8月31日　日立市河原子
9月21日　北茨城市関本町，高萩市高戸
10月19日　日立市水木
2月10日　北茨城市，高萩市，十王町，日立市

3. 調査項目

維管束植物（シダ植物，種子植物）を対象として，植物相と植生の概要の調査を行った．

（1）調査地に生育する全植物の確認と記録．

（2）調査地の植生の概要．

（3）生育する植物の採集と標本の作成（原則として花･実がついている個体を採集，1種の植物につき2～4点作成）．

採集・確認目録は付表1に示した．なお，付表1に示した種数は次のとおりである．

・確認種　　658種

（4）写真の作成(採集した主な植物とその生育状況がわかる写真)．

結　果

1. 植生の概要

本地域は基本的に照葉樹林域に属しているが，住宅地や商業地域など，これまでの人間の活動により残された林は少ない．特に照葉樹林は神社や寺近くそして崖地にわずかに見られるにすぎない．

（1）スダジイ，タブノキ林

スダジイ，タブノキの混じる狭い林が各地に点在しているが，北茨城市平潟付近の林の構成は次のようである．

高木層にはタブノキ，スダジイ，ヤブツバキ，モチノキ，アカマツが見られる．亜高木層にはヤブツバキ，モチノキがあり，低木層は種類が比較的多くトベラ，ヒサカキ，モチノキ，マルバグミ，ビワ，ムラサキシキブ，スダジイ，イヌマキ，アズマネザサである．栽培種の逸出したものが混じっている．草本層の種類はヤマユリ，ジャノヒゲ，ヤブコウジ，アオキ，ツタウルシ，ヘクソカズラ（ヤイトバナ），ガマズミ，センボンヤリ，ミツバアケビ，キッコウハグマ，ケチヂミザサ，ノコンギク，オオバジャノヒゲ，フジ，ミズヒキ，イタビカズラ，シュロなどで暖帯性植物が目につくのが特徴である．

（2）クロマツ林

クロマツ林は各地の海岸の砂地や崖上にあり，砂防用に植林されたクロマツ林が各所に見られる．林の種構成は植林されてからの年月により変化がある．

高萩市高戸のクロマツ林は次のようである．高木層にはクロマツ，稀にタブノキが混じる．亜高木層にはタブノキが多く，低木層にはヒサカキが目立ち，他にアセビ，トベラ，ヤブツバキ，スダジイがある．草本層は貧弱であるが種類としてはイヌツゲ，ミヤマシキミ，アセビ，ベニシダ，シシガシラ，スダジイ，キヅタ，ヤマイタチシダなどがある．

十王町伊師浜のクロマツ林は次のようである．

高木層にクロマツがあり，亜高木層はなく，低木層にはオオバグミ，アキグミ，オオバイボタ，トベラ，ヤツデ，イボタノキ，タブノキなど照葉樹林の構成種が出現している．草本層にはハマゴウ，コマツナギ，ヒメヤブラン，テリハノイバラ，カワラナデシコ，ハマハタザオやヒメイズイがあり，場所によってはハイネズやハマカキランが見られる．

（3）イブキ林

イブキ林は十王町伊師の「いぶき山イブキ樹叢」として保護されている．

植生の概要は高木層にはイブキのみがあり，亜高木層にはタブノキ，モチノキ，シロダモ，オオバグミなどが出現し，低木層にはアオキ，ヒサカキ，オオバグミ，ヤツデ，タブノキ，シロダモ，マサキなどが見られるが，イブキは見られない．草本層にはオニヤブソテツ，キヅタ，エノキ，ヒサカキがあり，林のへりにはイヨカズラ，スカシユリ，ハマギク，ラセイタソウなどが生育している．

（4）海浜

砂浜の植生は人の立ち入りや工事などもあり，全体的には貧弱になってきている．広い砂浜が残っていて，比較的海浜植物が多いのは十王町の伊師浜海岸である．

ここでは，コウボウムギ，オニシバ，ハマヒルガオ，

ハマエンドウ，ケカモノハシなどが多い．ハマニガナはやや少ないが，シロヨモギが点在している．最近，帰化植物のコマツヨイグサが増えていることは問題である．

2.　注目すべき植物

本地域を特徴づける海浜植物と分布上注目すべき植物及び絶滅危惧植物を取り上げた．

北部海岸地域で確認地点の少ない種類については，地名の次の（　　）内に確認年月日を示した．最初の2桁は西暦の下2桁，次は月，2桁は日である．

（1）イヌドクサ　トクサ科

海岸から河川の河原など広い範囲に生える常緑性のシダ植物．トクサに似ているが茎は細く，草丈は長い．国内では本州，四国，九州に知られている．県内では海岸や河原で確認されている．県北部の海岸では生育地は少なくなっているようである．

確認地点：高萩市赤浜　高戸　高浜町，十王町伊師浜，日立市河原子　東金沢町　水木　大みか．

（2）オニヤブソテツ　オシダ科

海岸に多い常緑性のシダ植物．国内では北海道から琉球に産し，県内でも海岸部から内陸の林下にも稀に生える．調査域では崖地に多い．

確認地点：北茨城市平潟　長浜　五浦　大津港付近　磯原天妃山　小野矢指，高萩市高戸　高浜町，十王町いぶき山　伊師浜，日立市田尻町　日高町　東滑川町　相田浜　東町　旭町　会瀬町　国分町　河原子　東金沢町　水木　大みか　久慈浜．

（3）コモチシダ　シシガシラ科

海岸部に多いとされている常緑性のシダ植物．太平洋側では宮城県以南に知られ，県内では海岸の崖や道路の切通しなどの岩上に生える．葉の表面に無性芽が多数生じることが特徴である．海岸の崖などによく見られるが，無性芽をつけている個体は多くない．

確認地点：北茨城市平潟町　五浦　神岡上，高萩市高戸，十王町伊師本郷，日立市川尻町　折笠町　日高町　東滑川町　東金沢町　大みか　久慈浜．

（4）イブキ　ヒノキ科

海岸部に生える常緑針葉樹．国内では，本州（岩手県以南），四国，九州，琉球に知られ，県内では，十王町伊師浜の「いぶき樹叢」は大正11年に国の天然記念物に指定されている．大きな個体が残されているが，実生等の若い木のないことが心配である．植樹などの保護策が講じられている．北茨城市五浦の海岸崖地のものは人が近づくことができない．

確認地点：北茨城市五浦，十王町伊師．

（5）ハイネズ　ヒノキ科

海岸の砂地に生える常緑の針葉樹で，幹は這っている．国内では北海道から九州（種子島まで）に知られている．県内では砂地の多い南部の海岸に多く，北部の海岸では限られているようである．時に崖地にも見られる．

確認地点:高萩市赤浜　高戸　高浜町，十王町伊師浜．

（6）テンキグサ　イネ科

海岸の砂地に群生する多年草．全体平滑で，白緑色を呈する．国内の分布は北海道，本州，九州に知られている．海岸の護岸工事等にも利用されており，本来の自生との判別が困難になっている．

確認地点：北茨城市平潟　長浜　神岡下　神岡上　下桜井　小野矢指，高萩市赤浜　高戸　高浜町，十王町いぶき山　伊師浜，日立市国分町　河原子　水木　大みか．

（7）ケカモノハシ　イネ科

海岸の砂地に生える多年草．全体に毛があり，特に茎の節には毛がある．国内の分布は北海道から九州で，県内では各地の砂浜海岸に見られる．調査地域では比較的広い砂浜に生育している．

確認地点：北茨城市神岡下　下桜井　小野矢指，高萩市赤浜　高浜町，十王町いぶき山　伊師浜，日立市河原子．

（8）オニシバ　イネ科

海岸の砂地に生える多年草．シバより少し大型で，小穂は長さ約6～8 mm，幅約2 mmである．花期は夏．分布は北海道から琉球で，県内では各地の海岸に普通に見られる．調査地域では比較的広い砂浜に生育している．

確認地点：北茨城市下桜井　小野矢指，高萩市赤浜，十王町いぶき山　伊師浜，日立市河原子．

（9）ハマエノコロ　イネ科

海岸の砂地に生える1年草．草丈は低く，亡の長いのが特徴である．全国の海岸に分布するとされてい

る．最近は少なくなっているのか，調査地域でもあまり確認できなかった．
確認地点：北茨城市神岡下　下桜井，十王町伊師いぶき山．

（10）ハタガヤ　カヤツリグサ科
日当たりのよい荒地や畑地に生える 1 年草とされているが，主に海岸の砂地に見られる．国内では本州から琉球に分布し，県内では海岸砂地に稀に見られる．県北部では高萩市に記録があるが，今回は確認できなかった．

（11）ハマアオスゲ　カヤツリグサ科
海岸の砂地，草地や林下に生える多年草．匍匐枝を生ずるのが特徴である．国内では本州から琉球に普通とされている．県内ではやや南部の海岸に多いようである．今回は確認できた地点は少なかった．
確認地点：北茨城市下桜井，高萩市赤浜，十王町伊師浜．

（12）コウボウシバ　カヤツリグサ科
主に海岸の砂地に生える多年草．葉は 2 ～ 4 mm．雌雄同株で，果胞は長さ 6 ～ 7 mm．国内では北海道～琉球の海岸砂地に知られている．県内でも各地の海岸に見られる．調査地域でも各地で確認できた．
確認地点：北茨城市平潟　長浜　下桜井，高萩市赤浜　高戸　高浜町，十王町いぶき山　伊師浜，日立市東滑川町　国分町　河原子　大みか　久慈浜．

（13）コウボウムギ　カヤツリグサ科
海岸の砂地に多い多年草．葉は幅 4 ～ 6 mm．普通雌雄異株．雌小穂は卵形で長さ 1.5 cm，果胞は長さ 1 cm．国内の分布は北海道西海岸から琉球で，県内でも各地の海岸に見られる．調査地域でも各地で確認できた．
確認地点：北茨城市平潟町長浜　神岡下　神岡上　下桜井　小野矢指，高萩市赤浜　高浜町，十王町いぶき山　伊師浜，日立市河原子．

（14）スカシユリ　ユリ科
海岸の崖や岩場，砂地などに生える多年草．花期は 6 月下旬から 8 月で，花は上を向いて咲く．分布は本州の太平洋側は紀伊半島以北，日本海側は新潟県以北とされている．県内では広く各地の海岸に記録されているが，個体数の減少が指摘されている．
確認地点：北茨城市，高萩市赤浜　高戸，十王町いぶき山　伊師浜，日立市川尻町　田尻町　東滑川町　国分町　河原子　大みか．

図 2．スカシユリ．

（15）ヒメイズイ　ユリ科
海岸や山地に生える多年草．茎は直立し，初夏に淡黄緑色の筒形の花を葉腋に下垂する．国内の分布は北海道，本州中北部，九州とされ，県内でも山地と海岸に知られているが産地は多くない．海岸ではクロマツ林下や草地に見られる．確認地点は少なかった．
確認地点：高萩市赤浜　高戸，十王町伊師浜．

（16）ハマカキラン　ラン科
海岸のクロマツ林下に生える多年草．全体に短毛があり，花はカキランより地味で唇弁は白色から黄緑色で赤紫色の斑紋がある．分布は青森県から愛知県の太平洋岸のクロマツ林下とされている．県内では南部の鹿嶋市から北部の海岸に稀に見られたが，場所によっては個体数は少なくなっているようである．今回の調査では確認できた地点は少なかった．
確認地点：十王町伊師浜（020604），日立市河原子（010624　020714）．

（17）ラセイタソウ　イラクサ科
海岸の崖地などに多い多年草．葉は厚く，表面はしわが多く，ラシャに似ている．分布は北海道南部から紀伊半島までの太平洋岸とされている．県内では地形の関係もあり，北部の海食崖等に見られる．調査地域では各地の海岸に生育している．

確認地点：北茨城市平潟　長浜　五浦　大津港　磯原天妃山　小野矢指，高萩市赤浜　高戸，十王町いぶき山　伊師浜，日立市川尻町　田尻町　相田浜　東滑川町　東町　会瀬　国分町　河原子　東金沢町　水木　大みか．

（18）オカヒジキ　アカザ科

海岸のやや有機質の多い所に生える 1 年草．葉は円柱形で肉質，先は刺状になっている．若い茎や葉は食用とされる．国内では北海道から琉球に知られ，県内では各地の海岸に見られる．

確認地点：北茨城市平潟町　長浜，高萩市赤浜，十王町いぶき山　伊師浜，日立市東滑川町　国分町　河原子　久慈浜．

（19）ツルナ　ツルナ科

海岸の砂地に生える多年草．葉は卵状三角形からひし形，多肉質で厚い．国内では北海道から琉球に知られ，太平洋沿岸に多いとされている．県内では各地に点在している．調査地域では思ったより確認地点が少なかった．

確認地点：高萩市高戸，日立市東滑川町　国分町　河原子　水木　大みか．

（20）ハマナデシコ（フジナデシコ）　ナデシコ科

海岸に生える多年草．夏から秋にかけて，多数の紅紫色の花をつける．本州（福島県以南），四国，九州，琉球に分布．県内では南部の鹿島郡の海岸に見られ，北部の海岸ではこれまで記録がなかった．今回の調査で日立市小木津町の崖地に群生しているのを確認した．尚，福島県では相馬市松川浦やいわき市の海岸に生育している．

確認地点：日立市小木津．

（21）ハマツメクサ　ナデシコ科

海岸の崖の下部ややや湿った土地に生える 1 年草または多年草．ツメクサに似ているが，茎は太く，全体的に大きい．国内では北海道から琉球に知られ，県内では北部の方が南部より多いようである．

確認地点：北茨城市長浜　五浦　磯原天妃山，高萩市高戸，十王町伊師浜，日立市会瀬　河原子．

（22）ハマハタザオ　アブラナ科

海岸の砂地やクロマツ林の下などに生える越年草．茎は直立し毛がある．花は白色で，春から初夏に咲く．国内では北海道から九州とされ，県内でも各地の砂地の海岸や林下に見られる．生育地は減少しているようである．

確認地点：北茨城市小野矢指，高萩市赤浜，十王町いぶき山　伊師浜．

（23）トベラ　トベラ科

海岸の崖地や砂地などの林に生える常緑小高木．花は白色で，初夏に咲く．果実は秋に熟し，種子は赤橙色で粘液に包まれている．国内の分布は本州（太平洋側は岩手県以南，日本海側は新潟県以南）から琉球とされている．県内では各地の海岸林や崖地に普通に見られる．県北部でも各地に生育している．

確認地点：北茨城市平潟　長浜　五浦　大津港　神岡下　神岡上　磯原天妃山　小野矢指，高萩市赤浜　高戸　高浜町，十王町いぶき山　伊師浜，日立市川尻町　田尻町　日高町　相田浜　東滑川町　旭町　会瀬　国分町　河原子　東金沢町　水木　大みか　久慈浜．

（24）ハマナシ　バラ科

海岸の砂地に生える落葉低木で，茎や枝には太い刺や細い刺針がある．国内では北海道から太平洋岸は茨城県南部まで，日本海側は島根県まで分布する．鹿嶋市の生育地は現在も国指定の天然記念物に指定されている．しかし，高萩市の生育地は一度指定されたがその後絶滅し，指定が解除された．北茨城市や日立市に記録があるが，確認されていない．

（25）カジイチゴ　バラ科

海岸に生える落葉低木．葉は大きく卵円形で，5 ～ 7 裂する．花は白色で大きく，果実は球形で食べられる．分布は本州（関東地方以西の太平洋岸），四国，九州である．県内では沿岸地に見られるが，本来の自生かどうかはっきりしない．

確認地点：北茨城市平潟町　五浦　大津港　磯原天妃山，高萩市高戸　高浜町，日立市田尻町　折笠町　東滑川町　旭町　会瀬　国分町　東金沢町　水木　大みか　久慈浜．

（26）センダイハギ　マメ科

海岸に生える多年草．北国に産する種類で，北海道と本州（中部地方以北）とされている．県内では，高萩市に古く記録されているが，ここ 40 年近くは生育が確認されていない．福島県植物誌には記録がない．

（27）ハマエンドウ　マメ科

主に海岸の砂地や草地に生える多年草．花は青紫色から赤紫色で，花期は 4 ～ 7 月である．国内では北海道から琉球で，県内でも各地の海岸に見られる．花期の浜辺は美しい．調査地域ではハマヒルガオよりは個体数は少ない．

確認地点：北茨城市神岡下　神岡上　下桜井　小野矢指，高萩市赤浜　高戸　高浜町，十王町いぶき山　伊師浜，日立市日高町．

（28）オオバグミ（マルバグミ）　グミ科

海岸に生える常緑低木．花は秋に咲き，果実は春に熟する．葉は大きく，革質で，表面は深緑色ではじめは白い鱗片で覆われている．裏面は銀白色の鱗片に黄褐色の鱗片が混じる．国内の分布は本州（東北南部以南）から琉球で，県内では北部に産地が多い．

確認地点：北茨城市平潟　長浜　五浦　大津港　磯原天妃山，高萩市高戸，十王町いぶき山　伊師浜，日立市川尻町　日高町　東滑川町　東町　会瀬　国分町　河原子　東金沢町　水木．

（29）ハマゼリ　セリ科

海岸の草地や崖の下部などに生える多年草．葉は羽状複葉でよく切れ込んでいる．花は小さく，白色で，夏から初秋に咲く．国内の分布は北海道から九州で，県内では北部の海岸に見られる．調査地域ではやや少ない感じがする．

確認地点：北茨城市五浦，高萩市高戸，日立市国分町　河原子　大みか．

図 3．ハマゼリ．

（30）ハマボウフウ　セリ科

海岸の砂地に生える多年草．茎などに毛がある．花は白く，夏に咲く．国内の分布は北海道から琉球とされ，県内では各地の海岸に点在する．若芽は食用とされ，各地で個体数が減少している．

確認地点：北茨城市下桜井，高萩市赤浜，十王町いぶき山　伊師浜，日立市東滑川町．

（31）マルバトウキ　セリ科

海岸の草地や崖の下部などに生える多年草．全体無毛．葉は 2 回 3 出複葉．花は白色で夏に咲く．果実は扁平で長楕円形．国内の分布は北海道，本州北部とされ，太平洋側では茨城県のひたちなか市（那珂湊）を南限地としている．県内では那珂湊以北であるが，産地は少ない．調査地域でも稀である．

確認地点：北茨城市平潟町長浜　五浦，高萩市赤浜　高戸　高浜町，十王町伊師浜．

（32）ハマボッス　サクラソウ科

海岸の崖地などやや湿った所に生える多年草．全体無毛．花は白色で初夏に咲く．国内の分布は北海道から琉球と広い．県内では地形の関係もあり北部の海岸崖地に見られる．

確認地点：北茨城市五浦，高萩市高戸，十王町伊師浜，日立市川尻町　相田浜　東滑川町　会瀬　国分町　河原子　水木　大みか．

（33）オオバイボタ　モクセイ科

海岸近くに生える半常緑の低木．葉はやや厚く，光沢があり，中肋は表面が凹み，裏面に隆起している．側脈もはっきりしている．国内では本州から九州に分布し，県内でも各地の海岸で見られる．

確認地点：北茨城市五浦　神岡下　神岡上　磯原天妃山　小野矢指，高萩市赤浜　高戸，十王町いぶき山　伊師浜，日立市川尻町　折笠町　日高町　東滑川町　旭町　会瀬　国分町　河原子　東金沢町　水木　大みか　久慈浜．

（34）イヨカズラ　ガガイモ科

海岸の草地や林のへりなどに生える多年草．葉は楕円形でやや厚く両面の脈上に短毛がある．花は淡黄白色で 5 ～ 7 月である．果実は広披針形で長さは 4 ～ 6 cm で目立つ．国内の分布は本州から九州とされ，県内ではひたちなか市（那珂湊）以北の海岸草地などに生育している．調査地域でも確認地点は少なく個体数も少ない．

確認地点：北茨城市五浦（010825），高萩市高戸（000729），十王町いぶき山（000729　010825）　伊師浜（030210），日立市大みか（020615）．

(35) ハマヒルガオ　ヒルガオ科

主に海岸の砂地に生える多年草．群生することが多く，5 ～ 6 月の花期の砂浜は見事である．国内の分布は北海道から琉球と広く，県内でも各地の砂浜に見られる．調査地域でも普通に産する．

確認地点：北茨城市平潟町　長浜　神岡下　神岡上　下桜井　小野矢指，高萩市赤浜　高戸　高浜町，十王町いぶき山　伊師浜，日立市川尻町　日高町　相田浜　東滑川町　会瀬　国分町　河原子　水木　大みか　久慈浜．

(36) ハマゴウ　クマツヅラ科

海岸の砂地に生える落葉小低木．茎は砂中を長くはっている．葉は微毛が密生し，表面は灰緑色，裏面は灰白色である．国内では本州から琉球に分布し，県内では比較的広い砂地に見られる．

確認地点：北茨城市神岡下　小野矢指，高萩市赤浜　高浜町，十王町いぶき山　伊師浜．

(37) ウンラン　ゴマノハグサ科

海岸の砂地に生える多年草．花は黄白色で 8 ～ 10 月に咲く．国内の分布は北海道，本州（千葉県以北の太平洋岸，瀬戸内海沿岸，日本海沿岸）とされている．県内では南部の海岸に砂浜が多いことも関係し，記録地点は多く，北部では少ない．調査地域でも多くはない．

確認地点：北茨城市神岡下　下桜井　小野矢指，高萩市赤浜　高浜町，十王町いぶき山　伊師浜　日立市．

(38) ハマウツボ　ハマウツボ科

海岸や河原のヨモギ属植物に寄生する 1 年草．茎は黄褐色で太い．国内の分布は北海道から琉球である．県内では稀で，調査地域では十王町伊師浜に記録があるが今回は確認できなかった．

(39) シロヨモギ　キク科

海岸の砂地に生える多年草で，全体綿毛があって白色である．花は 8 ～ 10 月である．国内の分布は北海道，本州（新潟県・茨城県以北）で，太平洋岸では本県を南限地としている．県内では南部の鹿嶋市まで知られている．調査地域での確認地点は少ない．

確認地点：高萩市赤浜（000729　011021）　高浜町（010825）　十王町いぶき山（000729　010825）　伊師浜（010421　010929　020604）．

図 4．シロヨモギ．

(40) カワラヨモギ　キク科

調査地域では広い砂地の海岸に見られる．

確認地点：北茨城市小野矢指，高萩市赤浜，十王町いぶき山　伊師浜，

(41) ハマギク　キク科

海岸の崖地などに生える亜低木．葉はへら形で長さ 5 ～ 9 cm で，ヘリに鋸歯がある．花は白色の大きな頭花で 10 ～ 11 月に咲く．分布は青森県八戸市の海岸から茨城県ひたちなか市那珂湊の海岸までである．本県を南限地にしている．調査地域では海岸崖地によく見られる．

確認地点：茨城市平潟町　長浜　五浦　大津港　磯原　天妃山，高萩市赤浜　高戸，十王町いぶき山　伊師浜，日立市川尻町　日高町　相田浜　東滑川町　東町　旭町　会瀬　国分町　河原子　水木　大みか　久慈浜．

図 5．ハマギク．

(42) コハマギク　キク科

海岸の崖地などに生える多年草．葉は長い柄があり，広卵形で，長さ幅ともに 1 ～ 4 cm，羽状に 5 中裂または 5 浅裂する．花は 9 ～ 10 月で，白色の頭花をつける．分布を見ると，北海道では根室から太平洋側

を渡島まで，本州では青森県の竜飛崎から太平洋岸を茨城県ひたちなか市の磯崎海岸までである．本県を南限地としている．県北部の海岸崖地に見られるが，ハマギクよりは少ない．

確認地点：北茨城市平潟町長浜　五浦，高萩市高戸，十王町伊師浜，日立市川尻町　折笠町　国分町　河原子．

図 6．コハマギク．

（43）ハマニガナ　キク科

海岸の砂地に生える多年草．葉は長い柄があり，3 ～ 5 裂している．花は黄色で，春から秋に咲く．国内では北海道から琉球に産する．砂地ではハマヒルガオに比べると個体数は少ない．

確認地点：北茨城市神岡下　下桜井　小野矢指，高萩市赤浜　高浜町，十王町いぶき山　伊師浜，日立市河原子．

（44）ハチジョウナ　キク科

荒地や海辺に生える多年草で，北の海辺に多いとされている．花は夏から秋で，黄色の頭花をつける．国内では北海道から九州の海岸に産する．県内の産地は意外と少ない．もっと注目されてもよい種類と思われる．

確認地点：高萩市高戸（000729），日立市国分町（010729）　河原子（020714　020831）．

（45）ネコノシタ（ハマグルマ）　キク科

海岸の砂地に生える多年草．茎は長く這い，葉は対生する．葉は剛毛があり，ざらつく．花は夏から秋．国内の分布は本州（関東・北陸地方以西）から琉球とされている．県内では東海村の海岸以南には比較的見られる．調査地域ではかって日立市国分町の海岸において生育が確認されていたが，今回の調査ではどこの海岸でも確認できなかった．

（46）ツワブキ　キク科

海岸の崖地などに生える常緑の多年生草本．秋遅く黄色の頭花をつける．国内では太平洋側は福島県南部，日本海側では石川県以西の本州から琉球に分布し，茨城県北部の生育地は北限地に近い産地である．日立市の海岸崖にはやや多いようであるが，より北では少なくなっている．

確認地点：北茨城市磯原天妃山（000819　030210），高萩市赤浜　高戸（000729　030210），日立市相田浜（020604）　東滑川町（011020）　旭町（030210）　会瀬（020629）　国分町（010729）　河原子（010624　011117　020831）　水木（010624　021019）　大みか（011007）．

引用文献

藤田弘道．1968．茨城県のノコギリシダの産地．フロラ茨城，24: 5-6.

海浜植物調査会．1992．茨城の海浜植物．茨城の生物　第 3 集　平成 4 年版．pp．117-122．茨城県高等学校教育研究会生物部．

環境を守る日立市民会議編．1988．日立の植物　シダ植物・種子植物・キノコ．295 pp.，日立市．

鈴木昌友．1961．茨城県産植物雑記（6）（7）アリドオシ，フロラ茨城，11: 1-2.

鈴木昌友・清水　修・阿見珠子・安　昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸・野口達也．1981．茨城県植物誌．339 pp.，茨城県植物誌刊行会．

安　昌美．1965．オオカナワラビの産地．フロラ茨城，27: 3-4.

安　昌美．1965．茨城県北のシダ植物雑記（1）　1）オオクボシダ　2）オニヒカゲワラビ，フロラ茨城，30: 2-3.

安　昌美．1975．茨城東北部のシダ植物（1）茨城県立緑岡高等学校紀要　緑苑，5: 3-14．plate 1.

安　昌美．2001．茨城県高萩市高戸海岸の植物．茨城生物，21: 32-42.

参考文献

茨城県環境保全課．1997．茨城における絶滅のおそれのある野生生物〈植物編〉．253 pp.，茨城県環境保全課．

岩槻邦男編．1992．日本の野生植物　シダ．311 pp.，平凡社．

大井次三郎（著）・北川政夫（改訂）．1992．新日本植物誌　顕花篇．1716 pp.，至文堂．

長田武正．1989．日本イネ科植物図鑑．759 pp.，平凡

社.
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫（編）. 1981. 日本の野生植物　草本Ⅲ. 259pp., 平凡社.
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫（編）. 1982. 日本の野生植物　草本Ⅱ. 318 pp., 平凡社.
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫（編）. 1982. 日本の野生植物　草本Ⅰ. 305 pp., 平凡社.
佐竹義輔・原　寛・亘理俊次・富成忠夫（編）. 1989. 日本の野生植物　木本Ⅰ. 321 pp., 平凡社.
佐竹義輔・原　寛・亘理俊次・富成忠夫（編）. 1989. 日本の野生植物　木本Ⅱ. 305 pp., 平凡社.

調査研究

鈴木昌友（茨城大学名誉教授　理学博士）
滑川敏行（北茨城市立関本第一小学校校長）
安　昌美（元茨城県高等学校教育研究会生物部長）
茂垣はるえ（茨城県立茨城東高等学校教諭）
安嶋　隆（茨城県立日立第二高等学校教諭）

執　筆

安　昌美
茂垣はるえ

付表 1．茨城県北東部地域の維管束植物目録

凡例

学名および和名の配列

・科の配列順序は，「植物目録」（環境庁自然保護局編，1987）に従った．

・属および種の配列は，学名のアルファベット順とした．

・和名と学名は，主としてシダ植物を「日本の野生植物・シダ」（岩槻邦男，1992）に，種子植物を「新日本植物誌顕花編」（大井次三郎著・北川政夫改訂，1992），帰化植物を「原色日本帰化植物図鑑」（長田武正，1976）によった．一部の種類についてはその他の文献から適切と思われる学名を使用した．

地区別リスト

・地区別リストは花園地区，里美・君田地区，高鈴地区，平地および海岸の 5 地区にわけた．

特記した植物

・◎は本文中で特記した海浜植物，県内稀産種，絶滅危惧種

・茨－：茨城県版レッドデータブック該当種（1997）．

・環－：環境庁版レッドデータブック該当種（2000）．

No.	調査地	確認種
1	花園山周辺地域	811
2	里美，君田周辺地域	880
3	神峰山，高鈴山，真弓山周辺地域	910
4	海岸・平地地域〔平地〕	912
5	海岸・平地地域〔海岸〕	658

学名	和名	1	2	3	4	5	備考
PTERIDOPHYTA	**シダ植物**						
Psilotaceae	マツバラン科						
1 Psilotum nudum（Linn.）Beauv.	マツバラン					○	茨城－絶滅危惧種，環－絶滅危惧Ⅱ類
Lycopodiaceae	ヒカゲノカズラ科						
2 Lycopodium clavatum Linn.	ヒカゲノカズラ	○	○	○	○		
3 Lycopodium complanatum Linn.	アスヒカズラ	○	○				茨城－絶滅危惧種◎
4 Lycopodium obscurum Linn.	マンネンスギ	○	○				茨城－希少種
5 Lycopodium serratum Thunb.	トウゲシバ	○	○	○	○	○	
Selaginellaceae	イワヒバ科						
6 Selaginella involvens（Sw.）Spring	カタヒバ			○	○		茨城－希少種◎
7 Selaginella remotifolia Spring	クラマゴケ			○	○	○	
Isoetaceae	ミズニラ科						
8 Isoetes japonica A. Br.	ミズニラ	○			○	○	茨城－希少種，環－絶滅危惧Ⅱ類
Equisetaceae	トクサ科						
9 Equisetum arvense Linn.	スギナ	○	○	○	○	○	
10 Equisetum palustre Linn.	イヌスギナ			○			
11 Equisetum ramosissimum Desf.	イヌドクサ				○	○	海浜植物◎
Ophioglossaceae	ハナヤスリ科						
12 Botrychium japonicum（Prantl）Underv.	オオハナワラビ				○		
13 Botrychium ternatum（Thunb.）Sw.	フユノハナワラビ	○	○	○	○		
14 Botrychium virginianum（Linn.）Sw.	ナツノハナワラビ	○	○	○	○		
15 Ophioglossum vulgatum Linn.	ヒロハハナヤスリ	○					
Osmundaceae	ゼンマイ科						
16 Osmunda cinnamomea Linn. var. fokiensis Copel.	ヤマドリゼンマイ	○	○		○	○	県内稀産種◎
17 Osmunda japonica Thunb.	ゼンマイ	○	○	○	○	○	
18 Osmunda lancea Thunb.	ヤシャゼンマイ		○		○		茨城－危急種
Plagiogyriaceae	キジノオシダ科						
19 Plagiogyria euphlebia（Kunze）Mett.	オオキジノオ			○	○		
20 Plagiogyria japonica Nakai	キジノオシダ		○	○	○		県内稀産種◎
Gleicheniaceae	ウラジロ科						
21 Dicranopteris linearis（Burm. fil.）Underw.	コシダ			○		○	県内稀産種◎
22 Gleichenia japonica Spr.	ウラジロ			○	○	○	
Schizaceae	フサシダ科						
23 Lygodium japonicum（Thunb. ex Murray）Sw.	カニクサ			○	○		
Hymenophyllaceae	コケシノブ科						
24 Crepidomanes minutus（Blume）K. Iwats.	ウチワゴケ	○	○	○			
25 Hymenophyllum barbatum（v. d. Bosch）Baker	コウヤコケシノブ	○	○	○	○		
26 Hymenophyllum oligosorum Makino	キヨスミコケシノブ	○					茨城－希少種◎
27 Hymenophyllum polyanthos（Sw.）Sw.	ホソバコケシノブ	○					
28 Hymenophyllum wrightii v. d. Bosch	コケシノブ	○					
Lindsaeaceae	ホングウシダ科						
29 Sphenomeris chinensis（Linn.）Maxon	ホラシノブ			○	○	○	
Davalliaceae	シノブ科						
30 Davallia mariesii Moore ex Baker	シノブ	○	○				
Parkeriaceae	ミズワラビ科						
31 Adiantum monochlamys Eaton	ハコネシダ			○			
32 Adiantum pedatum Linn.	クジャクシダ		○	○	○		
33 Coniogramme intermedia Hieron.	イワガネゼンマイ			○	○		
34 Coniogramme x fauriei Hieron.	イヌイワガネソウ			○	○		
35 Coniogramme japonica（Thunb.）Diels	イワガネソウ			○	○		
36 Onychium japonicum（Thunb.）Kunze	タチシノブ			○		○	県内稀産種◎
Pteridaceae	イノモトソウ科						
37 Pteris cretica Linn.	オオバノイノモトソウ		○	○	○	○	
38 Pteris excelsa Gaud.	オオバノハチジョウシダ			○	○		茨城－危急種◎
39 Pteris multifida Poir.	イノモトソウ			○	○	○	
Blechnaceae	シシガシラ科						
40 Blechnum amabile Makino	オサシダ	○					
41 Struthiopteris niponica（Kunze）Nakai	シシガシラ	○	○	○	○	○	
42 Woodwardia orientalis Sw.	コモチシダ		○	○	○	○	海浜植物◎
Dryopteridaceae	オシダ科						
43 Arachniodes amabilis（Blume）Tindale	オオカナワラビ				○		県内稀産種◎
44 Arachniodes aristata（Forst.）Tindale	ホソバカナワラビ				○		茨城－希少種◎
45 Arachniodes borealis Serizawa	ホソバナライシダ	○	○	○	○	○	
46 Arachniodes miqueliana（Maxim.）Ohwi	ナンゴクナライシダ		○				
47 Arachniodes mutica（Franch. et Savat.）Ohwi	シノブカグマ		○				県内稀産種◎
48 Arachniodes simplicior（Makino）Ohwi	ハカタシダ		○	○	○		

	学名	和名	1	2	3	4	5	備考
49	Arachniodes simplicior（Makino）Ohwi var. major（Tagawa）Ohwi	オニカナワラビ			○	○		茨城－希少種◎
50	Arachniodes standishii（Moore）Ohwi	リョウメンシダ	○	○	○	○	○	
51	Ctenitis maximowicziana（Miq.）Ching	キヨスミヒメワラビ			○			茨城－希少種
52	Cyrtomium falcatum（Linn. fil.）Presl	オニヤブソテツ			○	○	○	海浜植物◎
53	Cyrtomium fortunei J. Sm.	ヤブソテツ	○	○	○	○	○	
54	Cyrtomium fortunei J. Sm. var. clivicola（Makino）Tagawa	ヤマヤブソテツ	○	○	○	○		◎
55	Dryopteris chinensis（Baker）Koidz.	ミサキカグマ	○	○	○	○	○	
56	Dryopteris crassirhizoma Nakai	オシダ	○	○	○	○		
57	Dryopteris erythrosora（Eaton）O. Kuntze	ベニシダ	○	○	○	○	○	
58	Dryopteris expansa（Pr.）Fr.-Jenkins et Jermy	シラネワラビ	○	○				茨城－希少種◎
59	Dryopteris hondoensis Koidz.	オオベニシダ		○	○	○	○	
60	Dryopteris lacera（Thunb. ex Murray）O. Kuntze	クマワラビ	○		○	○	○	
61	Dryopteris monticola（Makino）C. Chr.	ミヤマベニシダ	○	○	○	○		茨城－希少種
62	Dryopteris nipponensis Koidz.	トウゴクシダ		○	○	○	○	
63	Dryopteris pacifica（Nakai）Tagawa	オオイタチシダ			○	○	○	
64	Dryopteris polylepis（Franch. et Savat.）C. Chr.	ミヤマクマワラビ	○	○				
65	Dryopteris sabaei（Franch. et Savat.）C. Chr.	ミヤマイタチシダ	○	○	○	○	○	◎
66	Dryopteris sacrosancta Koidz.	ヒメイタチシダ			○			
67	Dryopteris saxifraga H. Ito	イワイタチシダ	○	○	○	○		
68	Dryopteris saxifragi-varia Nakai	イヌイワイタチシダ		○		○		
69	Dryopteris tokyoensis（Matsum. ex Makino）C. Chr.	タニヘゴ	○	○			○	
70	Dryopteris uniformis（Makino）Makino	オクマワラビ		○	○	○	○	
71	Dryopteris varia（Linn.）O. Kuntze var. setosa（Thunb.）Ohwi	ヤマイタチシダ	○	○	○	○	○	
72	Polystichum craspedosorum（Maxim.）Diels	ツルデンダ			○	○	○	県内稀産種◎
73	Polystichum fibrilloso-paleaceum（Kodama）Tagawa	アスカイノデ		○	○	○	○	
74	Polystichum longifrons Kurata	アイアスカイノデ			○	○	○	茨城－危急種
75	Polystichum ovato-paleaceum（Kodama）Kurata	ツヤナシイノデ	○	○	○	○		
76	Polystichum ovato-paleaceum（Kodama）Kurata var. coraiense（Christ）Kurata	イワシロイノデ	○	○	○	○		
77	Polystichum polyblepharum（Roem. ex Kunze）Presl	イノデ	○	○	○	○	○	◎
78	Polystichum retroso-paleaceum（Kodama）Tagawa	サカゲイノデ	○	○	○			
79	Polystichum tagawanum Kurata	イノデモドキ			○			茨城－希少種◎
80	Polystichum tripteron（Kunze）Presl	ジュウモンジシダ	○	○	○	○		
81	Polystichum tsus-simense（Hook.）J. Sm.	ヒメカナワラビ			○			茨城－希少種
Thelypteridaceae		ヒメシダ科						
82	Phegopteris decursive-pinnata（van Hall）Fe'e	ゲジゲジシダ		○	○	○	○	
83	Stegnogramma pozoi（Lagasca）Ching subsp. mollissima（Fischer ex Kunze）Nakaike	ミゾシダ	○	○	○	○	○	
84	Thelypteris acuminata（Houtt.）Morton	ホシダ				○	○	
85	Thelypteris glanduligera（Kunze）Ching	ハシゴシダ			○	○	○	◎
86	Thelypteris japonica（Baker）Ching	ハリガネワラビ	○	○	○	○	○	
87	Thelypteris japonica（Baker）Ching var. formosa（C. Chr.）Nakaike	イワハリガネワラビ	○	○	○			
88	Thelypteris laxa（Franch. et Savat.）Ching	ヤワラシダ	○	○	○	○	○	
89	Thelypteris nipponica（Franch. et Savat.）Ching	ニッコウシダ	○	○				茨城－希少種
90	Thelypteris nipponica（Franch. et Savat.）Ching var. borealis（Hara）Hara	ケヒメシダ		○				
91	Thelypteris palustris（Salisb.）Schott	ヒメシダ	○	○	○	○	○	
92	Thelypteris phegopteris（Linn.）Slosson ex Rydb.	ミヤマワラビ	○	○				
93	Thelypteris torresiana（Gaud.）Alston var. calvata（Bak.）K. Iwats.	ヒメワラビ		○	○	○		
94	Thelypteris viridifrons Tagawa	ミドリヒメワラビ		○	○	○	○	
Athyriaceae		メシダ科						
95	Athyrium clivicola Tagawa	カラクサイヌワラビ	○					茨城－希少種
96	Athyrium deltoidofrons Makino	サトメシダ	○	○		○		
97	Athyrium iseanum Rosenst.	ホソバイヌワラビ				○		
98	Athyrium mesosorum（Makino）Makino	ヌリワラビ			○			
99	Athyrium niponicum（Mett.）Hance	イヌワラビ	○	○	○	○	○	
100	Athyrium vidalii（Franch. et Savat.）Nakai	ヤマイヌワラビ	○	○	○	○	○	
101	Athyrium wardii（Hook.）Makino	ヒロハイヌワラビ			○	○	○	
102	Athyrium yokoscense（Franch. et Savat.）Christ	ヘビノネゴザ	○	○	○	○	○	
103	Cornopteris christenseniana（Koidz.）Tagawa	ハコネシケチシダ			○			
104	Cornopteris crenulatoserrulata（Makino）Nakai	イッポンワラビ	○	○	○	○		
105	Cornopteris decurrenti-alata（Hook.）Nakai	シケチシダ	○	○	○	○		
106	Deparia conilii（Franch. et Savat.）Kurata	ホソバシケシダ	○	○	○	○	○	
107	Deparia conilii x D.japonica	オオホソバシケシダ		○		○		
108	Deparia dimorphophylla（Koidz.）M. Kato	セイタカシケシダ			○			
109	Deparia japonica（Thunb.）Kurata	シケシダ		○	○	○	○	
110	Deparia okuboana（Makino）M. Kato	オオヒメワラビ	○	○	○			
111	Deparia pycnosora（Christ）M. Kato	ミヤマシケシダ	○	○	○	○	○	
112	Deparia pycnosora（Christ）M. Kato var. albosquamata M. Kato	ハクモウイノデ		○		○		
113	Deparia viridifrons（Makino）M. Kato	ミドリワラビ			○			
114	Diplazium nipponicum Tagawa	オニヒカゲワラビ			○			茨城－危急種◎
115	Diplazium sibiricum（Turcz. ex Kunze）Kurata var. glabrum（Tagawa）Kurata	ミヤマシダ	○	○				県内稀産種◎
116	Diplazium squamigerum（Mett.）Matsum.	キヨタキシダ	○	○	○	○		
117	Diplazium subsinuatum（Wall. ex Hook. et Grev.）Tagawa	ヘラシダ				○		茨城－希少種◎
118	Diplazium wichurae（Mett.）Diels	ノコギリシダ				○		茨城－危急種◎
119	Matteuccia orientalis（Hook.）Trev.	イヌガンソク	○	○	○	○	○	
120	Matteuccia struthiopteris（Linn.）Todaro	クサソテツ	○	○	○	○		
121	Onoclea sensibilis Linn. var. interrupta Maxim.	コウヤワラビ	○	○		○		
122	Woodsia manchuriensis Hook.	フクロシダ	○	○				
123	Woodsia polystichoides Eaton	イワデンダ		○				
Polypodiaceae		ウラボシ科						
124	Crypsinus hastatus（Thunb.）Copel.	ミツデウラボシ		○	○	○	○	
125	Lemmaphyllum microphyllum Presl	マメヅタ	○		○	○		

学名	和名	1	2	3	4	5	備考
126 Lepisorus annuifrons（Makino）Ching	ホテイシダ	○	○		○		茨城－希少種◎
127 Lepisorus onoei（Franch. et Savat.）Ching	ヒメノキシノブ	○	○				
128 Lepisorus thunbergianus（Kaulf.）Ching	ノキシノブ	○	○	○	○	○	
129 Neocheiropteris ensata（Thunb.）Ching	クリハラン				○		茨城－危急種◎
130 Pyrrosia linearifolia（Hook.）Ching	ビロードシダ	○	○	○			県内稀産種◎
Grammitidaceae	ヒメウラボシ科						
131 Xiphopteris okuboi（Yatabe）Copel.	オオクボシダ	○	○		○		茨城－危急種◎
Dennstaedtiaceae	コバノイシカグマ科						
132 Dennstaedtia hirsuta（Sw.）Mett. ex Miq.	イヌシダ	○	○	○	○	○	
133 Dennstaedtia scabra（Wall. ex Hook.）Moore	コバノイシカグマ			○			茨城－希少種◎
134 Dennstaedtia wilfordii（Moore）Christ	オウレンシダ	○	○	○	○		
135 Hypolepis punctata（Thunb.）Mett. ex Kuhn	イワヒメワラビ			○	○	○	
136 Microlepia marginata（Panzer）C. Chr.	フモトシダ			○	○	○	県内稀産種◎
137 Pteridium aquilinum（Linn.）Kuhn var. latiusculum（Desv.）Underw. ex Hell.	ワラビ	○	○	○	○	○	
Aspleniaceae	チャセンシダ科						
138 Asplenium incisum Thunb.	トラノオシダ	○	○	○	○	○	
139 Asplenium ruprechtii Kurata	クモノスシダ			○			茨城－希少種◎
140 Asplenium sarelii Hook.	コバノヒノキシダ		○	○			県内稀産種◎
141 Asplenium tenuicaule Hayata	イワトラノオ		○	○			
SPERMATOPHYTA	**種子植物**						
GYMNOSPERMATA	**裸子植物**						
Pinaceae	マツ科						
142 Abies firma Sieb. et Zucc.	モミ	○	○	○	○		
143 Pinus densiflora Sieb. et Zucc.	アカマツ	○	○	○	○	○	
144 Pinus parviflora Sieb. et Zucc.	ヒメコマツ（ゴヨウマツ）	○					茨城－危急種◎
145 Pinus thunbergii Parl.	クロマツ			○		○	
Taxodiaceae	スギ科						
146 Cryptomeria japonica（Linn. fil.）D. Don	スギ	○	○	○	○	○	植栽
Cupressaceae	ヒノキ科						
147 Chamaecyparis obtusa（Sieb. et Zucc.）Sieb. et Zucc.	ヒノキ	○	○	○	○		植栽
148 Chamaecyparis pisifera（Sieb. et Zucc.）Endl.	サワラ		○				植栽
149 Juniperus chinensis Linn.	イブキ					○	茨城－危急種◎
150 Juniperus conferta Parl.	ハイネズ					○	海浜植物◎
151 Thujopsis dolabrata（Linn. fil.）Sieb. et Zucc.	アスナロ	○	○		○		植栽
Podacarpaceae	マキ科						
152 Podocarpus macrophyllus（Thunb.）Lamb.	イヌマキ					○	植栽
Cephalotaxaceae	イヌガヤ科						
153 Cephalotaxus harringtonia（Knight）K. Koch	イヌガヤ	○	○	○	○	○	
Taxaceae	イチイ科						
154 Torreya nucifera（Linn.）Sieb. et Zucc.	カヤ	○	○	○	○		
ANGIOSPERMAE	**被子植物**						
DICOTYLEDONEAE	**双子葉植物**						
CHORIPETALAE	**離弁花類**						
Juglandaceae	クルミ科						
155 Juglans ailanthifolia Carr.	オニグルミ	○	○		○	○	
156 Pterocarya rhoifolia Sieb. et Zucc.	サワグルミ	○	○				
Salicaceae	ヤナギ科						
157 Populus sieboldii Miq.	ヤマナラシ			○			
158 Salix bakko Kimura	バッコヤナギ	○	○	○	○		
159 Salix eriocarpa Franch. et Savat.	ジャヤナギ			○			
160 Salix futura Seemen	オオキツネヤナギ		○	○		○	
161 Salix gracilistyla Miq.	ネコヤナギ	○	○	○		○	
162 Salix integra x S. bakko	イヌコリヤナギ×バッコヤナギ			○			
163 Salix integra x S. sachalinensis	イヌコリヤナギ×オノエヤナギ			○			
164 Salix integra x vulpina	イヌコリヤナギ×キツネヤナギ			○			
165 Salix integra Thunb.	イヌコリヤナギ	○	○	○	○		
166 Salix sachalinensis Fr. Schm.	オノエヤナギ	○	○	○	○		
167 Salix serissaefolia Kimura	コゴメヤナギ			○			
168 Salix subfragilis Anders.	タチヤナギ			○	○		
169 Salix vulpina Anders.	キツネヤナギ	○		○	○		
Betulaceae　カバノキ科							
170 Alnus firma Sieb. et Zucc.	ヤシャブシ	○	○	○	○	○	
171 Alnus firma Sieb. et Zucc. var. hirtella Franch. et Savat.	ミヤマヤシャブシ	○	○	○	○		
172 Alnus hirsuta Turcz.	ケヤマハンノキ	○	○		○		
173 Alnus hirsuta Turcz. var. sibirica（Fischer）C. K. Schn.	ヤマハンノキ	○	○		○		
174 Alnus japonica（Thunb.）Steud.	ハンノキ		○	○	○		
175 Alnus sieboldiana Matsum.	オオバヤシャブシ	○	○	○		○	
176 Alnus trabeculosa Hand.-Mazz.	サクラバハンノキ				○		茨城－危急種，環－準絶滅危惧種◎
177 Betula maximowicziana Regel	ウダイカンバ		○				茨城－希少種◎
178 Betula platyphylla Sukatchev var. japonica（Miq.）Hara	シラカンバ	○					茨城－希少種
179 Betula schmidtii Regel	オノオレカンバ	○	○				茨城－希少種◎
180 Butula grossa Sieb. et Zucc.	ミズメ	○	○				
181 Carpinus cordata Blume	サワシバ	○	○	○	○		
182 Carpinus japonica Blume	クマシデ	○	○	○	○		
183 Carpinus laxiflora（Sieb. et Zucc.）Blume	アカシデ	○	○	○	○	○	
184 Carpinus tschonoskii Maxim.	イヌシデ	○	○	○	○	○	
185 Corylus heterophylla Fisch. ex Besser var. thunbergii Blume	ハシバミ					○	
186 Corylus sieboldiana Blume	ツノハシバミ	○	○		○		
187 Ostrya japonica Sarg.	アサダ	○		○	○		
Fagaceae	ブナ科						

学名	和名	1	2	3	4	5	備考
188 Castanea crenata Sieb. et Zucc.	クリ	○	○	○	○	○	
189 Castanopsis cuspidata（Thunb.）Schottky var. sieboldii（Makino）Nakai	スダジイ			○	○	○	
190 Fagus crenata Blume	ブナ	○	○				
191 Fagus japonica Maxim.	イヌブナ	○	○	○	○		
192 Quercus acuta Thunb. ex Murray	アカガシ		○	○	○	○	
193 Quercus acutissima Carr.	クヌギ	○	○	○	○		
194 Quercus crispula Blume	ミズナラ	○	○		○	○	
195 Quercus dentata Thunb.	カシワ				○		
196 Quercus glauca Thunb.	アラカシ				○		
197 Quercus myrsinaefolia Blume	シラカシ		○	○	○	○	
198 Quercus salicina Blume	ウラジロガシ		○	○	○		
199 Quercus serrata Thunb.	コナラ	○	○	○	○	○	
200 Quercus sessilifolia Blume	ツクバネガシ		○	○	○		
201 Quercus takaoyamensis Makino	オオツクバネガシ		○				
Ulmaceae	ニレ科						
202 Celtis jessoensis Koidz.	エゾエノキ	○					
203 Celtis sinensis Pers. var. japonica（Planch.）Nakai	エノキ			○	○	○	
204 Ulmus japonica（Rehd.）Sarg.	ハルニレ	○	○				
205 Ulmus laciniata（Trautv.）Mayr	オヒョウ	○					
206 Zelkova serrata（Thunb.）Makino	ケヤキ	○	○	○	○	○	
Moraceae	クワ科						
207 Broussonetia kazinoki Sieb.	ヒメコウゾ	○	○	○	○	○	
208 Fatoua villosa（Thunb.）Nakai	クワクサ			○	○	○	
209 Ficus sarmentosa Roxb. var. nipponica（Franch. et Savat.）Corner	イタビカズラ		○	○	○	○	
210 Humulus japonicus Sieb. et Zucc.	カナムグラ	○	○	○	○	○	
211 Humulus lupulus Linn. var. cordifolius（Miq.）Maxim.	カラハナソウ	○	○	○	○		
212 Morus alba Linn.	マグワ	○	○	○	○	○	
Urticaceae	イラクサ科						
213 Boehmeria biloba Wedd.	ラセイタソウ					○	海浜植物◎
214 Boehmeria gracilis C. H. Wright	クサコアカソ	○	○	○	○		
215 Boehmeria holosericea Blume	オニヤブマオ			○			
216 Boehmeria japonica（Linn. fil.）Miq. var. longispica（Steud.）Yahara	ヤブマオ	○		○	○		
217 Boehmeria nipononivea Koidz.	カラムシ			○	○	○	
218 Boehmeria nipononivea Koidz. var. concolor（Makino）Ohwi	アオカラムシ			○	○		
219 Boehmeria platanifolia Franch. et Savat. ex C. H. Wright	メヤブマオ		○	○	○	○	
220 Boehmeria sieboldiana Blume	ナガバヤブマオ			○	○		県内稀産種◎
221 Boehmeria spicata（Thunb.）Thunb.	コアカソ	○	○	○	○	○	
222 Elatostema laetevirens Makino	ヤマトキホコリ		○	○	○		県内稀産種◎
223 Elatostema umbellatum Blume var. majus Maxim.	ウワバミソウ	○	○	○	○		
224 Laportea bulbifera（Sieb. et Zucc.）Weddell	ムカゴイラクサ	○	○	○	○		
225 Laportea macrostachya（Maxim.）Ohwi	ミヤマイラクサ	○		○			県内稀産種◎
226 Nanocnide japonica Blume	カテンソウ	○	○	○	○	○	
227 Pilea hamaoi Makino	ミズ	○	○	○	○	○	
228 Pilea japonica（Maxim.）Hand.-Mazz.	ヤマミズ	○		○	○		
229 Pilea mongolica Weddell	アオミズ	○	○	○	○		
230 Urtica thunbergiana Sieb. et Zucc.	イラクサ	○			○		
Santalaceae	ビャクダン科						
231 Thesium chinense Turcz.	カナビキソウ			○		○	
Loranthaceae	ヤドリギ科						
232 Viscum album Linn. var. coloratum（Komarov）Ohwi	ヤドリギ	○					
Balanophoraceae	ツチトリモチ科						
233 Balanophora nipponica Makino	ミヤマツチトリモチ	○					茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
Polygonaceae	タデ科						
234 Antenoron filiforme Thunb.	ミズヒキ	○	○	○	○	○	
235 Antenoron neo-filiforme（Nakai）Hara	シンミズヒキ	○	○	○	○		
236 Bistorta tenuicaulis（Bisset et Moore）Nakai	ハルトラノオ	○	○		○		
237 Persicaria conspicua（Nakai）Nakai	サクラタデ	○			○		
238 Persicaria debilis（Meisn.）H. Gross	ミヤマタニソバ	○	○	○	○		
239 Persicaria hydropiper（Linn.）Spach	ヤナギタデ	○	○	○	○		
240 Persicaria japonica（Meisn.）H. Gross	シロバナサクラタデ				○	○	
241 Persicaria longiseta（De Bruyn）Kitagawa	イヌタデ	○	○	○	○	○	
242 Persicaria makinoi（Nakai）Nakai	オオネバリタデ		○				
243 Persicaria nepalenssis（Meisn.）H. Gross	タニソバ	○	○	○			
244 Persicaria nipponensis（Makino）H. Gross	ヤノネグサ	○	○		○	○	
245 Persicaria perfoliata（Linn.）H. Gross	イシミカワ			○		○	
246 Persicaria pubescens（Blume）Hara	ボントクタデ		○	○			
247 Persicaria scabra（Moench）Mold.	サナエタデ		○	○			
248 Persicaria senticosa（Franch. et Savat.）H. Gross	ママコノシリヌグイ		○	○	○	○	
249 Persicaria sieboldii（Meisn.）Ohki	アキノウナギツカミ	○	○	○	○		
250 Persicaria tenuiflora（Presl）Hara	オオイヌタデ	○	○	○	○	○	
251 Persicaria thunbergii（Sieb. et Zucc.）H. Gross	ミゾソバ	○	○	○	○	○	
252 Persicaria thunbergii（Sieb. et Zucc.）H. Gross var. hastatotriloba Miyabe	オオミゾソバ		○				
253 Persicaria viscofera（Makino）H. Gross	ネバリタデ		○	○			
254 Persicaria yokusaiana（Makino）Nakai	ハナタデ	○	○	○	○	○	
255 Pleuropterus multiflorum（Thunb.）Turcz.	ツルドクダミ			○		○	帰化
256 Polygonum aviculare Linn.	ミチヤナギ					○	
257 Reynoutria japonica Houtt.	イタドリ	○	○	○	○	○	
258 Reynoutria japonica Houtt. form. elata Hiyama	ベニイタドリ			○			
259 Reynoutria sachalinensis（Fr. Schm.）Nakai	オオイタドリ		○			○	
260 Rumex acetosa Linn.	スイバ	○	○	○	○	○	

学名	和名	1	2	3	4	5	備考
261 Rumex acetosella Linn.	ヒメスイバ	○	○	○	○	○	帰化
262 Rumex conglomeratus Murr.	アレチギシギシ					○	帰化
263 Rumex japonicus Houtt.	ギシギシ			○		○	
264 Rumex obtusifolius Linn.	エゾノギシギシ	○		○	○	○	帰化
Phytolaccaceae	ヤマゴボウ科						
265 Phytolacca americana Linn.	ヨウシュヤマゴボウ	○	○	○	○	○	帰化
Aizoaceae	ハマミズナ科						
266 Tetragonia tetragonoides（Pall.）O. Kuntze	ツルナ					○	
Portulacaceae	スベリヒユ科						
267 Portulaca oleracea Linn.	スベリヒユ					○	
Caryophyllaceae	ナデシコ科						
268 Arenaria serpyllifolia Linn.	ノミノツヅリ					○	
269 Cerastium glomeratum Thuill.	オランダミミナグサ	○	○	○	○	○	帰化
270 Cerastium holosteoides Fries var. angustifolium（Franch.）Mizushima	ミミナグサ	○	○	○	○	○	
271 Cucubalus baccifer Linn. var. japonicus Miq.	ナンバンハコベ	○	○	○	○		
272 Dianthus japonicus Thunb.	ハマナデシコ					○	茨城－危急種◎
273 Dianthus superbus Linn. var. longicalycinus（Maxim.）Williams	カワラナデシコ	○	○			○	
274 Lychnis miqueliana Rohrb.	フシグロセンノウ	○	○	○			
275 Moehringia lateriflora（Linn.）Fenzl	オオヤマフスマ			○			
276 Pseudostellaria japonica（Korsh.）Pax	ナンブワチガイソウ	○	○				茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
277 Pseudostellaria palibiniana（Takeda）Ohwi	ヒゲネワチガイソウ	○	○				
278 Sagina japonica（Sw.）Ohwi	ツメクサ	○			○	○	
279 Sagina maxima A. Gray	ハマツメクサ					○	海浜植物◎
280 Silene armeria Linn.	ムシトリナデシコ					○	逸出
281 Silene firma Sieb. et Zucc.	フシグロ	○	○				
282 Silene firma Sieb. et Zucc. form. pubescens（Makino）Ohwi et Ohashi	ケフシグロ		○				
283 Silene gallica Linn. var. quinquevulnera（Linn.）Rohrb.	マンテマ					○	帰化
284 Stellaria alsine Grimm var. undulata（Thunb.）Ohwi	ノミノフスマ	○	○	○	○		
285 Stellaria aquatica（Linn.）Scop.	ウシハコベ	○	○	○	○	○	
286 Stellaria diversiflora Maxim.	サワハコベ	○	○	○	○		
287 Stellaria media（Linn.）Villars	コハコベ	○	○	○	○	○	帰化
288 Stellaria monosperma Hamilt. var. japonica Maxim.	オオヤマハコベ		○	○	○		
289 Stellaria sessiliflora Yabe	ミヤマハコベ	○	○	○	○		
Chenopodiaceae	アカザ科						
290 Atriplex hastata Linn.	ホコガタアカザ					○	帰化
291 Chenopodium acuminatum Willd.	マルバアカザ					○	
292 Chenopodium album Linn.	シロザ		○	○	○	○	
293 Chenopodium ambrosioides（Linn.）Spach var. pubescens Makino	ケアリタソウ			○	○	○	帰化
294 Chenopodium centrorubrum（Makino）Nakai	アカザ					○	
295 Salsola komarovii Iljin	オカヒジキ					○	海浜植物◎
Amaranthaceae	ヒユ科						
296 Achyranthes bidentata Bl. var. japonica Miq.	イノコズチ	○	○	○	○	○	
297 Achyranthes fauriei Le'v. et Van.	ヒナタイノコズチ	○	○	○	○	○	
298 Achyranthes longifolia（Makino）Makino	ヤナギイノコズチ			○			
299 Achyranthes rotundifolia M. Suzuki	マルバイノコズチ	○					茨城－絶滅種
300 Amaranthus lividus Linn.	イヌビユ		○				帰化
Magnoliaceae	モクレン科						
301 Illicium regligiosum Sieb. et Zucc.	シキミ		○	○	○	○	
302 Magnolia hypoleuca Sieb. et Zucc.	ホオノキ	○	○	○	○	○	
303 Magnolia praecocissima Koidz.	コブシ		○	○			
304 Schisandra repanda（Sieb. et Zucc.）Radlk.	マツブサ	○	○	○			
Schisandraceae	マツブサ科						
305 Kadsura japonica（Thunb.）Dunal	サネカズラ			○	○	○	
Lauraceae	クスノキ科						
306 Actinodaphne lancifolia（Sieb. et Zucc.）Meisn.	カゴノキ			○	○		茨城－希少種◎
307 Cinnamomum camphora（Linn.）Presl	クスノキ		○	○	○		
308 Cinnamomum japonicum Sieb. ex Nakai	ヤブニッケイ			○	○		県内稀産種◎
309 Cinnamomum sieboldii Meisn.	ニッケイ			○	○	○	逸出
310 Lindera glauca（Sieb. et Zucc.）Blume	ヤマコウバシ			○			
311 Lindera obtusiloba Blume	ダンコウバイ		○	○	○		
312 Lindera praecox（Sieb. et Zucc.）Blume	アブラチャン		○	○	○	○	
313 Lindera umbellata Thunb.	クロモジ	○	○	○	○		
314 Neolitsea sericea（Blume）Koidz.	シロダモ		○	○	○	○	
315 Persea tnunbergii（Sieb. et Zucc.）Kosterm.	タブノキ			○	○	○	
Eupteleaceae	フサザクラ科						
316 Euptelea polyandra Sieb. et Zucc.	フサザクラ	○	○	○	○		
Cercidiphyllaceae	カツラ科						
317 Cercidiphyllum japonicum Sieb. et Zucc.	カツラ	○	○	○	○		
Ranunculaceae	キンポウゲ科						
318 Aconitum tsukubense Nakai	ツクバトリカブト	○	○				
319 Actaea asiatica Hara	ルイヨウショウマ	○					県内稀産種◎
320 Adonis amurensis Regel et Radde	フクジュソウ	○					茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類
321 Anemone debilis Fisch.	ヒメイチゲ	○	○				県内稀産種◎
322 Anemone flaccida Fr. Schm.	ニリンソウ	○	○	○	○		
323 Anemone pseudo-altaica Hara	キクザキイチゲ	○	○	○	○		
324 Anemone raddeana Regel	アズマイチゲ	○					
325 Anemonopsis macrophylla Sieb. et Zucc.	レンゲショウマ	○	○				茨城－希少種
326 Caltha palustris Linn. var. nipponica Hara	リュウキンカ		○				茨城－危急種◎
327 Cimicifuga acerina（Sieb. et Zucc.）C. Tanaka	オオバショウマ	○	○				
328 Cimicifuga simplex Wormsk.	サラシナショウマ	○	○	○	○		

学名	和名	1	2	3	4	5	備考
329 Clematis apiifolia DC.	ボタンヅル	○	○	○	○		
330 Clematis apiifolia DC. var. biternata Makino	コボタンヅル	○	○	○	○		
331 Clematis japonica Thunb.	ハンショウヅル	○	○	○	○		
332 Clematis stans Sieb. et Zucc.	クサボタン			○			
333 Clematis terniflora DC.	センニンソウ		○	○	○	○	
334 Coptis japonica（Thunb.）Makino var. major（Miq.）Satake	コセリバオウレン	○	○		○	○	
335 Isopyrum trachyspermum Maxim.	トウゴクサバノオ	○	○	○	○		
336 Ranunculus cantoniensis DC.	ケキツネノボタン				○	○	
337 Ranunculus japonicus Thunb.	ウマノアシガタ	○	○	○	○	○	
338 Ranunculus repens Linn.	ハイキンポウゲ					○	逸出
339 Ranunculus sceleratus Linn.	タガラシ				○		
340 Ranunculus silerifolius Le'v.	キツネノボタン	○	○	○	○	○	
341 Thalictrum minus Linn. var. hypoleucum（Sieb. et Zucc.）Miq.	アキカラマツ	○	○	○	○	○	
342 Thalictrum rochebrunianum Franch. et Savat.	シキンカラマツ	○	○				茨城－希少種◎
Berberidaceae	メギ科						
343 Berberis thunbergii DC.	メギ	○	○	○	○		
344 Caulophyllum robustum Maxim.	ルイヨウボタン	○					
345 Epimedium grandiflorum Morr. var. thunbergianum（Miq.）Nakai	イカリソウ				○		
346 Mahonia japonica DC.	ヒイラギナンテン				○	○	逸出
347 Nandina domestica Thunb.	ナンテン			○	○	○	逸出
Lardizabalaceae	アケビ科						
348 Akebia quinata（Thunb.）Decne.	アケビ	○	○	○	○	○	
349 Akebia trifoliata（Thunb.）Koidz.	ミツバアケビ	○	○	○	○	○	
350 Akebia x pentaphylla Makino	ゴヨウアケビ	○			○		
351 Stauntonia hexaphylla（Thunb.）Decne.	ムベ			○	○		県内稀産種◎
Menispermaceae	ツヅラフジ科						
352 Cocculus orbiculatus（Thunb.）DC.	アオツヅラフジ		○	○	○	○	
353 Sinomenium acutum（Thunb.）Rehd. et Wils.	ツヅラフジ			○	○		県内稀産種◎
Nymphaeaceae	スイレン科						
354 Nuphar japonicum DC.	コウホネ		○				
355 Nymphaea tetragona Georgi	ヒツジグサ			○	○		茨城－希少種◎
Saururaceae	ドクダミ科						
356 Houttuynia cordata Thunb.	ドクダミ	○	○	○	○	○	
Chloranthaceae	センリョウ科						
357 Chloranthus glaber（Thunb.）Makino	センリョウ					○	逸出
358 Chloranthus japonicus Sieb.	ヒトリシズカ	○	○	○	○		
359 Chloranthus serratus（Thunb.）Roem. et Schult.	フタリシズカ	○	○	○	○		
Aristolochiaceae	ウマノスズクサ科						
360 Asarum caulescens Maxim.	フタバアオイ	○	○	○	○		
361 Asiasarum sieboldii（Miq.）F. Maekawa	ウスバサイシン	○	○		○		
Paeoniaceae	ボタン科						
362 Paeonia japonica（Makino）Miyabe et Takeda	ヤマシャクヤク	○					茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
363 Paeonia japonica（Makino）Miyabe et Takeda form. hirsuta Hara	ケヤマシャクヤク	○					茨城－危急種
Actinidiaceae	マタタビ科						
364 Actinidia arguta（Sieb. et Zucc.）Planch. ex Miq.	サルナシ	○	○	○	○	○	
365 Actinidia chinensis Planch.	オニマタタビ				○		逸出
366 Actinidia polygama（Sieb. et Zucc.）Planch. et Maxim.	マタタビ	○	○	○	○		
Theaceae	ツバキ科						
367 Camellia japonica Linn.	ヤブツバキ	○	○	○	○	○	
368 Cleyera japonica Thunb.	サカキ		○	○	○	○	県内稀産種◎
369 Eurya japonica Thunb.	ヒサカキ		○	○	○	○	
370 Stewartia pseudo-camellia Maxim.	ナツツバキ	○	○				
371 Ternstroemia gymnanthera（Wight et Arn.）Beddome	モッコク					○	逸出
372 Thea sinensis Linn.	チャノキ			○	○	○	逸出
Guttiferae	オトギリソウ科						
373 Hypericum ascyron Linn.	トモエソウ	○	○	○	○		
374 Hypericum erectum Thunb.	オトギリソウ	○	○	○	○	○	
375 Sarothra laxum（Blume）Y. Kimura	コケオトギリ	○	○	○	○		
376 Triadenum japonicum（Blume）Makino	ミズオトギリ		○				
Droseraceae	モウセンゴケ科						
377 Drosera rotundifolia Linn.	モウセンゴケ	○	○			○	
378 Drosera spathulata Labill.	コモウセンゴケ				○		茨城－絶滅危惧種◎
Papaveraceae	ケシ科						
379 Chelidonium japonicum Thunb.	ヤマブキソウ	○	○				茨城－希少種
380 Chelidonium japonicum Thunb. form. dissectum（Fr. et Sav.）Ohwi	セリバヤマブキソウ	○					
381 Chelidonium japonicum Thunb. form. lanceolatum（Yatabe）Ohwi	ホソバヤマブキソウ	○					
382 Chelidonium majus Linn. var. asiaticum（Hara）Ohwi	クサノオウ	○	○	○	○		
383 Corydalis decumbens（Thunb.）Pers.	ジロボウエンゴサク	○	○		○		
384 Corydalis incisa（Thunb.）Pers.	ムラサキケマン	○	○	○	○		
385 Corydalis linearilobа Sieb. et Zucc.	ヤマエンゴサク	○	○		○		
386 Corydalis pallida（Thunb.）Pers. var. tenuis Yatabe	ミヤマキケマン	○	○	○	○		
387 Corydalis raddeana Regel	ナガミノツルケマン	○	○		○		環－準絶滅危惧種
388 Macleyana cordata（Willd.）R. Br.	タケニグサ	○	○	○	○		
389 Macleyana cordata（Willd.）R. Br. var. thunbergii（Miq.）Miq.	ケナシチャンパギク		○	○			
Cruciferae	アブラナ科						
390 Arabis hirsuta（Linn.）Scop.	ヤマハタザオ	○	○	○	○		
391 Arabis stelleri DC. var. japonica（A. Gray）Fr. Schm.	ハマハタザオ					○	海浜植物◎
392 Brassica juncea（Linn.）Czern.	カラシナ					○	帰化
393 Capsella bursa-pastoris（Linn.）Medic.	ナズナ	○	○	○	○	○	
394 Cardamine flexuosa With.	タネツケバナ	○	○		○	○	

学名	和名	1	2	3	4	5	備考
395 Cardamine impatiens Linn.	ジャニンジン	○	○	○	○		
396 Cardamine leucantha（Tausch）O. E. Schulz	コンロンソウ	○					
397 Cardamine scutata Thunb.	ヤマタネツケバナ	○	○	○	○		
398 Cardamine tanakae Franch. et Savat.	マルバコンロンソウ	○	○	○			
399 Draba nemorosa Linn.	イヌナズナ	○	○				
400 Lepidium virginicum Linn.	マメグンバイナズナ				○	○	帰化
401 Nasturtium officinale R. Br.	オランダガラシ		○	○	○	○	帰化
402 Rorippa dubia（Pers.）Hara	ミチバタガラシ				○	○	
403 Rorippa indica（Linn.）Hochr.	イヌガラシ	○	○	○	○	○	
404 Rorippa islandica（Oeder）Borb.	スカシタゴボウ				○		
405 Wasabia japonica（Miq.）Matsum.	ワサビ		○				
406 Wasabia tenuis（Miq.）Matsum.	ユリワサビ	○	○	○	○		
Hamamelidaceae	マンサク科						
407 Hamamelis japonica Sieb. et Zucc. var. megalophylla（Koidz.）Kitam.	オオバマンサク	○	○	○	○		
Crassulaceae	ベンケイソウ科						
408 Sedum sp.	オカタイトゴメ					○	
409 Sedum bulbiferum Makino	コモチマンネングサ			○	○	○	
410 Sedum kamtschaticum Fisch.	キリンソウ					○	
411 Sedum sarmentosum Bunge	ツルマンネングサ			○		○	帰化
412 Sedum verticillatum Linn.	ミツバベンケイソウ	○					
Saxifragaceae	ユキノシタ科						
413 Astilbe microphylla Knoll	チダケサシ	○	○		○	○	
414 Astilbe odontophylla Miq.	トリアシショウマ	○	○	○	○		
415 Astilbe thunbergii（Sieb. et Zucc.）Miq.	アカショウマ	○	○	○	○		
416 Cardiandra alternifolia Sieb. et Zucc.	クサアジサイ	○	○	○	○		
417 Chrysosplenium album Maxim. var. stamineum（Franch. et Savat.）Hara	ハナネコノメ	○	○	○	○		
418 Chrysosplenium echinus Maxim.	イワネコノメソウ	○	○				県内稀産種◎
419 Chrysosplenium flagelliferum Fr. Schm.	ツルネコノメソウ	○	○	○	○		
420 Chrysosplenium grayanum Maxim.	ネコノメソウ	○	○	○	○		
421 Chrysosplenium japonicum（Maxim.）Makino	ヤマネコノメソウ	○	○	○	○		
422 Chrysosplenium kamtschaticum Fisch. ex Seringe var. aomorense（Franch.）Hara	ミチノクネコノメソウ	○	○				
423 Chrysosplenium macrostemon Maxim. var. atrandrum Hara	ヨゴレネコノメ	○	○	○	○	○	
424 Chrysosplenium maximowiczii Franch. et Savat.	ムカゴネコノメソウ	○	○	○	○		環－準絶滅危惧種
425 Deinanthe bifida Maxim.	ギンバイソウ	○					茨城－危急種◎
426 Deutzia crenata Sieb. et Zucc.	ウツギ	○	○	○	○	○	
427 Deutzia gracilis Sieb. et Zucc.	ヒメウツギ	○	○	○	○		
428 Hydrangea hirta（Thunb. ex Murray）Sieb.	コアジサイ	○	○	○	○	○	
429 Hydrangea involucrata Sieb.	タマアジサイ	○	○	○	○	○	
430 Hydrangea macrorhylla（Thunb.）Ser. var. acuminata（Sieb. et Zucc.）Makino	ヤマアジサイ	○	○	○	○		
431 Hydrangea paniculata Sieb.	ノリウツギ	○	○	○	○		
432 Hydrangea petiolaris Sieb. et Zucc.	ツルアジサイ	○	○	○	○		
433 Mitella pauciflora Rosend.	コチャルメルソウ	○	○		○		
434 Parnassia palustris Linn. var. multiseta Ledeb.	ウメバチソウ	○	○				
435 Philadelphus satsumi Sieb. ex Lindl. et Paxton form. nikoensis（Rehd.）Ohwi	ケバイカウツギ	○		○			
436 Ribes ambiguum Maxim.	ヤシャビシャク	○					茨城－絶滅危惧種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
437 Ribes sinanense F. Maekawa	スグリ	○					逸出
438 Rodgersia podophylla A. Gray	ヤグルマソウ	○					茨城－危急種◎
439 Saxifraga fortunei Hook. fil. var. incisolobata（Engler et Irmsch.）Nakai	ダイモンジソウ	○	○				
440 Saxifraga stolonifera Curtis	ユキノシタ	○		○	○	○	
441 Schizophragma hydrangeoides Sieb. et Zucc.	イワガラミ	○	○	○	○		
Pittosporaceae	トベラ科						
442 Pittosporum tobira（Thunb.）Ait.	トベラ				○	○	◎
Rosaceae	バラ科						
443 Agrimonia japonica（Miq.）Koidz.	キンミズヒキ	○	○	○	○	○	
444 Agrimonia nipponica Koidz.	ヒメキンミズヒキ	○	○	○	○	○	
445 Aruncus dioicus（Walt.）Fernald var. tenuifolius（Maxim.）Hara	ヤマブキショウマ		○				
446 Duchesnea chrysantha（Zoll. et Mor.）Miq.	ヘビイチゴ	○	○	○	○	○	
447 Duchesnea indica（Andr.）Focke	ヤブヘビイチゴ		○	○	○		
448 Eriobotrya japonica（Thunb.）Lindl.	ビワ			○		○	逸出
449 Geum japonicum Thunb.	ダイコンソウ	○	○	○	○	○	
450 Kerria japonica（Linn.）DC.	ヤマブキ	○	○	○	○	○	
451 Malus toringo（Sieb.）Sieb. ex Vriese	ズミ	○	○				
452 Malus toringo（Sieb.）Sieb. ex Vriese var. zumi（Matsum.）Hara	オオズミ	○	○				
453 Potentilla centigrana Maxim.	ヒメヘビイチゴ	○	○	○	○		
454 Potentilla chinensis Ser.	カワラサイコ					○	
455 Potentilla cryptotaeniae Maxim. var. insularis Kitagawa	ミツモトソウ	○	○		○		
456 Potentilla fragarioides Linn. var. major Maxim.	キジムシロ		○	○		○	
457 Potentilla freyniana Bornm.	ミツバツチグリ	○	○	○	○	○	
458 Potentilla kleiniana Wight. et Arnott	オヘビイチゴ			○	○		
459 Potentilla yokusaiana Makino	ツルキンバイ	○	○				
460 Pourthiaea villosa（Thunb.）Decne. var. zollingeri（Decne.）Nakai	ケカマツカ	○	○	○	○	○	
461 Prunus apetala（Sieb. et Zucc.）Franch. et Savat.	チョウジザクラ	○					県内稀産種◎
462 Prunus buergeriana Miq.	イヌザクラ	○	○	○	○		
463 Prunus grayana Maxim.	ウワミズザクラ	○	○	○	○	○	
464 Prunus jamasakura Sieb. ex Koidz.	ヤマザクラ	○	○	○	○	○	
465 Prunus lannesiana（Carr.）Wils. var. speciosa（Koidz.）Makino	オオシマザクラ			○			逸出
466 Prunus spinulosa Sieb. et Zucc.	リンボク			○	○		茨城－希少種◎
467 Prunus verecunda（Koidz.）Koehne	カスミザクラ	○	○	○	○	○	
468 Pyracantha angustifolia Schneid.	タチバナモドキ					○	逸出
469 Rhaphiolepis umbellata（Thunb.）Makino var. ovata（Briot）Schneid.	マルバシャリンバイ			○	○	○	

	学名	和名	1	2	3	4	5	備考
470	Rosa multiflora Thunb.	ノイバラ	○	○	○	○	○	
471	Rosa wichuraiana Cre'p.	テリハノイバラ		○	○	○	○	
472	Rubus buergeri Miq.	フユイチゴ		○	○	○		
473	Rubus crataegifolius Bunge	クマイチゴ	○	○	○	○		
474	Rubus hakonensis Franch. et Savat.	ミヤマフユイチゴ			○	○		
475	Rubus hirsutus Thunb.	クサイチゴ	○	○	○	○	○	
476	Rubus microphyllus Linn. fil.	ニガイチゴ	○	○	○	○	○	
477	Rubus palmatus Thunb. var. coptophyllus（A. Gray）O. Kuntze	モミジイチゴ	○	○	○	○	○	
478	Rubus parvifolius Linn.	ナワシロイチゴ	○	○	○	○	○	
479	Rubus phoenicolasius Maxim.	エビガライチゴ		○	○			
480	Rubus trifidus Thunb.	カジイチゴ			○	○	○	海浜植物◎
481	Sanguisorba officinalis Linn. var. carnea（Fisch.）Regel	ワレモコウ	○	○	○	○	○	
482	Sanguisorba officinalis Linn. var. pilosella Ohwi	ウラゲワレモコウ					○	
483	Sorbus alnifolia（Sieb. et Zucc.）C. Koch	アズキナシ	○	○				
484	Sorbus japonica（Decne.）Hedlund	ウラジロノキ	○	○	○	○		
485	Spiraea cantoniensis Lour.	コデマリ	○					逸出
486	Spiraea japonica Linn. fil.	シモツケ			○			
487	Stephanandra incisa（Thunb.）Zabel	コゴメウツギ	○	○	○	○	○	
488	Waldsteinia ternata（Steph.）Fritsch	コキンバイ		○				茨城－危急種◎
Leguminosae		マメ科						
489	Aeschynomene indica Linn.	クサネム				○	○	
490	Albizia julibrissin Durazz.	ネムノキ		○	○	○	○	
491	Amorpha fruticosa Linn.	イタチハギ			○			逸出
492	Amphicarpaea bracteata（Linn.）Fernald subsp. edgeworthii（Benth.）Ohashi var. japonica (Oliver) Ohashi	ヤブマメ	○	○	○	○	○	
493	Amphicarpaea edgeworthii Benth. var. trisperma（Miq.）Ohwi	ウスバヤブマメ		○				
494	Apios americana Medic.	アメリカホド			○			帰化
495	Apios fortunei Maxim.	ホドイモ	○	○	○	○		
496	Astragalus reflexistipulus Miq.	モメンヅル			○			県内稀産種◎
497	Astragalus sinicus Linn.	ゲンゲ	○		○	○		
498	Caesalpinia japonica Sieb. et Zucc.	ジャケツイバラ			○	○		
499	Cassia nomame（Sieb.）Honda	カワラケツメイ		○				
500	Desmodium fallax Schindl.	ケヤブハギ			○			
501	Desmodium mandshuricum（Maxim.）Schindl.	ヤブハギ	○	○	○			
502	Desmodium oldhamii Oliv.	フジカンゾウ	○	○	○	○		
503	Desmodium oxyphyllum DC.	ヌスビトハギ	○	○	○	○	○	
504	Dumasia truncata Sieb. et Zucc.	ノササゲ	○	○	○	○	○	
505	Gleditsia japonica Miq.	サイカチ				○		
506	Glycine max（Linn.）Merr. subsp. soja（Sieb. et Zucc.）Ohashi	ツルマメ	○		○	○		
507	Indigofera pseudotinctoria Matsumura	コマツナギ		○	○	○	○	
508	Kummerovia stipulacea（Maxim.）Makino	マルバヤハズソウ		○	○			
509	Kummerowia striata（Thunb.）Hook. et Arn.	ヤハズソウ	○	○	○	○	○	
510	Lathyrus japonicus Willd.	ハマエンドウ				○	○	海浜植物◎
511	Lespedeza bicolor Turcz. form. actifolia Matsum.	ヤマハギ	○	○	○		○	
512	Lespedeza buergeri Miq.	キハギ			○		○	
513	Lespedeza cuneata（Du Mont. d. Cours.）G. Don	メドハギ	○	○	○	○	○	
514	Lespedeza cyrtobotrya Miq.	マルバハギ			○		○	
515	Lespedeza homoloba Nakai	ツクシハギ	○	○	○	○	○	
516	Lespedeza pilosa（Thunb.）Sieb. et Zucc.	ネコハギ	○	○	○	○	○	
517	Lespedeza serpens Nakai	ハイメドハギ					○	
518	Lespedeza tomentosa（Thunb.）Sieb. ex Maxim.	イヌハギ			○			茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
519	Lotus corniculatus Linn. var. japonicus Regel	ミヤコグサ		○	○	○	○	
520	Maackia amurensis Rupr. et Maxim. var. buergeri（Maxim.）C. K. Schneid.	イヌエンジュ	○		○	○	○	
521	Medicago lupulina Linn.	コメツブウマゴヤシ			○			帰化
522	Pueraria lobata（Willd.）Ohwi	クズ	○	○	○	○	○	
523	Rhynchosia acuminatifolia Makino	オオバタンキリマメ	○		○	○	○	
524	Robinia pseudo-acacia Linn.	ハリエンジュ		○	○	○	○	逸出
525	Sophora flavescens Soland. ex Aiton var. angustifolia（Sieb. et Zucc.）Kitagawa	クララ			○		○	
526	Trifolium dubium Sibth.	コメツブツメクサ					○	帰化
527	Trifolium pratense Linn.	ムラサキツメクサ	○	○	○	○	○	逸出
528	Trifolium repens Linn.	シロツメクサ	○	○	○	○	○	帰化
529	Vicia amoena Fisch.	ツルフジバカマ		○		○		
530	Vicia angustifolia Linn.	ヤハズエンドウ			○	○	○	
531	Vicia angustifolia Linn. var. minor（Bertol.）Ohwi	ホソバヤハズエンドウ					○	帰化
532	Vicia hirsuta（Linn.）S. F. Gray	スズメノエンドウ			○			
533	Vicia tetrasperma（Linn.）Schreb.	カスマグサ				○		
534	Vicia unijuga A. Br.	ナンテンハギ				○	○	
535	Wisteria floribunda（Willd.）DC.	フジ	○	○	○	○	○	
Oxalidaceae		カタバミ科						
536	Oxalis acetosella Linn.	コミヤマカタバミ	○					茨城－危急種◎
537	Oxalis corniculata Linn.	カタバミ	○	○	○	○	○	
538	Oxalis corniculata Linn. var. trichocaulon Le'v.	ケカタバミ			○			
539	Oxalis corymbosa DC.	ムラサキカタバミ					○	帰化
540	Oxalis fontana Bunge	エゾタチカタバミ		○	○			
Geraniaceae		フウロソウ科						
541	Erodium cicutarium（Linn.）L'H'er.	オランダフウロ			○			帰化
542	Geranium krameri Franch. et Savat.	タチフウロ		○	○			
543	Geranium thunbergii Sieb. et Zucc.	ゲンノショウコ	○	○	○	○	○	
544	Geranium tripartitum R. Knuth	コフウロ	○	○		○		
Linaceae		アマ科						
545	Linum stelleroides Planch.	マツバニンジン			○			茨城－危急種◎

学名	和名	1	2	3	4	5	備考
Euphorbiaceae	トウダイグサ科						
546 Acalypha australis Linn.	エノキグサ		○	○	○	○	
547 Euphorbia maculata Linn.	オオニシキソウ		○	○		○	帰化
548 Euphorbia pekinensis Rupr.	タカトウダイ	○	○	○	○	○	
549 Euphorbia sieboldiana Morr. et Decne.	ナツトウダイ			○		○	県内稀産種◎
550 Euphorbia supina Rafin.	コニシキソウ		○		○	○	帰化
551 Mallotus japonicus（Thunb. ex Murray）Muell. -Arg.	アカメガシワ		○	○	○	○	
552 Phyllanthus matsumurae Hayata	ヒメミカンソウ	○					
553 Sapium japonicum（Sieb. et Zucc.）Pax et Hoffm.	シラキ		○	○	○		
Daphniphyllaceae	ユズリハ科						
554 Daphniphyllum macropodum Miq.	ユズリハ			○	○	○	
Rutaceae	ミカン科						
555 Boenninghausenia japonica Nakai	マツカゼソウ		○	○	○		
556 Orixa japonica Thunb.	コクサギ	○	○	○	○		
557 Phellodendron amurense Rupr.	キハダ	○	○	○			
558 Skimmia japonica Thunb.	ミヤマシキミ	○	○	○	○	○	
559 Skimmia japonica Thunb. form. rugosa（Yatabe）Ohwi	ウチダシミヤマシキミ		○	○	○		
560 Zanthoxylum ailanthoides Sieb. et Zucc.	カラスザンショウ		○	○	○	○	
561 Zanthoxylum armatum DC. var. subtrifoliolatum（Franch.）Kitam.	フユザンショウ			○			県内稀産種◎
562 Zanthoxylum piperitum（Linn.）DC.	サンショウ	○	○	○	○	○	
563 Zanthoxylum schinifolium Sieb. et Zucc.	イヌザンショウ		○	○	○	○	
Simaroubaceae	ニガキ科						
564 Ailanthus altissima Swingle	ニワウルシ			○			逸出
565 Picrasma quassioides（D. Don）Benn. var. glabrescens Pamp.	ニガキ			○	○		
Meliaceae	センダン科						
566 Cedrela sinensis A. Juss.	チャンチン			○			逸出
567 Melia azedarach Linn.	センダン			○			逸出
Polygalaceae	ヒメハギ科						
568 Polygala japonica Houtt.	ヒメハギ		○	○		○	
Coriariaceae	ドクウツギ科						
569 Coriaria japonica A. Gray	ドクウツギ			○		○	
Anacardiaceae	ウルシ科						
570 Rhus ambigua Lavalle'e ex Dippel	ツタウルシ	○	○	○	○	○	
571 Rhus javanica Linn. var. roxburgii（DC.）Rehder et Wils.	ヌルデ	○	○	○	○	○	
572 Rhus trichocarpa Miq.	ヤマウルシ	○	○	○	○	○	
Aceraceae	カエデ科						
573 Acer argutum Maxim.	アサノハカエデ	○	○				県内稀産種◎
574 Acer buergerianum Miq.	トウカエデ			○			逸出
575 Acer carpinifolium Sieb. et Zucc.	チドリノキ	○	○	○	○		
576 Acer cissifolium（Sieb. et Zucc.）K. Koch	ミツデカエデ	○	○	○	○		
577 Acer crataegifolium Sieb. et Zucc.	ウリカエデ	○	○	○	○	○	
578 Acer diabolicum Blume ex Koch	カジカエデ	○	○				
579 Acer distylum Sieb. et Zucc.	ヒトツバカエデ	○	○				
580 Acer japonicum Thunb.	ハウチワカエデ	○	○				
581 Acer micranthum Sieb. et Zucc.	コミネカエデ	○	○				県内稀産種◎
582 Acer mono Maxim. var. ambiguum（Pax）Rehd.	オニイタヤ	○	○	○	○		
583 Acer mono Maxim. var. connivens（Nichols.）Hara	ウラゲエンコウカエデ	○	○				
584 Acer mono Maxim. var. marmoratum（Nichols.）Hara form. dissectum（Wesmae）Rehder	イタヤカエデ	○	○	○	○		
585 Acer nikoense Maxim.	メグスリノキ	○					
586 Acer palmatum Thunb.	イロハモミジ	○	○	○	○	○	
587 Acer palmatum Thunb. var. amoenum（Carr.）Ohwi	オオモミジ	○	○	○	○		
588 Acer rufinerve Sieb. et Zucc.	ウリハダカエデ	○	○	○			
589 Acer shirasawanum Koidz.	オオイタヤメイゲツ	○					県内稀産種◎
590 Acer sieboldianum Miq.	コハウチワカエデ	○	○	○	○		
591 Acer tenuifolium（Koidz.）Koidz.	ヒナウチワカエデ	○	○				県内稀産種◎
Sapindaceae	ムクロジ科						
592 Sapindus mukorossi Gaerth.	ムクロジ			○			
Hippocastanaceae	トチノキ科						
593 Aesculus turbinata Blume	トチノキ	○	○				
Sabiaceae	アワブキ科						
594 Meliosma myriantha Sieb. et Zucc.	アワブキ	○	○	○	○		
Balsaminaceae	ツリフネソウ科						
595 Impatiens noli-tangere Linn.	キツリフネ	○	○	○	○	○	
596 Impatiens textori Miq.	ツリフネソウ	○	○	○	○	○	
Aquifoliaceae	モチノキ科						
597 Ilex crenata Thunb.	イヌツゲ	○	○	○	○	○	
598 Ilex integra Thunb.	モチノキ			○	○	○	
599 Ilex macropoda Miq.	アオハダ	○	○	○	○	○	
600 Ilex rotunda Thunb.	クロガネモチ			○			茨城－希少種◎
601 Ilex serrata Thunb.	ウメモドキ			○	○	○	
Celastraceae	ニシキギ科						
602 Celastrus orbiculatus Thunb.	ツルウメモドキ	○	○	○	○	○	
603 Euonymus alatus（Thunb.）Sieb.	ニシキギ	○	○		○		
604 Euonymus alatus（Thunb.）Sieb. form. ciliato-dentatus Hiyama	コマユミ	○	○	○	○	○	
605 Euonymus fortunei（Turcz.）Hand.-Mazz. var. radicans（Sieb. ex Miq.）Rehd.	ツルマサキ	○	○	○	○	○	
606 Euonymus japonicus Thunb.	マサキ			○		○	
607 Euonymus oxyphyllus Miq.	ツリバナ	○	○	○	○	○	
608 Euonymus sieboldianus Blume	マユミ	○	○	○	○	○	
Staphyleaceae	ミツバウツギ科						
609 Euscaphis japonica（Thunb.）Kanitz	ゴンズイ				○		

学名	和名	1	2	3	4	5	備考
610 Staphylea bumalda（Thunb.）DC.	ミツバウツギ	○	○	○	○		
Rhamnaceae	クロウメモドキ科						
611 Berchemia racemosa Sieb. et Zucc.	クマヤナギ	○	○	○	○	○	
612 Hovenia dulcis Thunb.	ケンポナシ			○			
613 Rhamnus costata Maxim.	クロカンバ	○					県内稀産種◎
614 Rhamnus japonica Maxim. var. decipiens Maxim.	クロウメモドキ	○	○	○	○		
Vitaceae	ブドウ科						
615 Ampelopsis brevipedunculata（Maxim.）Trautv. var. heterophylla（Thunb.）Hara	ノブドウ	○	○	○	○	○	
616 Ampelopsis brevipedunculata（Maxim.）Trautv. var. heterophylla（Thunb.）Hara form. citrulloides（Lebas）Rehd.	キレハノブドウ		○	○	○		
617 Cayratia japonica（Thunb.）Gagn.	ヤブカラシ	○		○	○	○	
618 Parthenocissus tricuspidata（Sieb. et Zucc.）Planch.	ツタ	○	○	○	○	○	
619 Vitis coignetiae Pulliat	ヤマブドウ	○	○	○			県内稀産種◎
620 Vitis ficifolia Bunge var. lobata（Regel）Nakai	エビヅル		○	○	○	○	
621 Vitis flexuosa Thunb.	サンカクヅル	○	○	○	○	○	
Tiliaceae	シナノキ科						
622 Corchoropsis tomentosa（Thunb.）Makino	カラスノゴマ		○				
Thymelaeaceae	ジンチョウゲ科						
623 Edgeworthia chrysantha Lindl.	ミツマタ			○	○		逸出
624 Wikstroemia ganpi（Sieb. et Zucc.）Nakai	コガンピ			○			茨城－危急種◎
Elaeagnaceae	グミ科						
625 Elaeagnus glabra Thunb.	ツルグミ		○	○	○	○	
626 Elaeagnus macrophylla Thunb.	オオバグミ				○	○	海浜植物◎
627 Elaeagnus montana Makino var. ovata（Maxim.）Araki	ツクバグミ	○	○				
628 Elaeagnus multiflora Thunb.	ナツグミ			○		○	
629 Elaeagnus pungens Thunb.	ナワシログミ					○	逸出
630 Elaeagnus umbellata Thunb.	アキグミ	○		○	○	○	
631 Elaeagnus umbellata Thunb. var. rotundifolia Makino	マルバアキグミ					○	
Flacourtiaceae	イイギリ科						
632 Idesia polycarpa Maxim.	イイギリ		○		○	○	
Violaceae	スミレ科						
633 Viola confusa Champ. ex Benth. subsp. nagasakiensis（W. Wecker）F. Maekawa et Hashimoto	ヒメスミレ			○			茨城－危急種
634 Viola eizanensis x V. makinoi	カワギシスミレ	○					
635 Viola eizanensis Makino	エイザンスミレ	○	○	○	○		
636 Viola grypoceras A. Gray	タチツボスミレ	○	○	○	○	○	
637 Viola grypoceras A. Gray var. pubescens Nakai	ケタチツボスミレ	○					
638 Viola grypoceras A. Gray form. albiflora Makino	シロバナタチツボスミレ	○					
639 Viola hirtipes S. Moore	サクラスミレ	○	○				
640 Viola hondoensis W. Becker et H. Boiss.	アオイスミレ	○	○	○			
641 Viola keiskei Miq. form. okuboi（Makino）F. Maekawa	ケマルバスミレ	○	○	○	○		
642 Viola makinoi H. Boiss.	マキノスミレ	○	○	○	○		
643 Viola mandshurica W. Becker	スミレ	○	○	○			
644 Viola maximowicziana Makino	コミヤマスミレ			○			県内稀産種◎
645 Viola obtusa（Makino）Makino	ニオイタチツボスミレ	○		○		○	
646 Viola obtusa（Makino）Makino form. nuda（Ohwi）F. Maekawa	ケナシニオイタチツボスミレ		○			○	
647 Viola phalacrocarpa Maxim.	アカネスミレ	○	○	○			
648 Viola phalacrocarpa Maxim. form. glaberrima（W. Beckr.）F. Maekawa	オカスミレ		○				
649 Viola rossii Hemsl.	アケボノスミレ	○	○	○			
650 Viola sieboldi Maxim.	フモトスミレ	○	○	○	○		
651 Viola takedana Makino	ヒナスミレ	○	○				
652 Viola verecunda A. Gray	ツボスミレ	○	○	○	○		
653 Viola verecunda A. Gray var. semilunaris Maxim.	アギスミレ		○				
654 Viola verecunda A. Gray form. violascens Hiyama ex F. Maekawa	ムラサキコマノツメ		○				
655 Viola yezoensis Maxim.	ヒカゲスミレ	○	○	○	○		
Stachyuraceae	キブシ科						
656 Stachyurus praecox Sieb. et Zucc.	キブシ	○	○	○	○	○	
Cucurbitaceae	ウリ科						
657 Gynostemma pentaphyllum（Thunb.）Makino	アマチャヅル	○	○	○	○	○	
658 Melothria japonica（Thunb.）Maxim.	スズメウリ			○	○	○	
659 Sicyos angulatus Linn.	アレチウリ			○	○	○	帰化
660 Trichosanthes cucumeroides（Ser.）Maxim.	カラスウリ			○		○	
661 Trichosanthes kirilowii Maxim. var. japonica（Miq.）Kitam.	キカラスウリ			○	○	○	
Lythraceae	ミソハギ科						
662 Ammannia coccinea Rottb.	ホソバヒメミソハギ					○	帰化
663 Lythrum anceps（Koehne）Makino	ミソハギ	○	○		○	○	
664 Rotala indica（Willd.）Koehne var. uliginosa（Miq.）Koehne	キカシグサ			○	○		
Onagraceae	アカバナ科						
665 Circaea erubescens Franch. et Savat.	タニタデ	○	○	○	○		
666 Circaea mollis Sieb. et Zucc.	ミズタマソウ	○	○	○	○	○	
667 Epilobium amurense Hausskn.	ケゴンアカバナ		○				
668 Epilobium cephalostigma Hausskn.	イワアカバナ	○	○				
669 Epilobium pyrricholophum Franch. et Savat.	アカバナ	○	○	○	○		
670 Ludwigia epilobioides Maxim.	チョウジタデ				○		
671 Ludwigia ovalis Miq.	ミズユキノシタ			○	○		茨城－危急種◎
672 Oenothera biennis Linn.	メマツヨイグサ	○	○	○	○	○	帰化
673 Oenothera erythrosepala Borba's	オオマツヨイグサ			○		○	帰化
674 Oenothera laciniata Hill	コマツヨイグサ				○	○	帰化
675 Oenothera muricata Linn.	アレチマツヨイグサ	○				○	帰化
676 Oenothera stricta Ledeb. ex Link	マツヨイグサ					○	帰化
677 Trapa japonica Flerov	ヒシ			○	○		
Haloragidaceae	アリノトウグサ科						

学名	和名	1	2	3	4	5	備考
678 Haloragis micrantha（Thunb.）R. Br.	アリノトウグサ		○	○	○	○	
Alangiaceae	ウリノキ科						
679 Alangium platanifolium（Sieb. et Zucc.）Harms var. trilobum（Miq.）Ohwi	ウリノキ	○	○	○	○		
680 Alangium platanifolium（Sieb. et Zucc.）Harms var. trilobum（Miq.）Ohwi form. velutinum Sugimoto	ビロードウリノキ			○	○		
Cornaceae	ミズキ科						
681 Aucuba japonica Thunb.	アオキ	○	○	○	○	○	
682 Benthamidia japonica（Sieb. et Zucc.）Hara	ヤマボウシ	○	○	○	○		
683 Helwingia japonica（Thunb.）F. G. Dietr.	ハナイカダ	○	○	○	○		
684 Swida controversa（Hemsley ex Prain）Soja'k	ミズキ	○	○	○	○		
685 Swida macrophylla（Wall.）Soja'k	クマノミズキ	○		○	○		
Araliaceae	ウコギ科						
686 Acanthopanax divaricatus（Sieb. et Zucc.）Seemann	ケヤマウコギ	○	○				県内稀産種◎
687 Acanthopanax sciadophylloides（Franch. et Savat.）Oha	コシアブラ	○	○	○	○	○	
688 Acanthopanax spinosus（Franch. et Savat.）Nakai	ヤマウコギ	○	○	○	○		
689 Aralia cordata Thunb.	ウド	○	○	○	○	○	
690 Aralia elata（Miq.）Seemann	タラノキ	○	○	○	○	○	
691 Dendropanax trifidus（Thunb.）Makino	カクレミノ				○	○	逸出，茨城－危急種
692 Evodiopanax innovans（Sieb. et Zucc.）Nakai	タカノツメ	○	○	○			
693 Fatsia japonica（Thunb.）Decne. et Planch.	ヤツデ			○	○	○	
694 Hedera rhombea（Miq.）Bean	キヅタ	○	○	○	○	○	
695 Kalopanax pictus（Thunb.）Nakai	ハリギリ	○	○	○	○	○	
696 Panax japonicus C. A. Mey.	トチバニンジン	○	○	○	○		
Umbelliferae	セリ科						
697 Angelica decursiva（Miq.）Franch. et Savat.	ノダケ	○	○	○	○	○	
698 Angelica edulis Miyabe ex Yabe	アマニュウ	○					県内稀産種◎
699 Angelica inaequalis Maxim.	ハナビゼリ	○					
700 Angelica polymorpha Maxim.	シラネセンキュウ	○	○		○		
701 Angelica pubescens Maxim.	シシウド	○	○				
702 Anthriscus sylvestris（Linn.）Hoffm.	シャク		○	○			
703 Centella asiatica（Linn.）Urban	ツボクサ				○	○	
704 Chamaele decumbens（Thunb.）Makino	セントウソウ	○	○	○	○		
705 Cicuta virosa Linn.	ドクゼリ	○	○		○		
706 Cnidium japonicum Miq.	ハマゼリ					○	海浜植物◎
707 Cryptotaenia japonica Hassk.	ミツバ	○	○	○	○	○	
708 Glehnia littoralis Fr. Schm. ex Miq.	ハマボウフウ					○	茨城－危急種，海浜植物◎
709 Heracleum nipponicum Kitagawa	ハナウド		○	○		○	
710 Hydrocotyle javanica Thunb.	オオバチドメ			○	○		茨城－希少種◎
711 Hydrocotyle maritima Honda	ノチドメ	○		○	○	○	
712 Hydrocotyle ramiflora Maxim.	オオチドメ		○	○	○	○	
713 Hydrocotyle sibthorpioides Lam.	チドメグサ		○	○	○		
714 Hydrocotyle yabei Makino	ヒメチドメ		○	○			
715 Ligusticum hultenii Fernald	マルバトウキ					○	茨城－危急種◎
716 Oenanthe javanica（Blume）DC.	セリ	○	○	○	○	○	
717 Osmorhiza aristata（Thunb.）Rydberg.	ヤブニンジン	○	○	○	○		
718 Ostericum sieboldii（Miq.）Nakai	ヤマゼリ	○	○	○	○	○	
719 Pternopetalum tanakae（Franch. et Savat.）Hand.-Mazz.	イワセントウソウ	○	○				県内稀産種◎
720 Sanicula chinensis Bunge	ウマノミツバ	○	○	○	○		
721 Seseli libatonis Koch var. japonica H. Boiss.	イブキボウフウ		○	○			
722 Sium serra（Franch. et Savat.）Kitagawa	タニミツバ	○	○				
723 Sium sisarum Linn.	ムカゴニンジン	○			○		
724 Sium suave Walt. var. nipponicum（Maxim.）Hara	ヌマゼリ		○				環－絶滅危惧ＩＢ類
725 Spuriopimpinella calycina（Maxim.）Kitagawa	カノツメソウ	○	○		○		
726 Torilis japonica（Houtt.）DC.	ヤブジラミ	○	○	○	○		
727 Torilis scabra（Thunb.）DC.	オヤブジラミ			○			
GAMOPETALAE	合弁花類						
Diapensiaceae	イワウメ科						
728 Shortia uniflora（Maxim.）Maxim.	イワウチワ	○	○	○	○		茨城－危急種◎
729 Shortia uniflora（Maxim.）Maxim. form. albiflora Makino	シロバナイワウチワ	○					
Clethraceae	リョウブ科						
730 Clethra barbinervis Sieb. et Zucc.	リョウブ	○	○	○	○	○	
Pyrolaceae	イチヤクソウ科						
731 Chimaphila japonica Miq.	ウメガサソウ	○		○			
732 Monotropa hypopithys Linn.	シャクジョウソウ	○	○				茨城－希少種◎
733 Monotropa uniflora Linn.	ギンリョウソウモドキ	○	○	○	○		
734 Monotropastrum globosum H. Andr. ex Hara	ギンリョウソウ	○	○		○		
735 Pylora japonica Klenze	イチヤクソウ	○	○	○	○	○	
736 Pylora nephrophylla（H. Andres）H. Andres	マルバノイチヤクソウ	○	○				
Ericaceae	ツツジ科						
737 Enkianthus subsessilis（Miq.）Makino	アブラツツジ	○	○		○		
738 Lyonia ovalifolia（Wall.）Drude var. elliptica（Sieb. et Zucc.）Hand.-Mazz.	ネジキ	○	○	○	○	○	
739 Pieris japonica（Thunb.）D. Don	アセビ	○	○	○	○	○	
740 Rhododendron japonicum（A. Gray）Suringer	レンゲツツジ	○	○				
741 Rhododendron keiskei Miq.	ヒカゲツツジ			○			茨城－絶滅危惧種
742 Rhododendron metternichii Sieb. et Zucc. var. pentamerum Maxim.	アズマシャクナゲ	○					茨城－絶滅危惧種◎
743 Rhododendron obtusum（Lindl.）Planch. var. kaempferi（Planchon）Wilson	ヤマツツジ	○	○	○	○	○	
744 Rhododendron quinquefolium Bisset et Moore	ゴヨウツツジ	○	○				
745 Rhododendron semibarbatum Maxim.	バイカツツジ	○	○	○	○	○	
746 Rhododendron tschonoskii Maxim.	コメツツジ	○					県内稀産種◎
747 Rhododendron wadanum Makino	トウゴクミツバツツジ	○	○	○			県内稀産種◎
748 Tripetaleia paniculata Sieb. et Zucc.	ホツツジ		○				

学名	和名	1	2	3	4	5	備考
749 Vaccinium hirtum Thunb.	ウスノキ	○	○		○	○	
750 Vaccinium hirtum Thunb. form. lasiocarpum（Koidz.）Nakai	ケウスノキ		○				
751 Vaccinium oldhami Miq.	ナツハゼ	○	○	○	○	○	
Myrsinaceae	ヤブコウジ科						
752 Ardisia crenata Sims	マンリョウ			○	○	○	
753 Ardisia crispa（Thunb.）DC.	カラタチバナ			○			
754 Ardisia japonica（Thunb.）Blume	ヤブコウジ	○	○	○	○	○	
Primulaceae	サクラソウ科						
755 Lysimachia acroadenia Maxim.	ミヤマタゴボウ			○			
756 Lysimachia barystachys Bunge	ノジトラノオ			○			茨城－危急種，環－絶滅危惧ⅠＢ類
757 Lysimachia clethroides Duby	オカトラノオ	○	○	○	○	○	
758 Lysimachia fortunei Maxim.	ヌマトラノオ	○		○	○	○	
759 Lysimachia japonica Thunb. var. subsesilis F. Maekawa	コナスビ	○	○	○	○	○	
760 Lysimachia mauritiana Lam.	ハマボッス					○	海浜植物◎
761 Lysimachia vulgaris Linn. var. davurica（Ledeb.）R. Kunth	クサレダマ	○	○		○		
762 Lysimachia x pilophora（Honda）Honda	イヌヌマトラノオ					○	
763 Primula japonica A. Gray	クリンソウ		○				茨城－絶滅危惧種◎
764 Primula sieboldii E. Morren	サクラソウ	○	○				茨城－絶滅危惧種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
Ebenaceae	カキノキ科						
765 Diospyros kaki Thunb.	カキノキ		○	○			逸出
Styracaceae	エゴノキ科						
766 Pterostyrax hispida Sieb. et Zucc.	オオバアサガラ	○	○	○	○		
767 Styrax japonica Sieb. et Zucc.	エゴノキ	○	○	○	○	○	
768 Styrax obassia Sieb. et Zucc.	ハクウンボク	○	○	○	○		
Symplocaceae	ハイノキ科						
769 Symplocos chinensis（Lour.）Druce var. leucocarpa（Nakai）Ohwi form. pilosa（Nakai）Ohwi	サワフタギ	○	○		○		
Oleaceae	モクセイ科						
770 Fraxinus lanuginosa Koidz.	ケアオダモ	○	○	○			
771 Fraxinus lanuginosa Koidz. form. serrata（Nakai）Hara	アオダモ	○	○	○			
772 Fraxinus sieboldiana Blume	マルバアオダモ	○	○	○	○	○	
773 Ligustrum japonicum Thunb.	ネズミモチ			○	○	○	
774 Ligustrum obtusifolium Sieb. et Zucc.	イボタノキ	○	○	○	○	○	
775 Ligustrum ovalifolium Hassk.	オオバイボタ				○	○	◎
776 Ligustrum tschonoskii Decne.	ミヤマイボタ	○	○				
777 Ligustrum tschonoskii Decne. var. glabrescens Koidz.	エゾイボタ	○	○				
778 Osmanthus heterophyllus（G. Don）P. S. Green	ヒイラギ		○	○	○	○	植栽
Gentianaceae	リンドウ科						
779 Gentiana scabra Bunge var. buergeri（Miq.）Maxim.	リンドウ	○	○	○	○	○	
780 Gentiana squarrosa Ledeb.	コケリンドウ			○		○	
781 Gentiana zollingeri Fawcett	フデリンドウ	○	○				
782 Menyanthes trifoliata Linn.	ミツガシワ		○				茨城－絶滅危惧種◎
783 Swertia bimaculata（Sieb. et Zucc.）Hook. et Thoms.	アケボノソウ	○	○	○	○		
784 Swertia japonica（Schult.）Makino	センブリ	○	○	○		○	
785 Swertia tosaensis Makino	イヌセンブリ				○		茨城－絶滅危惧種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
786 Tripterospermum japonicum（Sieb. et Zucc.）Maxim.	ツルリンドウ	○	○	○	○	○	
Apocynaceae	キョウチクトウ科						
787 Trachelospermum asiaticum（Sieb. et Zucc.）Nakai	テイカカズラ	○	○	○	○	○	
Asclepiadaceae	ガガイモ科						
788 Cynanchum caudatum（Miq.）Maxim.	イケマ	○	○		○		
789 Cynanchum japonicum Morren et Decne.	イヨカズラ					○	海浜植物◎
790 Cynanchum magnificum Nakai	タチガシワ	○	○				
791 Cynanchum sublanceolatum（Miq.）Matsum.	コバノカモメヅル		○		○		
792 Marsdenia tomentosa Morr. et Decne.	キジョラン			○	○		茨城－希少種◎
793 Metaplexis japonica（Thunb.）Makino	ガガイモ	○	○			○	
794 Tylophora aristolochioides Miq.	オオカモメヅル	○	○	○	○		
795 Tylophora nikoensis（Franch. et Savat.）Matsum.	コカモメヅル				○		
Rubiaceae	アカネ科						
796 Damnacanthus indicus Gaertn. fil.	アリドオシ				○		茨城－希少種◎
797 Galium gracilens（A. Gray）Makino	ヒメヨツバムグラ		○			○	
798 Galium japonicum Makino	クルマムグラ	○	○		○		
799 Galium kikumugura Ohwi	キクムグラ	○	○		○		
800 Galium paradoxum Maxim.	ミヤマムグラ	○	○				県内稀産種◎
801 Galium pseudo-asprellum Makino	オオバノヤエムグラ	○	○	○	○		
802 Galium spurium Linn. var. echinospermon（Wallr.）Hayek	ヤエムグラ		○	○	○	○	
803 Galium trachyspermum A. Gray	ヨツバムグラ	○	○	○	○		
804 Galium trifidum Linn. var. brevipedunculatum Regel	ホソバノヨツバムグラ	○					
805 Hedyotis diffusa Willd.	フタバムグラ				○	○	
806 Hedyotis lindleyana Hook. var. hirsuta（Linn. fil.）Hara	ハシカグサ	○	○	○	○	○	
807 Mitchella undulata Sieb. et Zucc.	ツルアリドオシ			○	○		
808 Paederia scandens（Lour.）Merrill var. mairei（Le'v.）Hara	ヘクソカズラ(ヤイトバナ)	○	○	○	○	○	
809 Rubia argyi（Le'v. et Van't.）Hara	アカネ	○	○	○	○	○	
Convolvulaceae	ヒルガオ科						
810 Calystegia hederacea Wall.	コヒルガオ			○		○	
811 Calystegia japonica Choisy	ヒルガオ			○	○	○	
812 Calystegia soldanella（Linn.）Roem. et Schult.	ハマヒルガオ				○	○	海浜植物◎
813 Cuscuta japonica Choisy	ネナシカズラ			○			
814 Cuscuta pentagona Engelm.	アメリカネナシカズラ				○	○	帰化
Boraginaceae	ムラサキ科						
815 Bothriospermum tenellum（Hornem.）Fisch. et C. A. Mey.	ハナイバナ			○	○	○	
816 Buglossoides zollingeri（DC.）Johnston	ホタルカズラ			○		○	

	学名	和名	1	2	3	4	5	備考
817	Lithospermum officinale Linn. subsp. erythrorhizon（Sieb. et Zucc.）Hanz.-Mazz.	ムラサキ			○			茨城－絶滅危惧種，環－絶滅危惧ⅠB類◎
818	Messerschmidia sibirica Linn.	スナビキソウ					○	
819	Symphytum officinale Linn.	ヒレハリソウ	○			○	○	帰化
820	Trigonotis peduncularis（Trevir.）Benth.	キュウリグサ		○	○	○	○	
Verbenaceae		クマツヅラ科						
821	Callicarpa dichotoma（Lour.）K. Koch	コムラサキ				○		
822	Callicarpa japonica Thunb.	ムラサキシキブ	○	○	○	○	○	
823	Callicarpa mollis Sieb. et Zucc.	ヤブムラサキ	○	○	○	○	○	
824	Clerodendrum trichotomum Thunb.	クサギ	○	○	○	○	○	
825	Vitex rotundifolia Linn. fil.	ハマゴウ					○	海浜植物◎
Labiatae		シソ科						
826	Agastache rugosa（Fisch. et Mey.）O. Kuntze	カワミドリ			○			
827	Ajuga decumbens Thunb.	キランソウ	○	○	○	○		
828	Ajuga yezoensis Maxim. var. tsukubana Nakai	ツクバキンモンソウ	○	○	○	○		
829	Chelonopsis moschata Miq.	ジャコウソウ	○	○	○			
830	Clinopodium chinense（Benth.）O. Kuntze subsp. grandiflorum（Maxim.）Hara var. parviflorum（Kudo）Hara	クルマバナ	○	○	○	○		
831	Clinopodium gracile（Benth.）O. Kuntze	トウバナ	○		○			
832	Clinopodium gracile（Benth.）O. Kuntze var. latifolium（Hara）Ohwi	ヒロハヤマトウバナ	○					
833	Clinopodium micranthum（Regel）Hara	イヌトウバナ	○	○	○	○		
834	Elsholtzia ciliata（Thunb.）Hylander	ナギナタコウジュ		○	○	○	○	
835	Elsholtzia nipponica Ohwi	フトボナギナタコウジュ	○	○	○	○		
836	Glechoma hederacea Linn. var. grandis（A. Gray）Kudo	カキドオシ	○	○	○	○	○	
837	Lamium amplexicaule Linn.	ホトケノザ			○	○	○	
838	Lamium barabtum Sieb. et Zucc.	オドリコソウ		○	○	○		
839	Lamium purpureum Linn.	ヒメオドリコソウ	○	○	○	○	○	帰化
840	Leonurus japonicus Houtt.	メハジキ		○	○			
841	Leonurus macranthus Maxim.	キセワタ			○			茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
842	Leucosceptrum japonicum（Miq.）Kitam. et Murata form. barbinerve（Miq.）Kitam. et Murata	フジテンニンソウ		○	○			
843	Lycopus maackianus（Maxim.）Makino	ヒメシロネ	○	○	○	○	○	
844	Lycopus ramosissimus（Makino）Makino var. japonicus（Matsumura et Kudo）Kitam	コシロネ		○		○	○	
845	Lycopus uniflorus Michx.	エゾシロネ	○	○				◎
846	Meehania urticiflolia（Miq.）Makino	ラショウモンカズラ	○	○		○		
847	Mentha arvensis Linn. var. piperascens Malinvaud	ハッカ	○		○	○	○	
848	Mentha japonica（Miq.）Makino	ヒメハッカ		○				茨城－絶滅危惧種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
849	Mosla dianthera（Hamilt.）Maxim.	ヒメジソ	○	○		○	○	
850	Mosla japonica（Benth.）Maxim.	ヤマジソ		○				茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類
851	Mosla punctulata（J. F. Gmel.）Nakai	イヌコウジュ		○	○	○		
852	Perilla citriodora（Makino）Nakai	レモンエゴマ			○	○		
853	Prunella vulgaris Linn. subsp. asiatica（Nakai）Hara	ウツボグサ	○	○	○	○	○	
854	Rabdosia inflexa（Thunb.）Kudo	ヤマハッカ	○	○	○	○	○	
855	Rabdosia umbrosa（Maxim.）Hara var. leucantha（Murai）Hara	カメバヒキオコシ	○	○		○		
856	Salvia japonica Thunb.	アキノタムラソウ	○	○	○		○	
857	Salvia lutescens Koidz. var. crenata（Makino）Murata	ミヤマタムラソウ	○	○	○			県内稀産種◎
858	Salvia nipponica Miq.	キバナアキギリ	○	○	○	○	○	
859	Scutellaria abbreviata Hara	トウゴクシソバタツナミソウ	○	○		○		
860	Scutellaria brachyspica Nakai et Hara	オカタツナミソウ			○		○	
861	Scutellaria dependens Maxim.	ヒメナミキ	○	○				
862	Scutellaria indica Linn.	タツナミソウ			○	○	○	
863	Scutellaria pekinensis Maxim. var. transitra（Makino）Hara	ヤマタツナミソウ	○			○		
864	Scutellaria pekinensis Maxim. var. ussuriensis（Regel）Hanz.-Mazz.	エゾタツナミソウ	○					県内稀産種◎
865	Stachys japonica Miq. var. intermedia（Kudo）Ohwi	イヌゴマ	○	○		○	○	
866	Teucrium japonicum Houtt.	ニガクサ			○	○		
867	Teucrium viscidum Blume var. miquelianum（Maxim.）Hara	ツルニガクサ	○	○	○	○		
Solanaceae		ナス科						
868	Lycium chinense Mill.	クコ			○	○	○	
869	Physaliastrum japonicum（Franch. et Savat.）Honda	イガホオズキ		○	○			
870	Scopolia japonica Maxim.	ハシリドコロ	○					県内稀産種◎
871	Solanum carolinense Linn.	ワルナスビ	○					帰化
872	Solanum japonense Nakai	ヤマホロシ	○	○	○	○		
873	Solanum lyratum Thunb.	ヒヨドリジョウゴ			○	○	○	
874	Solanum megacarpum Koidz.	マルバノホロシ			○			
875	Solanum photeinocarpum Nakamura et Odashima	テリミノイヌホオズキ		○	○	○	○	帰化
876	Tubocapsicum anomalum（Franch. et Savat.）Makino	ハダカホオズキ			○	○		
Loganiaceae		フジウツギ科						
877	Buddleja japonica Hemsl.	フジウツギ	○	○	○	○		
Scrophulariaceae		ゴマノハグサ科						
878	Deinostema violaceum（Maxim.）Yamazaki	サワトウガラシ		○	○	○		
879	Euphrasia maximowiczii Wettst.	タチコゴメグサ		○				茨城－希少種◎
880	Limnophila aromatica（Lam.）Merrill	シソクサ				○		
881	Limnophila sessiliflora Blume	キクモ				○	○	
882	Linaria japonica Miq.	ウンラン					○	海浜植物◎
883	Lindernia dubia（Linn.）Pennell	アメリカアゼナ	○	○		○	○	帰化
884	Lindernia procumbens（Krock.）Philcox	アゼナ		○	○		○	
885	Mazus miquelii Makino	ムラサキサギゴケ		○		○		
886	Mazus miquelii Makino form. rotundifolius Yamazaki	ヤマサギゴケ	○			○		
887	Mazus pumilus（Burm. fil.）van Steenis	トキワハゼ	○	○		○	○	
888	Melampyrum roseum Maxim. var. japonicum Franch. et Savat.	ママコナ	○	○			○	
889	Mimulus nepalensis Benth.	ミゾホオズキ	○	○	○			
890	Phtheirospermum japonicum（Thunb.）Kanitz	コシオガマ		○	○			
891	Scrophularia kakudensis Franch.	オオヒナノウスツボ		○	○	○		

	学名	和名	1	2	3	4	5	備考
892	Vandellia anagallis（Burm. fil.）Yamazaki var. verbenaefolia（Colsm.）Yamazaki	スズメノトウガラシ				○		
893	Vandellia angustifolia Benth.	アゼトウガラシ				○		
894	Verbascum thapsus Linn.	ビロードモウズイカ				○	○	帰化
895	Veronica anagallis-aquatica Linn.	オオカワヂシャ			○			帰化
896	Veronica arvensis Linn.	タチイヌノフグリ	○	○	○	○	○	帰化
897	Veronica cana Wall. ex Benth. var. miqueliana（Nakai）Ohwi	クワガタソウ	○	○	○	○		
898	Veronica hederaefolia Linn.	フラサバソウ					○	帰化
899	Veronica persica Poir.	オオイヌノフグリ	○		○	○	○	帰化
900	Veronica undulata Wall.	カワヂシャ					○	環－準絶滅危惧種
Bignoniaceae		ノウゼンカヅラ科						
901	Catalpa ovata G. Don	キササゲ					○	逸出
Acanthaceae		キツネノマゴ科						
902	Dicliptera japonica（Thunb.）Makino var. subrotunda Matsuda	ハグロソウ		○	○	○		
903	Justicia procumbens Linn. var. leucantha Honda	キツネノマゴ	○	○	○	○	○	
Gesneriaceae		イワタバコ科						
904	Conandron ramondioides Sieb. et Zucc.	イワタバコ	○	○	○	○		
Orobanchaceae		ハマウツボ科						
905	Aeginetia indica Linn. var. gracilis Nakai	ナンバンギセル				○		
906	Lathraea japonica Miq.	ヤマウツボ	○		○			県内稀産種◎
Lentibulariaceae		タヌキモ科						
907	Utricularia tenuicaulis Miki	イヌタヌキモ			○			茨城－危急種
908	Utricularia yakusimensis Masam.	ムラサキミミカキグサ		○				茨城－絶滅危惧種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
Phrymaceae		ハエドクソウ科						
909	Phryma leptostachya Linn. subsp. asiatica	ハエドクソウ	○	○	○	○	○	
910	Phyrma oblongifolia Koidz.	ナガバハエドクソウ		○		○	○	
Plantaginaceae		オオバコ科						
911	Plantago asiatica Linn.	オオバコ	○	○	○	○	○	
912	Plantago japonica Franch. et Savat.	トウオオバコ			○		○	
913	Plantago lanceolata Linn.	ヘラオオバコ	○		○		○	帰化
914	Plantago major Linn.	セイヨウオオバコ					○	帰化
Caprifoliaceae		スイカズラ科						
915	Abelia integrifolia Koidz.	イワツクバネウツギ			○			茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
916	Abelia spathulata Sieb. et Zucc.	ツクバネウツギ	○	○	○	○	○	
917	Abelia spathulata Sieb. et Zucc. var. sanguinea Makino	ベニバナツクバネウツギ	○			○		
918	Abelia tetrasepala（Koidz.）Hara et Kurosawa	オオツクバネウツギ	○	○	○	○		
919	Lonicera gracilipes Miq.	ヤマウグイスカグラ	○	○	○	○		
920	Lonicera gracilipes Miq. var. glandulosa Maxim.	ミヤマウグイスカグラ	○	○				
921	Lonicera japonica Thunb.	スイカズラ	○	○	○	○	○	
922	Sambucus chinensis Lindl.	ソクズ				○	○	
923	Sambucus racemosa Linn. subsp. sieboldiana（Miq.）Hara	ニワトコ	○	○	○	○	○	
924	Viburnum awabuki K. Koch	サンゴジュ					○	逸出
925	Viburnum dilatatum Thunb.	ガマズミ	○	○	○	○	○	
926	Viburnum erosum Thunb.	コバノガマズミ	○	○	○	○	○	
927	Viburnum furcatum Blume	オオカメノキ	○	○				
928	Viburnum phlebotrichum Sieb. et Zucc.	オトコヨウゾメ	○	○	○	○		
929	Viburnum plicatum Thunb. var. tomentosum（Thunb.）Miq.	ヤブデマリ	○	○	○	○	○	
930	Viburnum wrightii Miq.	ミヤマガマズミ	○	○	○	○	○	
931	Viburnum wrightii Miq. var. stipellatum Nakai	オオミヤマガマズミ	○	○				
932	Weigela coraeensis Thunb.	ハコネウツギ					○	
933	Weigela decora（Nakai）Nakai	ニシキウツギ	○	○	○	○	○	
934	Weigela decora（Nakai）Nakai form. unicolor（Nakai）Hara	ベニバナニシキウツギ	○	○	○	○		
935	Weigela maximowiczii（S. Moore）Rehd.	キバナウツギ	○					茨城－希少種
Adoxaceae		レンプクソウ科						
936	Adoxa moschatellina Linn.	レンプクソウ	○	○		○		
Valerianaceae		オミナエシ科						
937	Patrinia scabiosaefolia Fisch.	オミナエシ	○	○	○		○	
938	Patrinia villosa（Thunb.）Juss.	オトコエシ	○	○	○	○		
939	Valeriana flaccidissima Maxim.	ツルカノコソウ	○	○	○	○	○	
Dipsacaceae		マツムシソウ科						
940	Dipsacus japonicus Miq.	ナベナ			○			茨城－希少種◎
Campanulaceae		キキョウ科						
941	Adenophora remotiflora（Sieb. et Zucc.）Miq.	ソバナ	○	○				
942	Adenophora triphylla（Thunb.）A. DC. var. japonica（Regel）Hara	ツリガネニンジン	○	○	○	○	○	
943	Campanula punctata Lam.	ホタルブクロ	○	○	○	○	○	
944	Campanumoea maximowiczii Honda	ツルギキョウ			○			茨城－希少種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
945	Codonopsis lanceolata（Sieb. et Zucc.）Trautv.	ツルニンジン	○	○	○	○		
946	Codonopsis ussuriensis（Rupr. et Maxim.）Hemsl.	バアソブ				○		
947	Lobelia chinensis Lour.	ミゾカクシ	○	○	○	○		
948	Lobelia sessilifolia Lamb.	サワギキョウ	○	○		○	○	
949	Peracarpa carnosa（Wall.）Hook. fil. et Thoms. var. circaeoides（Fr. Schm.）Makino	タニギキョウ	○	○	○	○		
950	Platycodon grandiflorum（Jacq.）A. DC.	キキョウ			○		○	茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
Compositae		キク科						
951	Achillea sibirica Ledeb.	ノコギリソウ		○				
952	Adenocaulon himalaicum Edgew.	ノブキ	○	○	○	○		
953	Ainsliaea acerifolia Sch.-Bip. var. subapoda Nakai	オクモミジハグマ	○	○	○	○		
954	Ainsliaea apiculata Sch.-Bip.	キッコウハグマ	○	○	○	○	○	
955	Ambrosia artemisiifolia Linn. var. elatior（Linn.）Desc.	ブタクサ		○	○	○	○	帰化
956	Anaphalis margaritacea（Linn.）Benth. et Hook. fil. var. angustior（Miq.）Nakai	ヤマハハコ	○	○	○			
957	Artemisia annua Linn.	クソニンジン			○			帰化，茨城－希少種◎
958	Artemisia capillaris Thunb.	カワラヨモギ	○	○	○	○	○	海浜植物◎

	学名	和名	1	2	3	4	5	備考
959	Artemisia iwayomogi Kitam.	イワヨモギ			○		○	逸出
960	Artemisia japonica Thunb.	オトコヨモギ	○	○	○		○	
961	Artemisia keiskeana Miq.	イヌヨモギ	○	○		○	○	
962	Artemisia princeps Pamp.	ヨモギ	○	○	○	○	○	
963	Artemisia stelleriana Bess.	シロヨモギ					○	茨城－危急種◎
964	Aster ageratoides Turcz. var. harae（Makino）Kitam. form. leucanthus Honda	ヤマシロギク	○	○	○	○	○	
965	Aster ageratoides Turcz. var. semiamplexicalius（Makino）Ohwi	イナカギク					○	
966	Aster glehnii Fr. Schm. var. hondoensis Kitam.	ゴマナ	○	○	○	○	○	
967	Aster mirocephalus（Miq.）Franch. et Savat. var. ovatus（Franch. et Savat.）Soejima et Mot. Ito	ノコンギク	○	○	○	○	○	
968	Aster rugulosus Maxim.	サワシロギク	○	○		○	○	
969	Aster scaber Thunb.	シラヤマギク	○	○	○	○	○	
970	Aster subulatus Michx. var. obtusifolius Fern.	ホウキギク				○	○	帰化
971	Atractylodes japonica Koidz. ex Kitam.	オケラ		○	○	○	○	
972	Bidens frondosa Linn.	アメリカセンダングサ	○	○	○	○	○	帰化
973	Bidens pilosa Linn.	コセンダングサ	○		○	○	○	帰化
974	Bidens tripartita Linn.	タウコギ				○	○	
975	Cacalia delphiniifolia Sieb. et Zucc.	モミジガサ	○	○	○	○		
976	Cacalia farfaraefolia Sieb. et Zucc. var. bulbifera（Maxim.）Kitam.	タマブキ	○	○	○	○		
977	Cacalia nikomontana Matsum.	オオカニコウモリ	○	○				県内稀産種◎
978	Cacalia yatabei Matsum. et Koidz.	ヤマタイミンガサ	○	○				
979	Carpesium abrotanoides Linn.	ヤブタバコ		○	○	○		
980	Carpesium cernuum Linn.	コヤブタバコ	○		○		○	
981	Carpesium divaricatum Sieb. et Zucc.	ガンクビソウ	○	○	○	○	○	
982	Carpesium glossophyllum Maxim.	サジガンクビソウ		○	○	○	○	
983	Carpesium macrocephalum Franch. et Savat.	オオガンクビソウ			○			県内稀産種◎
984	Carpesium matsuei Tatew. et Kitam.	ノッポロガンクビソウ	○	○		○		
985	Carpesium triste Maxim.	ミヤマヤブタバコ	○	○				
986	Centipeda minima（Linn.）A. Braun et Aschers.	トキンソウ			○	○	○	
987	Chrysanthemum makinoi Matsum. et Nakai	リュウノウギク			○	○	○	
988	Cirsium japonicum DC.	ノアザミ	○		○	○	○	
989	Cirsium microspicatum Nakai	アズマヤマアザミ	○	○	○	○		
990	Cirsium nipponicum（Maxim.）Makino	ナンブアザミ	○					
991	Cirsium nipponicum（Maxim.）Makino var. incomptum（Franch. et Savat.）Kitam.	トネアザミ	○	○	○	○	○	
992	Cirsium oligophyllum（Franch. et Savat.）Matsum.	ノハラアザミ	○	○	○	○	○	
993	Cirsium sieboldii Miq.	キセルアザミ	○	○				
994	Conyza bonariensis（Linn.）Cronq.	アレチノギク					○	帰化
995	Conyza sumatrensis（Retz.）Walker	オオアレチノギク		○		○	○	帰化
996	Coreopsis lanceolata Linn.	オオキンケイギク			○			帰化
997	Crassocephalum crepidioides（Benth.）S. Moore	ベニバナボロギク		○	○	○	○	帰化
998	Dendranthema arcticum（Linn.）Tzvelev subsp. maekawanum Kitam.	コハマギク					○	茨城－希少種，海浜植物◎
999	Dendranthema boreale（Makino）Kitam.	キクタニギク			○			
1000	Eclipta prostrata（Linn.）Linn.	タカサブロウ			○	○	○	
1001	Erechtites hieracifolia（Linn.）Rafin.	ダンドボロギク	○	○	○		○	帰化
1002	Erigeron canadensis Linn.	ヒメムカシヨモギ		○	○	○	○	帰化
1003	Erigeron philadelphicus Linn.	ハルジオン	○	○	○	○	○	帰化
1004	Eupatorium chinense Linn. var. oppositifolium（Koidzumi）Murata et H. Koyama	ヒヨドリバナ	○	○	○	○	○	
1005	Eupatorium lindleyanum DC.	サワヒヨドリ	○	○	○	○	○	
1006	Eupatorium lindleyanum DC. form. villosissimum Honda	ケブカサワヒヨドリ					○	
1007	Farfugium japonicum（Linn.）Kitam.	ツワブキ					○	海浜植物◎
1008	Galinsoga ciliata（Raf.）Blake	ハキダメギク	○			○	○	帰化
1009	Gnaphalium affine D. Don	ハハコグサ	○		○	○	○	
1010	Gnaphalium hypoleucum DC.	アキノハハコグサ		○	○			環－絶滅危惧ＩＢ類
1011	Gnaphalium japonicum Thunb.	チチコグサ			○	○	○	
1012	Gnaphalium pensylvanicum Willd.	チチコグサモドキ			○	○		帰化
1013	Gnaphalium purpureum Linn.	ウスベニチチコグサ			○	○		帰化
1014	Gnaphalium spicatum Lam.	ウラジロチチコグサ			○	○	○	帰化
1015	Helianthus strumosus Linn.	イヌキクイモ			○			帰化
1016	Helianthus tuberosus Linn.	キクイモ	○	○	○		○	帰化
1017	Hemistepa lyrata Bunge	キツネアザミ	○	○				
1018	Hypochoeris radicata Linn.	ブタナ			○	○	○	帰化
1019	Inula japonica Thunb.	オグルマ		○				
1020	Inula salicina Linn. var. asiatica Kitam.	カセンソウ		○	○		○	
1021	Ixeris debilis（Thunb.）A. Gray	オオジシバリ		○	○	○	○	
1022	Ixeris dentata（Thunb.）Nakai	ニガナ	○	○	○	○	○	
1023	Ixeris dentata（Thunb.）Nakai var. albiflora（Makino）Nakai	シロバナハナニガナ	○	○				
1024	Ixeris dentata（Thunb.）Nakai var. albiflora（Makino）Nakai form. amplifolia（Kitam.）Hiyama	ハナニガナ	○	○	○			
1025	Ixeris repens（Linn.）A. Gray	ハマニガナ				○	○	海浜植物◎
1026	Ixeris stolonifera A. Gray	イワニガナ	○	○	○	○	○	
1027	Kalimeris pinnatifida（Maxim.）Kitam.	ユウガギク	○	○	○	○	○	
1028	Lactuca indica Linn. var. laciniata（O. Kuntze）Hara	アキノノゲシ		○	○	○	○	
1029	Lactuca raddeana Maxim. var. elata（Hemsl.）Kitam.	ヤマニガナ	○	○	○		○	
1030	Lactuca sororia Miq. var. pilipes（Migo）Kitam.	ケムラサキニガナ	○	○	○	○	○	
1031	Lapsana apogonoides Maxim.	コオニタビラコ		○	○		○	
1032	Lapsana humilis（Thunb.）Makino	ヤブタビラコ			○	○	○	
1033	Leibnitzia anandria（Linn.）Turcz.	センボンヤリ	○	○	○	○	○	
1034	Ligularia fischeri（Ledeb.）Turcz.	オタカラコウ	○	○	○			県内稀産種◎
1035	Ligularia stenocephala（Maxim.）Matsum. et Koidz.	メタカラコウ	○	○				
1036	Miricacalia makineana（Yatabe）Kitam.	オオモミジガサ	○					
1037	Nipponanthemum nipponicum（Franch.ex Maxim.）Kitam.	ハマギク					○	茨城－希少種，海浜植物◎
1038	Pertya glabrescens Sch.-Bip.	ナガバノコウヤボウキ	○		○	○	○	

学名	和名	1	2	3	4	5	備考
1039 Pertya koribana（Nakai）Makino et Nemoto	センダイハグマ	○					
1040 Pertya robusta（Maxim.）Beauv.	カシワバハグマ	○	○	○	○	○	
1041 Pertya scandens（Thunb.）Sch.-Bip.	コウヤボウキ	○	○	○	○	○	
1042 Pertya suzukii Kitam.	イワキハグマ	○	○				茨城－危急種◎
1043 Pertya triloba（Makino）Makino	オヤリハグマ	○	○	○	○		茨城－希少種◎
1044 Petasites japonicus（Sieb. et Zucc.）Maxim.	フキ	○	○	○	○	○	
1045 Picris hieracioides Linn. var. glabrescens（Regel）Ohwi	コウゾリナ	○	○	○	○	○	県内稀産種◎
1046 Prenanthes acerifolia（Maxim.）Matsum.	フクオウソウ	○	○	○	○		
1047 Prenanthes tanakae（Franch. et Savat.）Koidz.	オオニガナ		○				環－絶滅危惧Ⅱ類
1048 Rhynchospermum verticillatum Reinw. ex Blume	シュウブンソウ			○	○		茨城－絶滅危惧種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
1049 Saussurea nipponica Miq. subsp. sendaica（Franch.）Kitam.	センダイトウヒレン	○	○		○		茨城－希少種
1050 Saussurea ussuriensis Maxim.	キクアザミ			○		○	
1051 Senecio cannabifolius Less.	ハンゴンソウ	○	○				
1052 Senecio flammeus Turcz. ex DC. subsp. glabrifolius（Cufod.）Kitam.	コウリンカ		○				茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
1053 Senecio nemorensis Linn.	キオン		○				茨城－希少種◎
1054 Senecio nikoensis Miq.	サワギク	○	○		○		県内稀産種◎
1055 Senecio pierotii Miq.	サワオグルマ	○	○				県内稀産種◎
1056 Senecio vulgaris Linn.	ノボロギク	○		○	○	○	帰化
1057 Serratula coronata Linn. subsp. insularis（Iljin）Kitamura	タムラソウ				○	○	
1058 Siegesbeckia glabrescens（Makino）Makino	コメナモミ			○	○	○	茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
1059 Siegesbeckia orientalis Linn. subsp. pubescens（Makino）Kitam.	メナモミ	○	○	○	○		
1060 Solidago altissima Linn.	セイタカアワダチソウ	○	○	○	○	○	帰化
1061 Solidago gigantea Ait. var. leiophylla Fern.	オオアワダチソウ			○		○	帰化
1062 Solidago virgaurea Linn. var. asiatica Nakai	アキノキリンソウ	○	○	○	○	○	
1063 Sonchus asper（Linn.）Hill	オニノゲシ			○		○	帰化
1064 Sonchus brachyotus DC.	ハチジョウナ					○	海浜植物◎
1065 Sonchus oleraceus Linn.	ノゲシ			○	○	○	帰化
1066 Stenactis annuus（Linn.）Pers.	ヒメジョオン	○	○	○	○	○	帰化
1067 Stenactis strigosus（Muhl.）DC.	ヘラバヒメジョオン			○		○	帰化
1068 Syneilesis palmata（Thunb.）Maxim.	ヤブレガサ	○	○	○	○		
1069 Synurus pungens（Franch. et Savat.）Kitam.	オヤマボクチ	○	○				
1070 Taraxacum hondoense Nakai ex H. Koidz.	エゾタンポポ	○	○	○	○		
1071 Taraxacum officinale Weber	セイヨウタンポポ	○	○	○	○	○	帰化
1072 Taraxacum platycarpum Dahlst.	カントウタンポポ		○	○	○	○	
1073 Xanthium occidentale Bertoloni	オオオナモミ			○	○	○	帰化
1074 Youngia denticulata（Houtt.）Kitam.	ヤクシソウ	○	○	○	○	○	
1075 Youngia japonica（Linn.）DC.	オニタビラコ	○	○	○	○	○	
MONOCOTYLEDONEAE	**単子葉植物**						
Alismataceae	オモダカ科						
1076 Alisma canaliculatum A. Br. et Bouche'	ヘラオモダカ	○					
1077 Sagittaria aginashi（Makino）Makino	アギナシ		○				環－準絶滅危惧種
1078 Sagittaria pygmaea Miq.	ウリカワ			○	○		
1079 Sagittaria trifolia Linn.	オモダカ	○	○	○	○		
Hydrocharitaceae	トチカガミ科						
1080 Blyxa japonica（Miq.）Maxim.	ヤナギスブタ			○			
1081 Ottelia alismoides（Linn.）Pers.	ミズオオバコ			○			
Potamogetonaceae	ヒルムシロ科						
1082 Potamogeton distinctus A. Benn.	ヒルムシロ		○	○	○		
1083 Potamogeton natans Linn.	オヒルムシロ			○			
Najadaceae	イバラモ科						
1084 Najas graminea Del.	ホッスモ			○			
Liliaceae	ユリ科						
1085 Aletris luteo-viride Maxim.	ノギラン	○	○			○	茨城－希少種
1086 Allium grayi Regel	ノビル				○	○	
1087 Allium monanthum Maxim.	ヒメニラ	○					
1088 Allium thunbergii G. Don	ヤマラッキョウ					○	
1089 Amana edulis（Miq.）Honda	アマナ	○			○		茨城－希少種
1090 Disporum sessile D. Don	ホウチャクソウ	○	○	○	○	○	
1091 Disporum smilacinum A. Gray	チゴユリ	○	○	○	○	○	
1092 Erythronium japonicum Decne.	カタクリ	○			○		
1093 Erythronium japonicum Decne. form. leucanthum Okuyama	シロバナカタクリ	○					
1094 Gagea lutea（Linn.）Ker-Gawl.	キバナノアマナ	○					
1095 Heloniopsis orientalis（Thunb.）C. Tanaka	ショウジョウバカマ		○	○	○	○	
1096 Hemerocallis esculenta Koidz.	ゼンテイカ				○		
1097 Hemerocallis fulva Linn. var. kwanso Regel	ヤブカンゾウ		○		○	○	
1098 Hemerocallis longituba Miq.	ノカンゾウ				○	○	
1099 Hosta longipes（Franch. et Savat.）Matsum.	イワギボウシ			○			県内稀産種◎
1100 Hosta sieboldiana（Lodd.）Engler var. gigantea（Bailey）Kitam.	オオバギボウシ（トウギボウシ）		○	○	○	○	
1101 Hosta sieboldii（Paxton）J. Ingram form. lancifolia（Miq.）Hara	コバギボウシ	○	○	○	○	○	
1102 Lilium auratum Lindl.	ヤマユリ	○	○	○	○	○	
1103 Lilium cordatum（Thunb.）Koidz.	ウバユリ	○	○	○	○		
1104 Lilium leichtlinii Hook. fil. var. tigrinum（Regel）Nichols.	コオニユリ	○	○	○	○	○	
1105 Lilium maculatum Thunb.	スカシユリ					○	海浜植物◎
1106 Liriope minor（Maxim.）Makino	ヒメヤブラン	○	○	○	○	○	
1107 Liriope platyphylla Wang et Tang	ヤブラン			○	○	○	
1108 Lloydia triflora（Ledeb.）Baker	ホソバノアマナ	○	○		○		茨城－希少種◎
1109 Maianthemum bifolium（Linn.）F. W. Schm.	ヒメマイヅルソウ	○	○				茨城－危急種◎
1110 Maianthemum dilatatum（Wood）Nels. et Macbr.	マイヅルソウ	○	○				茨城－危急種◎
1111 Ophiopogon japonicus（Linn. fil.）Ker-Gawl.	ジャノヒゲ			○	○	○	
1112 Ophiopogon ohwii Okuyama	ナガバジャノヒゲ				○		

	学名	和名	1	2	3	4	5	備考
1113	Ophiopogon planiscapus Nakai	オオバジャノヒゲ		○	○	○	○	
1114	Paris tetraphylla A. Gray	ツクバネソウ	○	○	○			
1115	Polygonatum falcatum A. Gray	ナルコユリ	○	○	○	○		
1116	Polygonatum humile Fisch.	ヒメイズイ					○	海浜植物◎
1117	Polygonatum lasianthum Maxim.	ミヤマナルコユリ	○	○	○	○		
1118	Polygonatum macranthum（Maxim.）Koidz.	オオナルコユリ		○	○	○		
1119	Polygonatum odoratum（Mill.）Druce var. pluriflorum（Miq.）Ohwi	アマドコロ	○	○		○		
1120	Reineckea carnea（Andr.）Kunth	キチジョウソウ			○			県内稀産種◎
1121	Rohdea japonica（Thunb.）Roth	オモト				○	○	逸出
1122	Scilla scilloides（Lindl.）Druce	ツルボ			○	○	○	
1123	Smilacina japonica A. Gray	ユキザサ	○	○				
1124	Smilax china Linn.	サルトリイバラ	○	○	○	○	○	
1125	Smilax nipponica Miq.	タチシオデ		○	○	○	○	
1126	Smilax riparia A. DC. var. ussuriensis（Regel）Hara et T. Koyama	シオデ	○	○	○	○		
1127	Smilax sieboldii Miq.	ヤマカシュウ	○	○	○	○		
1128	Tricyrtis affinis（Thunb.）Hook.	ヤマジノホトトギス	○	○	○	○		
1129	Trillium smallii Maxim.	エンレイソウ	○	○	○	○		
1130	Trillium tschonoskii Maxim.	シロバナエンレイソウ	○	○				
1131	Trillium x miyabeanum	ヒダカエンレイソウ	○			○		県内稀産種◎
1132	Veratrum grandiflorum（Maxim.）Loes. fil.	バイケイソウ	○	○				県内稀産種◎
Amaryllidaceae		ヒガンバナ科						
1133	Lycoris radiata（L' Herit.）Herb.	ヒガンバナ			○	○		
1134	Lycoris sanguinea Maxim.	キツネノカミソリ	○	○	○	○	○	
1135	Lycoris squamigera Maxim.	ナツズイセン		○				帰化
Dioscoreaceae		ヤマノイモ科						
1136	Dioscorea gracillima Miq.	タチドコロ	○	○	○	○	○	
1137	Dioscorea japonica Thunb.	ヤマノイモ	○	○	○	○	○	
1138	Dioscorea nipponica Makino	ウチワドコロ	○					
1139	Dioscorea septemloba Thunb.	キクバドコロ		○	○			
1140	Dioscorea tokoro Makino	オニドコロ	○	○	○	○	○	
Pontederiaceae		ミズアオイ科						
1141	Monochoria vaginalis（Burm. fil.）Presl var. plantaginea（Roxb.）Solms-Laub.	コナギ			○	○	○	
Iridaceae		アヤメ科						
1142	Iris ensata Thunb. var. spontanea（Makino）Nakai	ノハナショウブ	○	○	○	○	○	
1143	Iris japonica Thunb.	シャガ			○	○		
1144	Iris pseudoacorus Linn.	キショウブ			○	○	○	逸出
1145	Iris sanguinea Hornem.	アヤメ	○		○	○	○	
1146	Sisyrinchium atlanticum Bickn.	ニワゼキショウ			○	○	○	帰化
1147	Sisyrinchium bermudianum	ルリイロニワゼキショウ				○	○	
1148	Tritonia crocosmaeflora Lemoine	ヒメヒオウギズイセン			○	○	○	逸出
Juncaceae		イグサ科						
1149	Juncus diastrophanthus Buchen.	ヒロハノコウガイゼキショウ			○			
1150	Juncus effusus Linn. var. decipiens Buchen.	イグサ	○	○	○	○	○	
1151	Juncus leschenaultii Gay	コウガイゼキショウ	○		○	○	○	
1152	Juncus sethuensis Buchen. var. effusoides Buchen.	ホソイ			○			
1153	Juncus tenuis Willd.	クサイ	○	○	○	○	○	
1154	Juncus wallichianus Laharpe	ハリコウガイゼキショウ	○	○				
1155	Juncus yokoscensis（Franch. et Savat.）Satake	イヌイ					○	
1156	Luzula capitata（Miq.）Nakai	スズメノヤリ	○	○	○	○	○	
1157	Luzula multiflora Lejeune	ヤマスズメノヒエ			○	○		
1158	Luzula plumosa E. Meyer var. macrocarpa（Buchen.）Ohwi	ヌカボシソウ	○	○	○	○		
Commelinaceae		ツユクサ科						
1159	Commelina communis Linn.	ツユクサ	○	○	○	○	○	
1160	Murdannia keisak Hassk.	イボクサ	○			○	○	
1161	Pollia japonica Thunb.	ヤブミョウガ			○	○		
Eriocaulaceae		ホシクサ科						
1162	Eriocaulon hondoense Satake	ニッポンイヌノヒゲ	○			○		
1163	Eriocaulon robustius（Maxim.）Makino	ヒロハノイヌノヒゲ	○	○	○	○	○	
1164	Eriocaulon sieboldtianum Sieb. et Zucc. ex Steud.	ホシクサ		○		○		
Poaceae		イネ科						
1165	Agropyron japonense Honda	タチカモジグサ			○	○	○	
1166	Agropyron racemiferum（Steud.）Koidz.	アオカモジグサ			○	○		
1167	Agropyron tsukushiense（Honda）Ohwi var. transiens（Hack.）Ohwi	カモジグサ			○	○	○	
1168	Agrostis clavata Trin.	ヤマヌカボ		○		○		
1169	Agrostis clavata Trin. subsp. matsumurae（Hack. ex Honda）T.Tateoka	ヌカボ	○	○	○	○	○	
1170	Agrostis gigantea Roth	コヌカグサ		○		○	○	帰化
1171	Agrostis nipponensis Honda	ヒメコヌカグサ				○		茨城－絶滅危惧種，環－準絶滅危惧種
1172	Alopecurus aequalis Sobol.	ノハラスズメノテッポウ			○			
1173	Alopecurus aequalis Sobol. var. amurensis（Komarov）Ohwi	スズメノテッポウ				○		
1174	Alopecurus pratensis Linn.	オオスズメノテッポウ			○			帰化
1175	Andropogon virginicus Linn.	メリケンカルカヤ			○	○	○	帰化
1176	Anthoxanthum odoratum Linn.	ハルガヤ	○	○	○	○		帰化
1177	Arthraxon hispidus（Thunb.）Makino	コブナグサ	○	○	○	○	○	
1178	Arundinella hirta（Thunb.）C. Tanaka	トダシバ	○	○	○	○	○	
1179	Asperella longe-aristata Ohwi	アズマガヤ	○	○	○	○		
1180	Avena fatua Linn.	カラスムギ			○			帰化
1181	Brachyelytrum japonicum Hack. apud Matsum.	コウヤザサ		○				
1182	Brachypodium sylvaticum（Huds.）P. Beauv. var. miserum Koidz.	ヤマカモジグサ	○	○	○	○	○	
1183	Briza maxima Linn.	コバンソウ			○			帰化
1184	Bromus catharticus Vahl	イヌムギ				○	○	帰化

	学名	和名	1	2	3	4	5	備考
1185	Bromus japonicus Thunb.	スズメノチャヒキ					○	
1186	Bromus pauciflorus（Thunb.）Hack.	キツネガヤ	○	○	○	○		
1187	Bromus rigidus Roth	ヒゲナガスズメノチャヒキ					○	帰化
1188	Bromus tectorum Linn.	ウマノチャヒキ			○			帰化
1189	Brylkinia caudata（Munro）Fr. Schm.	ホガエリガヤ	○	○				県内稀産種◎
1190	Calamagrostis arundinacea（Linn.）Roth var. brachytricha（Steud.）Hack.	ノガリヤス	○	○	○	○	○	
1191	Calamagrostis epigeios（Linn.）Roth	ヤマアワ	○	○	○	○	○	
1192	Calamagrostis hakonensis Franch. et Savat.	ヒメノガリヤス	○	○	○		○	
1193	Cymbopogon tortilis（Presl）A. Camus var. goeringii（Steud.）Hand.-Mazz.	オガルカヤ				○	○	
1194	Cynodon dactylon（Linn.）Pers.	ギョウギシバ			○		○	
1195	Dactylis glomerata Linn.	カモガヤ	○	○	○	○	○	帰化
1196	Diarrhena japonica Franch. et Savat.	タツノヒゲ	○	○	○			
1197	Digitaria ciliaris（Retz.）Koel.	メヒシバ		○	○	○	○	
1198	Digitaria timorensis（Kunth）Balansa	コメヒシバ			○			
1199	Digitaria violascens Link	アキメヒシバ		○		○	○	
1200	Dimeria ornithopoda Trin. var. tenera（Trin.）Hack.	カリマタガヤ		○				
1201	Dimeria ornithopoda Trin. var. tenera（Trin.）Hack. form. microchaeta Hack.	ヒメカリマタガヤ		○				
1202	Eccoilopus cotulifer（Thunb.）A. Camus	アブラススキ		○	○	○	○	
1203	Echinochloa crus-galli（Linn.）Beauv.	イヌビエ	○		○	○	○	
1204	Eleusine indica（Linn.）Gaertn.	オヒシバ			○	○	○	
1205	Elymus mollis Trin.	テンキグサ					○	海浜植物◎
1206	Eragrostis curvula（Schrad.）Nees	シナダレスズメガヤ		○	○	○		逸出
1207	Eragrostis ferruginea（Thunb.）Beauv.	カゼクサ	○	○	○	○	○	
1208	Eragrostis poaeoides Beauv.	コスズメガヤ				○		帰化
1209	Festuca arundinacea Schreb.	オニウシノケグサ		○	○	○	○	逸出
1210	Festuca elatior Linn.	ヒロハノウシノケグサ			○			帰化
1211	Festuca myuros Linn.	ナギナタガヤ			○	○	○	帰化
1212	Festuca ovina Linn.	ウシノケグサ			○			
1213	Festuca parvigluma Steud.	トボシガラ	○	○	○	○	○	
1214	Glyceria depauperata Ohwi	ヒメウキガヤ				○		
1215	Glyceria ischyroneura Steud.	ドジョウツナギ			○	○	○	
1216	Hemarthria sibirica（Gandog.）Ohwi	ウシノシッペイ	○		○	○	○	
1217	Hierochloe glabra Trin. subsp. sachalinensis（Printz）Tzvelev	コウボウ	○					
1218	Holcus lanatus Linn.	シラゲガヤ	○	○	○			逸出
1219	Hordeum murinum Linn.	ムギクサ					○	逸出
1220	Imperata cylindrica（Linn.）Beauv. var. koenigii（Retz.）Durand et Schinz	チガヤ	○		○	○	○	
1221	Isachne globosa（Thunb.）O. Kuntze	チゴザサ	○	○		○	○	
1222	Ischaemum anthephoroides（Steud.）Miq.	ケカモノハシ					○	海浜植物◎
1223	Ischaemum aristatum Linn. var. glaucum（Honda）T. Koyama	カモノハシ					○	
1224	Leersia sayanuka Ohwi	サヤヌカグサ		○	○	○	○	
1225	Lolium multiflorum Lam.	ネズミムギ					○	逸出
1226	Lolium perenne Linn.	ホソムギ				○	○	逸出
1227	Lophatherum gracile Brongn.	ササクサ				○		茨城－希少種◎
1228	Melica nutans Linn.	コメガヤ		○				
1229	Microstegium japonicum（Miq.）Koidz.	ササガヤ		○	○	○	○	
1230	Microstegium vimineum（Trin.）A. Camus	ヒメアシボソ		○	○	○	○	
1231	Microstegium vimineum（Trin.）A. Camus var. polystachyum（Franch. et Savat.）Ohwi	アシボソ	○	○	○	○	○	
1232	Milium effusum Linn.	イブキヌカボ	○	○				
1233	Miscanthus sacchariflorus（Maxim.）Benth.	オギ	○		○	○	○	
1234	Miscanthus sinensis Anders.	ススキ	○	○	○	○	○	
1235	Molinia japonica Hack.	ヌマガヤ	○	○		○	○	
1236	Muhlenbergia hakonensis（Hack.）Makino	タチネズミガヤ		○				
1237	Muhlenbergia japonica Steud.	ネズミガヤ	○	○	○	○		
1238	Muhlenbergia longistolon Ohwi	オオネズミガヤ	○		○			
1239	Oplismenus japonicus Honda	コチヂミザサ	○	○	○	○	○	
1240	Oplismenus undulatifolius（Ard.）Roemer et Schultes	ケチヂミザサ	○	○	○	○	○	
1241	Panicum bisulcatum Thunb.	ヌカキビ	○	○	○	○	○	
1242	Panicum dichotomiflorum Michx.	オオクサキビ		○		○	○	帰化
1243	Paspalum notatum Flu:gge'	アメリカスズメノヒエ					○	帰化
1244	Paspalum thunbergii Kunth ex Steud.	スズメノヒエ	○	○	○	○		
1245	Pennisetum alopecuroides（Linn.）Spreng.	チカラシバ	○	○	○	○	○	
1246	Phalaris arundinacea Linn.	クサヨシ			○	○	○	
1247	Phleum pratense Linn.	オオアワガエリ	○	○				逸出
1248	Phragmites australis（Cav.）Trin. ex Steud.	ヨシ	○	○	○	○	○	
1249	Phragmites japonica Steud.	ツルヨシ	○		○	○	○	
1250	Phyllostachys bambusoides Sieb. et Zucc.	マダケ				○		逸出
1251	Pleioblastus chino（Franch. et Savat.）Makino	アズマネザサ	○	○	○	○	○	
1252	Poa acroleuca Steud.	ミゾイチゴツナギ			○	○	○	
1253	Poa acroleuca Steud. var. submoniliformis Makino	タマミゾイチゴツナギ	○					
1254	Poa annua Linn.	スズメノカタビラ		○		○	○	
1255	Poa hisauchii Honda	ヤマミゾイチゴツナギ	○	○		○		
1256	Poa pratensis Linn.	ナガハグサ					○	帰化
1257	Poa sphondylodes Trin.	イチゴツナギ	○		○		○	
1258	Poa tuberifera Faurie ex Hack.	ムカゴツヅリ	○	○		○		
1259	Polypogon fugax Steud.	ヒエガエリ					○	
1260	Pseudosasa japonica（Sieb. et Zucc. ex Steud.）Makino	ヤダケ		○	○	○	○	
1261	Sacciolepis indica（Linn.）Chase var. oryzetorum（Makino）Ohwi	ヌメリグサ	○	○				
1262	Sacciolepis spicata（Linn.）Honda	ハイヌメリ			○	○		
1263	Sasa nipponica（Makino）Makino et Shibata	ミヤコザサ	○	○	○	○	○	
1264	Sasa veitchii（Carr.）Rehd.	クマザサ			○			逸出

	学名	和名	1	2	3	4	5	備考
1265	Sasaella ramosa（Makino）Makino	アズマザサ		○	○	○	○	
1266	Sasamorpha borealis（Hack.）Nakai	スズダケ	○	○	○	○		
1267	Sasamorpha mollis Nakai	ケスズ	○					
1268	Setaria chondrachne（Steud.）Honda	イヌアワ				○		
1269	Setaria faberi Herrm.	アキノエノコログサ	○			○	○	
1270	Setaria glauca（Linn.）Beauv.	キンエノコロ	○	○	○	○	○	
1271	Setaria pallide-fusca（Schumach.）Stapf et C. E. Hubb.	コツブキンエノコロ				○		
1272	Setaria viridis（Linn.）Beauv.	エノコログサ	○	○		○	○	
1273	Setaria viridis（Linn.）Beauv. var. pachystachys（Franch. et Savat.）Makino et Nemoto	ハマエノコロ					○	海浜植物◎
1274	Shibataea kumasasa（Zoll.）Nakai	オカメザサ	○			○		逸出
1275	Spodiopogon sibiricus Trin.	オオアブラススキ	○	○	○	○		
1276	Sporobolus fertilis（Steud.）W. Clayton	ネズミノオ		○	○	○	○	
1277	Sporobolus japonicus（Steud.）Maxim.	ヒゲシバ		○				茨城－希少種
1278	Stipa coreana Honda var. kengii Ohwi	ヒロハノハネガヤ	○	○				
1279	Themeda japonica（Willd.）C. Tanaka	メガルカヤ	○		○			
1280	Trisetum bifidum（Thunb.）Ohwi	カニツリグサ	○	○	○	○	○	
1281	Zizania latifolia Turcz.	マコモ					○	
1282	Zoysia japonica Steud.	シバ		○	○	○	○	
1283	Zoysia macrostachya Franch. et Savat.	オニシバ					○	海浜植物◎
Palmae		ヤシ科						
1284	Trachycarpus fortunei（Hook.）H. Wendl.	シュロ			○	○	○	逸出
Araceae		サトイモ科						
1285	Acorus calamus Linn. var. angustatus Bess.	ショウブ	○	○	○	○	○	
1286	Acorus gramineus Soland.	セキショウ		○	○	○		
1287	Arisaema limbatum Nakai et F. Maekawa	ミミガタテンナンショウ	○	○	○	○		
1288	Arisaema monophyllum Nakai	ヒトツバテンナンショウ	○					県内稀産種◎
1289	Arisaema peniusulae Nakai	コウライテンナンショウ	○	○				
1290	Arisaema serratum（Thunb.）Schott	マムシグサ	○	○	○	○	○	
1291	Arisaema takadae Makino	オオマムシグサ	○	○				
1292	Arisaema urashima Hara	ウラシマソウ	○		○	○	○	
1293	Lysichitum camtschatcense（Linn.）Schott	ミズバショウ	○					植栽
1294	Pinellia ternata（Thunb.）Breitenb.	カラスビシャク				○		
1295	Pinellia ternata（Thunb.）Breitenb. form. atropurpurea（Makino）Ohwi	ムラサキハンゲ				○		
1296	Symplocarpus foetidus Nutt. var. latissimus（Makino）Hara	ザゼンソウ	○					茨城－希少種
1297	Symplocarpus nipponicus Makino	ヒメザゼンソウ	○					茨城－希少種◎
Lemnaceae		ウキクサ科						
1298	Lemna aoukikusa Beppu et Murata	アオウキクサ	○		○	○		
1299	Spirodela polyrhiza（Linn.）Schleid.	ウキクサ			○	○		
Sparganiaceae		ミクリ科						
1300	Sparganium japonicum Rothert	ナガエミクリ	○		○			茨城－危急種，環－準絶滅危惧種◎
Typhaceae		ガマ科						
1301	Typha domingensis Pers.	ヒメガマ			○	○		
1302	Typha latifolia Linn.	ガマ		○		○		
1303	Typha orienatalis Presl	コガマ			○	○	○	
Cyperaceae		カヤツリグサ科						
1304	Carex albata Boott	ミノボロスゲ	○	○	○	○	○	
1305	Carex alterniflora Franch.	オオイトスゲ（シロイトスゲ）	○	○	○			
1306	Carex aphanolepis Franch. et Savat.	エナシヒゴクサ	○	○	○	○		
1307	Carex biwensis Franch.	マツバスゲ	○	○				
1308	Carex blepharicarpa Franch.	ショウジョウスゲ			○	○	○	
1309	Carex confertiflora Boott	ミヤマシラスゲ	○	○	○	○		
1310	Carex conica Boott	ヒメカンスゲ	○	○	○	○	○	
1311	Carex curvicollis Franch. et Savat.	ナルコスゲ	○	○	○			
1312	Carex dickinsii Franch. et Savat.	オニスゲ		○		○		
1313	Carex dimorpholepis Steud.	アゼナルコ					○	
1314	Carex dispalata Boott	カサスゲ	○	○	○	○	○	
1315	Carex dissitiflora Franch.	ミヤマジュズスゲ	○	○		○		県内稀産種◎
1316	Carex doniana Spreng.	シラスゲ			○	○	○	
1317	Carex duvaliana Franch. et Savat.	ケスゲ			○			県内稀産種◎
1318	Carex fernaldiana Le'v. et Van.	イトスゲ		○				
1319	Carex fibrillosa Franch. et savat.	ハマアオスゲ					○	海浜植物◎
1320	Carex filipes Franch. et Savat.	タマツリスゲ	○		○			
1321	Carex forficula Franch. et Savat.	タニガワスゲ	○					
1322	Carex fulta Franch.	ニッコウハリスゲ		○				
1323	Carex gibba Wahlenb.	マスクサ			○			
1324	Carex grallatoria Maxim.	ヒナスゲ	○	○	○	○		
1325	Carex grallatoria Maxim. var. heteroclita（Franch.）Kuekenth.	サナギスゲ	○	○				
1326	Carex heterolepis Bunge	ヤマアゼスゲ	○					
1327	Carex incisa Boott	カワラスゲ	○	○	○	○		
1328	Carex ischnostachya Steud.	ジュズスゲ	○	○	○	○	○	
1329	Carex japonica Thunb.	ヒゴクサ	○	○	○	○		
1330	Carex kiotensis Franch. et Savat.	テキリスゲ	○		○			
1331	Carex kobomugi Ohwi	コウボウムギ					○	海浜植物◎
1332	Carex lanceolata Boott	ヒカゲスゲ	○	○	○	○		
1333	Carex lasiolepis Franch.	アズマスゲ	○				○	
1334	Carex lenta D. Don	ナキリスゲ			○	○	○	
1335	Carex leucochlora Bunge	アオスゲ	○	○	○	○		
1336	Carex macroglossa Franch. et Savat.	コジュズスゲ	○	○	○	○		
1337	Carex maximowiczii Miq.	ゴウソ	○	○		○		
1338	Carex mitrata Franch.	ヌカスゲ			○			

	学名	和名	1	2	3	4	5	備考
1339	Carex miyabei Franch.	ビロードスゲ	○			○		
1340	Carex mollicula Boott	ヒメシラスゲ	○	○	○	○		
1341	Carex morrowii Boott	カンスゲ	○	○	○	○	○	
1342	Carex multifolia Ohwi	ミヤマカンスゲ	○	○	○	○	○	
1343	Carex nanella Ohwi	ホソバヒカゲスゲ	○	○	○	○	○	
1344	Carex nervata Franch. et Savat.	シバスゲ	○	○		○		
1345	Carex omiana Franch. et Savat.	ヤチカワズスゲ	○	○				
1346	Carex otaruensis Franch.	オタルスゲ	○					
1347	Carex oxyandra（Franch. et Savat.）Kudo	ヒメスゲ	○					茨城－絶滅危惧種
1348	Carex papulosa Boott	エゾツリスゲ		○				茨城－希少種◎
1349	Carex phacota Spreng. var. gracilispica Kuekenth.	ヒメゴウソ			○	○		
1350	Carex planata Franch. et Savat.	タカネマスクサ			○			
1351	Carex podogyna Franch. et Savat.	タヌキラン					○	
1352	Carex pumila Thunb.	コウボウシバ					○	海浜植物◎
1353	Carex reinii Franch. et Savat.	コカンスゲ	○	○	○	○		
1354	Carex rhizopoda Maxim.	シラコスゲ	○	○	○	○		
1355	Carex rochebrunii Franch. et Savat.	ヤブスゲ			○			
1356	Carex rugata Ohwi	クサスゲ	○	○	○	○		
1357	Carex sachalinensis Fr. Schm.	ゴンゲンスゲ		○				
1358	Carex siderosticta Hance	タガネソウ	○	○	○	○	○	
1359	Carex thunbergii Steud.	アゼスゲ	○	○		○		
1360	Carex tristachya Thunb.	モエギスゲ			○	○	○	
1361	Carex vesicaria Linn.	オニナルコスゲ				○		
1362	Cyperus amuricus Maxim. var. japonicus Miq.	チャガヤツリ		○				
1363	Cyperus difformis Linn.	タマガヤツリ		○		○	○	
1364	Cyperus flaccidus R. Br.	ヒナガヤツリ		○		○		
1365	Cyperus flavidus Retz.	アゼガヤツリ			○	○	○	
1366	Cyperus halpan Linn.	コアゼガヤツリ				○		
1367	Cyperus iria Linn.	コゴメガヤツリ	○	○		○	○	
1368	Cyperus microiria Steud.	カヤツリグサ		○	○		○	
1369	Cyperus nipponicus Franch. et Savat.	アオガヤツリ				○		
1370	Cyperus orthostachyus Franch. et Savat.	ウシクグ		○		○	○	
1371	Cyperus polystachyos Rottb.	イガガヤツリ					○	
1372	Cyperus rotundus Linn.	ハマスゲ					○	
1373	Cyperus sanguinolentus Vahl	カワラスガナ		○		○	○	
1374	Cyperus serotinus Rottb.	ミズガヤツリ			○			
1375	Eleocharis acicularis（Linn.）Roem. et Schult. var. longiseta Svenson	マツバイ		○	○	○		
1376	Eleocharis japonica Miq.	ハリイ	○	○		○		
1377	Eleocharis kuroguwai Ohwi	クログワイ	○		○			
1378	Eleocharis maximowiczii Zinserl.	エゾハリイ		○				
1379	Eleocharis petasata Zinserl.	ミツカドシカクイ	○					
1380	Eleocharis wichurae Boecklr.	シカクイ	○	○			○	
1381	Eriophorum gracile Koch	サギスゲ		○				茨城－危急種◎
1382	Fimbristylis autumnalis（Linn.）Roem. et Schult.	ヒメヒラテンツキ		○		○		
1383	Fimbristylis miliacea（Linn.）Vahl	ヒデリコ				○		
1384	Fimbristylis subbispicata Nees et Meyen	ヤマイ				○	○	
1385	Kyllinga gracillima Miq.	ヒメクグ	○	○	○	○	○	
1386	Rhynchospora fujiiana Makino	コイヌノハナヒゲ	○					
1387	Schoenus apogon Roem. et Schult.	ノゲサ					○	
1388	Scirpus asiaticus Beetle	エゾアブラガヤ	○	○				
1389	Scirpus concolor Maxim.	アブラガヤ	○	○	○	○		
1390	Scirpus x cylindricus（Makino）	シデアブラガヤ	○	○				
1391	Scirpus fuirenoides Maxim.	コマツカサススキ	○	○			○	
1392	Scirpus hotarui Ohwi	ホタルイ		○		○		
1393	Scirpus juncoides Roxb.	イヌホタルイ	○	○				
1394	Scirpus mitsukurianus Makino	マツカサススキ	○		○			
1395	Scirpus nipponicus Makino	シズイ	○					茨城－危急種◎
1396	Scirpus tabernaemontani Gmel.	フトイ					○	
1397	Scirpus triangulatus Roxb.	カンガレイ			○			
1398	Scirpus triqueter Linn.	サンカクイ				○		
1399	Scirpus wichurae Boecklr.	アイバソウ				○		
1400	Scirpus yagara Ohwi	ウキヤガラ					○	
Zingiberaceae		ショウガ科						
1401	Zingiber mioga（Thunb.）Roscoe	ミョウガ		○	○	○	○	
Orchidaceae		ラン科						
1402	Bletilla striata（Thunb.）Reichb. fil.	シラン			○			茨城－絶滅危惧種，環－準絶滅危惧種
1403	Calanthe discolor Lindl.	エビネ				○		茨城－絶滅危惧種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
1404	Calanthe nipponica Makino	キンセイラン		○				茨城－危急種，環－絶滅危惧ⅠＢ類◎
1405	Cephalanthera erecta（Thunb.）Blume	ギンラン			○	○		
1406	Cephalanthera falcata（Thunb.）Blume	キンラン		○	○	○		環－絶滅危惧Ⅱ類
1407	Cephalanthera longibracteata Blume	ササバギンラン	○	○	○	○		
1408	Cremastra appendiculata（D. Don）Makino	サイハイラン	○		○	○		
1409	Cymbidium goeringii（Reichb. fil.）Reichb. fil.	シュンラン	○		○	○	○	
1410	Cypripedium debile Reichb. fil.	コアツモリソウ		○				茨城－絶滅危惧種，環－絶滅危惧Ⅱ類
1411	Epipactis papillosa Franch. et Savat. var. sayekiana T. Koyama et Asai	ハマカキラン					○	茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類，海浜植物◎
1412	Epipactis thunbergii A. Gray	カキラン		○	○	○	○	
1413	Galeola septentrionalis Reichb. fil.	ツチアケビ	○		○			
1414	Gastrodia elata Blume	オニノヤガラ	○	○				
1415	Goodyera schlechtendaliana Reichb. fil.	ミヤマウズラ	○	○	○	○	○	
1416	Habenaria linearifolia Maxim.	オオミズトンボ		○				環－絶滅危惧ⅠＢ類

	学名	和名	1	2	3	4	5	備考
1417	Habenaria radiata（Thunb.）Spreng.	サギソウ		○				茨城－絶滅危惧種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
1418	Habenaria sagittifera Reichb. fil.	ミズトンボ	○	○				茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類
1419	Herminium lanceum（Thunb.）Vuijk var. longicrure（Wright）Hara	ムカゴソウ					○	茨城－危急種
1420	Lecanorchis nigricans Honda	クロムヨウラン			○			茨城－危急種◎
1421	Liparis auriculata Blume	ギボウシラン	○	○				茨城－危急種◎
1422	Liparis krameri Franch. et Savat.	ジガバチソウ	○	○	○	○		
1423	Liparis kumokiri F. Maekawa	クモキリソウ	○	○	○	○	○	
1424	Liparis nervosa（Thunb.）Lindl.	コクラン			○			茨城－危急種
1425	Listera cordata（Linn.）R. Br.	コフタバラン	○	○				茨城－危急種◎
1426	Listera makinoana Ohwi	アオフタバラン	○	○				茨城－希少種
1427	Oreorchis patens（Lindl.）Lindl.	コケイラン	○	○				茨城－危急種◎
1428	Platanthera florentii Franch. et Savat.	ジンバイソウ	○					茨城－希少種
1429	Platanthera hologlottis Maxim.	ミズチドリ	○	○				茨城－希少種
1430	Platanthera minor（Miq.）Reichb. fil	オオバノトンボソウ（ノヤマトンボ）		○	○	○	○	
1431	Platanthera nipponica Makino	コバノトンボソウ				○	○	茨城－危急種
1432	Platanthera sachalinensis Fr. Schm.	オオヤマサギソウ	○	○		○		茨城－希少種
1433	Pogonia japonica Reichb. fil.	トキソウ	○	○				茨城－危急種，環－絶滅危惧Ⅱ類◎
1434	Pogonia minor（Makino）Makino	ヤマトキソウ		○				茨城－危急種◎
1435	Sarcochilus japonicus（Reichb. fil.）Miq.	カヤラン	○		○	○		県内稀産種◎
1436	Spiranthes sinensis（Pers.）Ames var. amoena（M. Bieberson）Hara	ネジバナ	○	○	○	○	○	
1437	Taeniophyllum aphyllum（Makino）Makino	クモラン				○		茨城－絶滅危惧種◎
1438	Tipularia japonica Matsum.	ヒトツボクロ	○				○	茨城－危急種
1439	Tulotis ussuriensis（Regel）Hara	トンボソウ	○	○				
1440	Vexillabium nakaianum F. Maekawa	ハクウンラン	○	○				茨城－危急種◎